

文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
**ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)**

中間報告書  
令和3(2021)年度～令和5(2023)年度

学校法人 東京女子医科大学  
女性医療人キャリア形成センター



Your Attention to Your Own Innovation!



## はじめに



東京女子医科大学 解剖学講座 神経分子形態学分野 准教授  
同 ダイバーシティ環境整備事業推進室 室長  
本多 祥子

令和3年度文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）に選定され、無事に早や3年目を終えることができました。「グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOI プロジェクト』」を全学体制で推進し、所期の計画を超える様々な取組みも含め精力的に活動しております。平素より多大なご理解とご尽力をいただいております関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

この事業は、本学の学祖吉岡彌生先生をはじめ偉大な諸先輩方の弛まぬ努力、さらに本学が120年以上にわたり培ってきた女性医療人活躍推進の精神的基盤があって、はじめて成り立っております。この貴重な背景を十分に活かし、将来グローバルヘルスリーダーとして国際社会と連携し社会問題解決を目指す「彌生人（やよいびと）」を育てるための苗床として、本学は日本に唯一の女子医科大学としての重要な役割を担っていくこととなります。「Your Attention to Your Own Innovation！」の言葉通り、「YAYOI プロジェクト」に関わるひとりひとりが自身をイノベート（＝常に自分自身を変え成長させていくこと）する端緒を切り開くことを強く祈念しております。

本「YAYOI プロジェクト」では、様々な職種に従事する女性研究者の「研究意欲」を後押ししております。「やりたい研究はあるけれど、業務やライフイベントで忙しく、このままでは研究への熱意が薄れてしまう」と不安に感じている方がいらっしゃいましたら、是非「YAYOI プロジェクト」の各種支援内容をご覧ください。また、様々な分野で優れた研究活動を継続している女性研究者にスポットライトをあてることで、上位職へのステップアップだけでなく、若手研究者のロールモデルとして自信を持って活躍いただけるよう支援する活動も実施しております。例えば、これまで「架け橋研究」「国際共同研究」「AI 研究」等の研究支援を通じて活躍した本学女性研究者のインタビュー動画を、成果報告動画と共に広く公開しています。また後進育成活動に注目し、現役の女性准教授、講師、PI（研究室主宰者）から体験談を聞く「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」、メンターの指導により女性研究者のメンティが業績を挙げたペアを表彰する「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」などで、優れた研究指導者の発掘も行っております。現役女性研究者を配偶者にもつ子育て・介護中の男性研究者を対象とした研究支援員制度、本学教職員のどなたでもご利用いただける「ちょこっと介護見守り支援」体制も構築いたしました。こうした様々な事業は、本当に支援を必要とする方に届かなければ意味がありません。是非この機会にご自身の環境にちょっと思いを巡らせていただき、何かお役に立てそうな支援がひとつでもありましたら、どうぞご活用いただきますようお願い申し上げます。

本学ならではの「YAYOI プロジェクト」がスムーズに定着し、さらに他大学・研究機関などへも良い形で波及することができましたら望外の喜びです。

## ごあいさつ



学校法人 東京女子医科大学 理事長  
岩本 絹子

令和 3(2021)年度に採択されました文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」の『中間報告書』が完成いたしました。

今から 3 年前に文部科学省による令和 3 年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」の補助金交付事業として、本学の女性医療人キャリア形成センターによる『グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用「YAYOI プロジェクト」』が採択されました。その後、女性医療人キャリア形成センター長である肥塚常務理事はじめ関係各位の皆様方のご尽力により、「YAYOI プロジェクト」が始動し、報告書に記載の通り、多くの実績を積み重ねて参りました。

「YAYOI プロジェクト」は、本学の建学の精神である「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する」と、本学の理念である「至誠と愛」に基づき、優れた女性研究者の育成と女性の活躍を推進させることを目的としています。また、本学の学祖である吉岡彌生先生は、本学の前身である東京女醫学校を創立した理由として、今から 124 年前の明治 33(1900)年当時、とても社会的地位が低かった女性の地位を向上させるためには、女性は経済的能力を持たなければならず、それには自身が医師であり、また、医学医術は女性に適している立派な職業であることを理由として挙げています。そして、世界に視野を向けますと、令和元(2019)年における OECD（経済協力開発機構）加盟国の女性医師が医師全体に占める割合は、加盟国 37 か国平均で 49%、日本はわずか 22%であり、37 か国中最低となっています。このような状況下で、日本唯一の女子医科大学として本学が果たすべき役割は非常に大きなものであると言えます。これらのことから、本事業は社会に貢献する女性医療人の育成と女性の社会的地位の向上を目指し、追及し続けた彌生先生の精神を継承する本学が最も取り組むべき事業の一つと言えます。

今後も引き続き、建学の精神と本学の理念を体現した女性医療人の育成に尽力していくことを使命として取り組んで参ります。

結びになりますが、本事業への本学の取組みが彌生先生の志した社会全体における女性の地位向上と女性の活躍に資することを願い、挨拶とさせていただきます。



東京女子医科大学 学長  
丸 義朗

世界経済フォーラムが公表した令和 5(2023)年ジェンダーギャップ指数で、日本は過去最低です。このような状況の中で、本学から発信するフェミニズムに対する考え方や女性リーダーの育成およびその活躍する環境整備はきわめて重要と考えます。本学の建学の精神はこれにマッチします。教授女性比率 30%に関しては、令和 5(2023)年度から令和 6(2024)年度にかけて 20 を超える教授選任が走っており、本比率の維持は試練に立たされています。准教授および講師の女性比率を高く設定し、教授の予備軍としての役割を担わせようと計画して、昇進の条件設定とその条件が一定の期間後に全うされたかどうかを吟味していますが、容易ではありません。医師は仕事量の多い職業の一つです。国の主導で医師の働き方改革が進む中、労働時間の上限設定は、妊娠・出産・子育てを担う女性医師にとっては順風となるかもしれません。しかし、労働時間などの一次元的な指標だけでは仕事の質を解釈することは困難で、女性の特性を評価指標に組み込むなどの指標開発が必要と考えます。医療現場の仕事の質の向上に女性の特性が貢献しているという証拠が一定の測定指標とともに表現できることが重要です。



学校法人 東京女子医科大学 常務理事・名誉教授  
同 女性医療人キャリア形成センター センター長  
肥塚 直美

本学は令和 3(2021)年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に採択され、「グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOI プロジェクト』」の取り組みを開始いたしました。『YAYOI プロジェクト』の“YAYOI”は“Your Attention to Your Own Innovation”であり、本学の学祖吉岡彌生先生のお名前を冠したものです。この先端型の選定にあたりましては、平成 28(2016)年度より行ってまいりました特色型(令和 3(2021)年度が最終年度)の取り組みが自主的に行われることを前提に、さらに高い目標をもって取り組むこととされております。

本年度も YAYOI プロジェクトで柱となる架け橋研究、国際交流、AI 研究を中心として、理事長・学長先生の強いリーダーシップのもと、女性医療人キャリア形成センターを中心に全学をあげて精力的に取り組んできました。取り組みの成果を報告書としてまとめることができたことを大変嬉しく思います。令和 5(2023)年度は YAYOI プロジェクト開始から 3 年目の中間地点ということで、令和 5(2023)年 11 月 27 日に文科省 JST による面接審査が行われ、本学の取組内容ならびに目標達成度が高く評価され、結果として総合評価「A」をいただくことができました。この 3 年間の成果をふまえて、次年度に向けさらに邁進してまいります。

本学は、『医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する』という建学の精神と『至誠と愛』の教育理念のもと、最良の医療を実践する知識・技能を修め、高い人格を陶冶した医人を育成し、将来の医療に貢献することを目指しております。本事業をさらに推し進めて、女性医療人が生涯輝いて活躍できる社会を目指して活動してまいります。



東京女子医科大学 特任教授・名誉教授  
同 女性医療人キャリア形成センター 副センター長  
齋藤 加代子

文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」は3年目の中間地点となりました。「特色型」における3つの柱、「上位職への積極登用」、「研究力向上・リーダー育成」、「ダイバーシティ研究環境整備」に関して、充実・発展させること、本学ならびに学外への波及効果となることを使命として、肥塚直美センター長の下に、本多祥子室長のけん引力、下村裕見子氏を中心とした事務局の支えで進めております。

事業の内容としては、先端型の特徴の「研究力向上・リーダー育成」に関する3つの先端的取組「架け橋研究」「バーチャル研究交流・国際交流」「AI研究インターンシップ制度」により女性研究者の実力をつけて、「教授30%、准教授35%、講師40%」を達成するストラテジーを掲げ、実施しております。これらの取組に携わる女性研究者の募集を行い、多くの応募を頂きました。厳正な書類審査とWEB面接により、令和5(2023)年度において、「架け橋研究支援」は5名、「国際共同研究支援」2名、「AI研究スタートアップ支援」3名が採択されました。採択された女性研究者たちは、着実に成果を挙げています。

12月22日には、「ダイバーシティ環境整備事業中間報告会」が開催され、特別講演として本事業の特色型の当初からご指導いただいております山村康子先生（科学技術振興機構（JST）プログラム主管）に「経営戦略としてのジェンダー公平性の推進」のご講演をいただきました。DEIB（Diversity-Equity-Inclusion-Belonging）という経営戦略が、組織の視点と個人の視点から求められていることを教えていただき、急速な少子化の日本における女性の活躍促進が喫緊の課題であること、経営戦略としてのジェンダー公平性の推進の重要性をお話いただきました。来年度から本事業は6年間の後半に入ります。JSTからの資金の支援は本年度までとなりますが、「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」等の意義のある支援を継続し、本学が日本における女性研究リーダーを育成していく方針となっております。

育児・介護等のセーフティネットの充実、研究環境整備を行い、「至誠と愛」の理念の下に国際的に活躍し、リーダーシップを発揮する女性を育成する本プロジェクトの成功は、まさに本学の建学の精神「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する」の具現・実践であります。「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」を通して、本学の多様な人材が能力を発揮し、活躍し続けることを願っております。



# 目次

はじめに	1
ごあいさつ	2
I 事業概要	7
目標	7
本事業のための体制整備	8
実施概要	9
取組概要（ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業 HP 掲載）	12
令和3年(2021)年度～令和5(2023)年度活動年表	13
ダイバーシティ環境整備事業 中間報告会の実施	21
● 「先端型」事業紹介スライド（本多祥子室長）	24
● 令和5年度 ダイバーシティ環境整備事業 中間報告会プログラム	33
II 事業報告① - 上位職への積極登用 -	34
女性教授割合の拡大状況	34
女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進	34
学長指名推薦による女性教授登用	39
オープンイノベーション講演会・交流会の実施	39
● 上位職への積極登用の取組 リーフレット	41
III 事業報告② - 研究力向上とリーダー育成 -	45
本学の研究力向上状況	45
基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究の支援	45
バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化	50
保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築	58
科研費申請支援	62
● 研究力向上とリーダー育成の取組 リーフレット	64
IV 事業報告③ - ダイバーシティ研究環境整備 -	68
本学の研究環境整備状況	68
学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備	68
実践的介護支援体制の構築	69
研究支援員制度における対象者範囲の拡大	73
● ダイバーシティ研究環境整備 リーフレット	74
V その他の活動	79
VI 参考資料	80
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）中間評価	80
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）中間評価 成果報告書	82
＜お問い合わせ先一覧＞	110

本報告書に記載されている所属・職位は実施当時のものです。



## 事業概要

### 目標

本学は、明治 33(1900)年に女性医療人（医師・看護師）育成と自立の精神に基づき設立された国内唯一の女子医科大学として、これまで様々な取組を行ってきました。平成 18(2006)年度には文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成事業」に採択され、病児保育と短時間勤務制度の創設によって優れた女性研究者の研究継続支援を実施しました。事業終了後も、男女共同参画推進局（現在の女性医療人キャリア形成センター）を設置し、院内保育所に加え本学独自のファミリーサポートシステムによるきめ細やかな育児支援、また短時間勤務制度を育児期のみならず自己研鑽にも活用できる制度として創設し勤務環境改善に努めてまいりました。しかしその一方で平成 27(2015)年時点の本学女性教授比率は 124 名中 25 名（20%）と少なく、キャリアを積んだ女性研究者が上位職で十分に活躍できる大学となるためには、さらに全学的な支援体制と強力な取組が必須と考えられました。そこで平成 28(2016)年「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」に採択され、女性医療人キャリア形成センターに新設したダイバーシティ環境整備事業推進室が中心となり、女性教授比率を 30%に引き上げるための女性上位職登用支援、女性研究者のための研究環境整備、女性教職員数の多い部署での勤務環境改善を実施し、令和 2(2020)年 7 月には特命担当教授（将来の教授候補者）を含めた女性教授率 31.1%を達成いたしました。

そして令和 3(2021)年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」に採択され、グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOI プロジェクト』を発足いたしました。6 年間実施してきた「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」のフレームに、先端的取組を追加し、以下を達成することを本事業の目標としております。

- ・女性在职比率：教授 30%、准教授 35%、講師 40%
- ・新規採用、昇進・昇格において、後進女性研究者の指導能力や国際活躍業績等を入れる
- ・女性研究者の科研費等競争的研究資金の申請数増加、新規採択率の向上をめざす
- ・介護支援の充実をはかる

わが国唯一の女子医科大学として女性が活躍できる環境を整え、優れた研究業績を有する女性医療人に対し発展的な研究継続を支援し、グローバルヘルスリーダーへの強いモチベーションを持つ女性人材（「彌生人（やよいびと）」と呼称）を育成することで、医学研究・医療への貢献を実現するとともに、将来有望な女性医療人の上位職登用のチャンスを加速させ、女性医療人がより高い望みを実現すべく研究活動やキャリア形成に邁進できる体制づくりを本学全体で推進して参ります。



学祖 吉岡彌生（やよい）先生

Your Attention to Your Own Innovation!

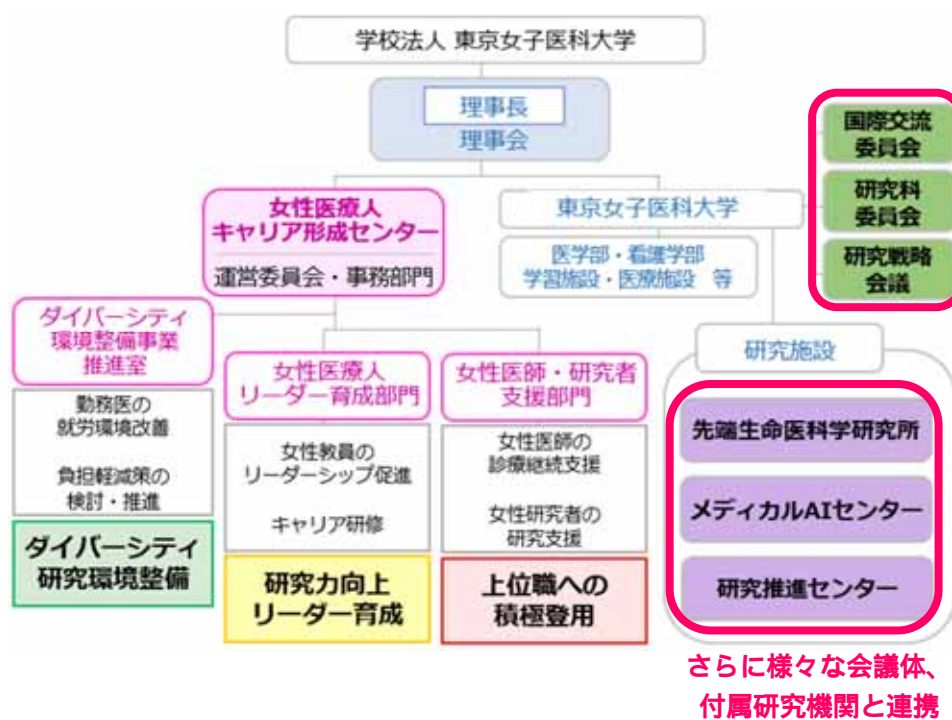


## 本事業のための体制整備

理事長・学長のリーダーシップのもと、事業の司令塔を「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が担います。事業内容の具体的審議を「ダイバーシティ担当推進者会議」で行い、重要事項は女性医療人キャリア形成センターを通じ理事会で審議決定を行います。

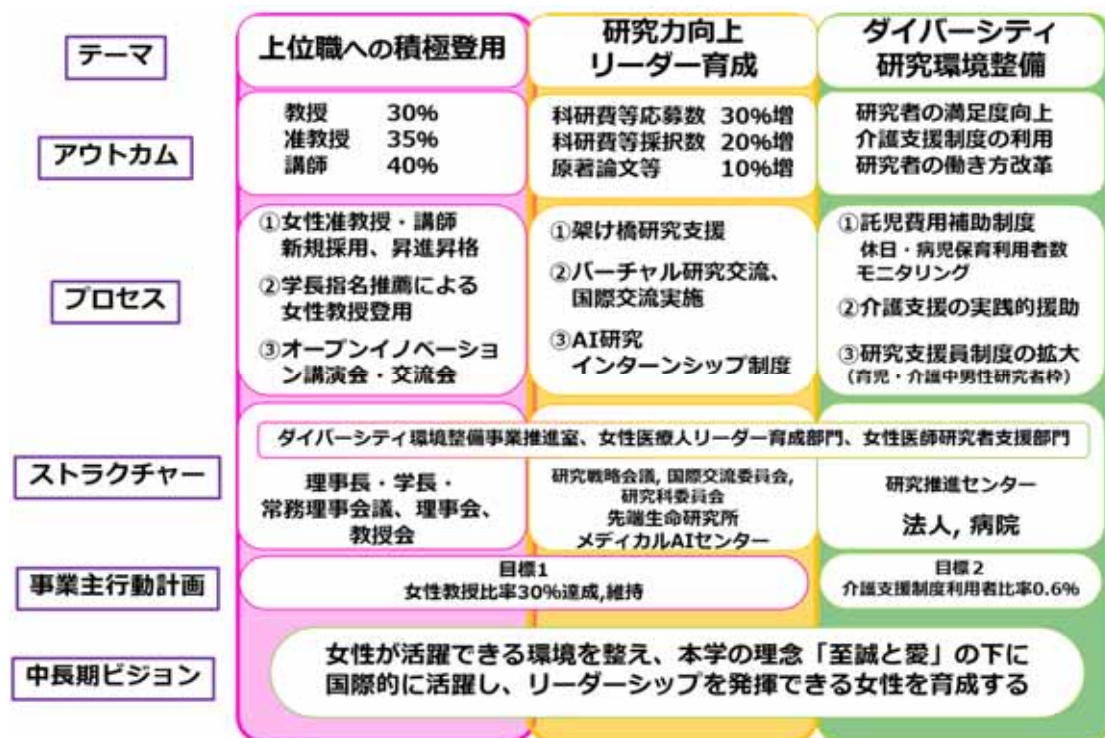
女性医療人キャリア形成センターには、既に女性活躍推進法による行動計画の実施のために設置されている部門が複数あり、本事業の推進に際しては、それらのうち「女性医療人リーダー育成部門」ならびに「女性医師・研究者支援部門」と「看護職キャリア開発支援部門」が「ダイバーシティ環境整備事業推進室」と連携しつつ各部署が専門とする事業内容の推進を担当します。

「ダイバーシティ環境整備事業推進室」は毎月の「ダイバーシティ担当推進者会議」により女性医療人キャリア形成センター内の複数の部門、学内委員会、学内研究施設と密に連携し、事業全体をオーガナイズすると共に各部署の活動を（事務、広報、記録、成果の抽出など）多方面からバックアップすることで事業の確実な進捗を図ります。



## 実施概要

上位職への女性の積極登用 (=1)、そのための研究力向上とリーダー育成 (=2)、およびこれらを支えるダイバーシティ研究環境整備 (=3) の3つのテーマについて、6年間実施してきた「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」のフレームに更なる先端的取組を追加し、それぞれ事業主行動計画、ストラクチャー、プロセス、アウトカムを明確に設定しました(下図参照)。



### (1) 上位職への積極登用の取組

#### ①女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進：34 ページ

- ・次世代の女性教授候補者層(准教授、講師)の裾野を広げるため、学内女性研究者を対象としたキャリアアップのための実践的な個別アドバイスの実施
- ・現准教授や講師をロールモデルとした「ピアラーニング(※) for 彌生人(やよいびと)」の開催  
※教授を中心としたロールモデルから直接経験談を聞き意見交換を行う場
- ・女性研究者＝メンティが高インパクトファクターの雑誌に筆頭著者として論文掲載を成し遂げた場合、指導に当たった研究者＝メンターと当該メンティのメンター・メンティペアを対象として、両者を表彰する「彌生人(やよいびと)メンター・メンティ賞」を設立
- ・女性研究者の意欲向上を目的としたロールモデル集の制作

#### ②学長指名推薦による女性教授登用：39 ページ

- ・学内外の優れた実績をもつ女性教職員を学長指名推薦により女性教授として登用

③オープンイノベーション講演会・交流会：39 ページ

- ・本学先端生命医科学研究所「バイオメディカル・カリキュラム」と連携し、医・工・理の架け橋研究等を紹介する「オープンイノベーション講演会」、新たな研究希望者と既に研究進行中の者とのマッチングの場「オープンイノベーション交流会」の企画・開催

(2) 研究力向上・リーダー育成の取組

①基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究支援：45 ページ

- ・「架け橋研究支援」制度の実施
- ・架け橋研究を推進する「架け橋研究指導者」と新たに架け橋研究を希望する者との意見交換できる場「架け橋研究紹介ツアー」の実施
- ・「架け橋研究支援」採択者による成果報告動画の配信
- ・メーリングリストによる研究希望者への情報発信ならびにコミュニケーションツールによる研究者同士の意見交換の場の活性化

②バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化：50 ページ

- ・「国際共同研究支援」制度の実施
- ・国際共同研究を推進する「国際共同研究指導者」による新たに国際共同研究を希望する者を対象とした相談会の開催
- ・「国際共同研究支援」採択者による成果報告動画の配信
- ・国際共同研究を既に進行中の学内女性研究者を対象とした英語論文掲載料一部補助制度の実施
- ・国際共同研究用デジタルプラットフォームを活用した国際研究講演会・交流会の開催
- ・アバターロボットを用いた臨場感のある研究交流の実施
- ・国際的に活躍する研究者等による「国際研究講演会・交流会」開催支援
- ・女性研究者の国際学会参加・発表を奨励するための国際学会参加費等補助制度の実施
- ・メーリングリストによる研究希望者への情報発信ならびにコミュニケーションツールによる研究者同士の意見交換の場の活性化

③保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築：58 ページ

- ・「AI 研究スタートアップ支援」制度の実施
- ・AI 研究を推進する「AI 研究指導者」がメンターとなり、新たに AI 研究開始を希望する者に対する「AI インターンシップ」の実施
- ・「AI 研究スタートアップ支援」採択者による成果報告動画の配信
- ・AI 講習会、研修会 参加費補助制度の実施
- ・AI 講演会、AI 演習会、AI 相談会の開催
- ・メーリングリストによる研究希望者への情報発信ならびにコミュニケーションツールによる研究者同士の意見交換の場の活性化

#### ④ 科研費申請支援関連：62 ページ

- ・ 科研費採択率向上のための申請書レビューの実施
- ・ 科研費セミナーの開催
- ・ 科研費ハンドブックの作成・配布

#### (3) ダイバーシティ研究環境整備の取組

##### ① 学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備：68 ページ

- ・ 学会等参加時の託児費補助制度の実施
- ・ 院内保育所（学校法人東京女子医科大学付属病院院内保育所）における土日祝日を含めた一時預かりの安全性検証および利用者数のモニタリングの実施

##### ② 実践的介護支援体制の構築：69 ページ

- ・ 介護見守り支援（ちょこっと介護見守り支援）の開始
- ・ 介護なんでも相談窓口（Google フォーム）開設
- ・ 介護支援ハンドブックの作成
- ・ 介護支援に取り組む施設への視察
- ・ 介護講演会の開催

##### ③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大：73 ページ

- ・ 平成 28(2016)年度（特色型）事業で構築した女性研究者対象の「研究支援員制度(※)」への育児中/介護中男性研究者枠の新設

※応募条件を満たす本学医学部の女性医学研究者が、研究活動上必要な補助業務を行う際に「研究支援員」を 1 名採用できる制度(支援員の人件費は女性医療人キャリア形成センターより拠出)

以上のダイバーシティ研究環境整備事業の様々な取組は、女性医師・研究者のみならず全教職員・学生も対象としています。今後もさらに個別の状況に合わせた多角的かつ適切な支援を実施し、広く社会に役立つモデルを構築していきます。



取組概要 (ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業 HP 掲載)

## 東京女子医科大学 (先端型)

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ  
実施期間：R3年～R8年

**【特長】 Your Attention to Your Own Innovation !**  
 グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用「YAYOIプロジェクト」

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (特色型) のフレームに更なる先端的取組を追加し、優れた女性研究者の育成と女性活躍を発展させるYAYOIプロジェクトを全学体制で推進する。

学祖 吉岡彌生(やよい)先生

**【実施体制】**

理事長・学長のリーダーシップのもと、事業の司令塔を「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が担い、事業内容の具体的審議を「ダイバーシティ担当推進者会議」で行い、重要事項は女性医療人キャリア形成センターを通じ理事会で審議決定を行う。「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が女性医療人キャリア形成センターの各部門、学内委員会、研究施設と密に連携し各事業の確実な進捗を図る。

さらに様々な会議体、付属研究機関と連携

**【取組概要 (目標)】**

1. 上位職登用：学長のリーダーシップの元、学長指名推薦による准教授・講師の昇進昇格、採用を促進、優れた女性研究者を発掘する。
2. 研究力向上とリーダー育成：オンライン国際研究交流体制を構築し、女性研究者の国際共同研究支援を行う。異分野を繋ぐ架け橋研究支援、AIインターンシップ制度、AI研究スタートアップ支援により女性研究者の研究夢を促進する。
3. ダイバーシティ研究環境整備：オンラインを含む学会等参加時の託児費補助制度、実践的介護支援を新設する。研究支援員制度の利用対象者を育児・介護中の男性研究者に拡大する。

テーマ	上位職への積極登用	研究力向上 リーダー育成	ダイバーシティ 研究環境整備
アウトカム	教授 30% 准教授 35% 講師 40%	経研究等公募数 30%増 経研究等採択数 20%増 原著論文等 10%増	研究者の満足度向上 介護支援制度の利用 研究者の働き方改革
事業主行動計画	目標1 女性教員比率30%達成,維持		
中長期ビジョン	目標2 介護支援制度利用比率0.6%		

女性が活躍できる環境を整え、本学の理念「至誠と愛」の下に国際的に活躍し、リーダーシップを発揮できる女性を育成する

**【支援内容】研究力向上とリーダー育成の取組みとして女性研究者を支援します**

上位職への積極登用

- ①女性准教授・講師 新規採用、昇進昇格
- ②学長指名推薦による女性教授登用
- ③オープンイノベーション 講演会・交流会

研究力向上  
リーダー育成

- ①架け橋研究支援
- ②バーチャル研究交流、国際交流実施
- ③AI研究 インターンシップ制度

ダイバーシティ  
研究環境整備

- ①託児費用補助制度 休日・病児保育利用者数 モニタリング
- ②介護支援の実践的援助
- ③研究支援員制度の拡大 (育児・介護中男性研究者)

◆研究支援  
①架け橋研究支援 基礎医学と臨床工学の間を繋ぐ架け橋研究に関わる、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援  
②国際共同研究支援 国際共同研究に関わる、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援  
③AI研究スタートアップ支援 保健医療分野でのAI研究を新たにスタートする女性研究者を支援

◆補助制度  
①学会等参加時の託児費補助  
②国際共同研究における英語論文掲載料補助  
③AI講習会、研修会参加費補助

◆ダイバーシティ研究環境整備  
①院内保育所の休日一時預かり保育の整備  
②ファミリーサポート体制を活用した“ちょこっと介護見守り支援”  
③男性研究者のための研究支援員制度利用枠新設

長期継続のための「後進育成」体制の構築

「次世代国際交流指導者」「次世代AI研究指導者」「次世代架け橋研究指導者」

Your Attention to Your Own Innovation !

女性研究者自らイノベーションを志しキャリアアップの基盤を構築  
研究資金の獲得能力向上により経済的自立を目指す  
苗床を育む

寄附や競争的外部資金獲得のみに頼ることなく  
本学の産学連携における運営力を駆使しつつ  
企業や団体との契約に基づく確かな外部資金獲得を目指す工夫を実践

◆国際共同研究を活性化  
海外の複数の大学と共用できる  
研究用デジタルプラットフォームを構築

**【これまでの成果】**

2016年 文部科学省 (JST) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (特色型) 採択

特色型による取組により、女性教授比率が上昇  
2020年7月に目標である30%を達成  
<受賞歴>  
2017年 東京都女性活躍推進大賞  
2020年 日産財団 第3回リカジョ奨励賞

年度	女性 割合	女性 数	男性 数	合計
2015.5	20.7%	25	96	121
2016.5	22.2%	26	91	117
2017.5	18.9%	23	99	122
2018.5	24.2%	31	97	128
2019.11	29.4%	42	101	143
2020.07	31.1%	42	93	135
2021.03	30.1%	41	95	136

**【お問い合わせ】**

機関名：学校法人東京女子医科大学  
 所在地：東京都新宿区河田町8-1  
 連絡先：03-3353-8112  
 (内線30165,30166)  
 cdc\_bm@twmu.ac.jp  
 HP：http://www.twmu.ac.jp/gender/  
**女性医療人キャリア形成センター**

12

## 令和3年(2021)年度～令和5(2023)年度活動年表

実施日	内容
令和3(2021)年度	
6/16	科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型) 申請書提出
8/23	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型) 面接審査(オンライン)
10/14	介護支援について委託先(NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ)と打ち合わせ
10/20	AI 研究講演会・演習会について委託会社((株)スタージェン)と打ち合わせ
10/27	オープンイノベーション講演会、交流会に関する打ち合わせ
11/4	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型) 補助金交付決定
11/8	研究支援制度(架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI 研究スタートアップ研究支援) 募集開始
11/15	学会参加時等の託児費補助制度 受付開始
11/24	アバターロボットの実証実験を実施(ブラウン大学)
11/25	第1回ダイバーシティ担当推進者会議開催(オンライン)
	アバターロボットの実証実験を実施(アラバマ大学)
	英語論文掲載料補助制度、AI 講習会、研修会 参加費補助制度 受付開始
12/1-12/3	研究支援制度 書類審査
12/4	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)「YAYOI プロジェクト」キックオフミーティング開催
12/6	研究支援制度 面接審査
12/10	研究支援制度 採択者決定(架け橋研究支援4名・国際共同研究支援3名・AI 研究スタートアップ研究支援3名)
12/14	アバターロボット 今後の活動について委託会社((株)NTT ドコモ)と意見交換
12/15-1/5	育児・介護に関するアンケート調査実施
12/17	アバターロボット 今後の活動について学内会議
12/21	第2回ダイバーシティ担当推進者会議開催(オンライン)
	AI 研究講演会・演習会について委託会社((株)スタージェン)と打ち合わせ
12/24	研究支援制度 授与式
12/28	研究支援制度 授与式
1/24	オープンイノベーション講演会開催(オンライン/参加50名)
1/25	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型) HP 公開
1/26	「YAYOI プロジェクト」キックオフミーティング動画公開
1/27	アバターロボット temi を使用したシンガポール国立大学 国際共同研究者による本学ラボ視察
1/28	第3回ダイバーシティ担当推進者会議開催(オンライン)
	「ちょこっと介護見守り支援」提供会員向け介護事業説明会
2/7	第1回医療・ヘルスケア AI 講演会開催(オンライン/参加98名)



実施日	内容
2/8	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）JST 訪問調査（オンライン）
2/11	デジタルプラットフォーム MPUF XRCC を使用したハーバード大学との研究ミーティング実施
2/14	第1回アノテーション演習会（オンライン/参加4名）
2/18	第4回ダイバーシティ担当推進者会議開催（オンライン）
	「ちょこっと介護見守り支援」第1回提供会員講習会開催（2/18・2/25、提供会員6名誕生）
3/23	第5回ダイバーシティ担当推進者会議開催（オンライン）
3/31	令和3(2021)年度 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）活動報告書発行
令和4(2022)年度	
4/1	研究支援制度（架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援）募集開始
	「ちょこっと介護・見守り支援」開始
	女性研究者を支える男性研究者のための「研究支援員制度」募集開始
4/15	AI・臨床統計無料相談会 参加受付開始
4/19	第6回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
4/21	学会参加時等の託児費補助制度、英語論文掲載料補助制度、AI講習会、研修会 参加費補助制度 受付開始
	「YAYOI プロジェクト」情報発信 メーリングリスト登録受付開始
4/22	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加3名）
4/27	第1回介護サポート調整会議（オンライン）
5/19	第7回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
5/26	第2回介護サポート調整会議（オンライン）
5/27	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加3名）
6/3	東京女子医科大学病院循環器内科とタイの病院（Bangkok Christian Hospital）との Temi 通信テスト実施
6/13	研究支援（AI研究スタートアップ研究支援）面接審査実施
6/14	研究支援（架け橋研究支援）面接審査実施
6/16	研究支援（国際共同研究支援）面接審査実施
6/21	第8回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
6/24	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加3名）
6/29	研究支援採択者決定（架け橋研究支援1名、国際共同研究支援2名、AI研究スタートアップ研究支援2名）
	研究支援（架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援）再募集開始
	第3回介護サポート調整会議（オンライン）
7/15	第9回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
7/22	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加2名）

実施日	内容
	「ちょこっと介護見守り支援」第2回提供会員講習会開催（7/22・7/26、提供会員4名誕生）
7/26	研究支援（架け橋研究支援）再募集面接審査実施
7/27	研究支援（国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援）再募集面接審査実施
7/30	令和3年度ダイバーシティ環境整備事業報告（特色型・先端型）開催（オンライン/参加32名）
8/1	第4回介護サポート調整会議（オンライン）
	研究支援選考会実施、採択者決定（架け橋研究支援4名、国際共同研究支援2名、AI研究スタートアップ研究支援2名）
8/2	女性研究者を支える男性研究者のための「研究支援員制度」プレゼン・面談審査実施
8/4	第2回オープンイノベーション講演会開催（オンライン/参加35名）
8/8	女性研究者を支える男性研究者のための「研究支援員制度」採択者決定
8/18	第10回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
8/22	彌生人メンター・メンティ賞 募集受付開始
8/24	研究支援（架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援）採択者授与式開催
8/29	研究支援（架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援）採択者授与式開催
9/8	テキサス大学の吉本桃子先生による解剖学（顕微解剖学・形態形成学分野）ラボミーティングを支援
9/20	第11回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
9/22	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加3名）
9/28	第1回ピアラーニング for やよいびと開催（オンライン/参加9名）
	イタリア大臣（大学・研究担当）来学
	第5回介護サポート調整会議（オンライン）
9/30	JSTによる令和3年度額の確定調査実施
10/1	令和5(2023)年度 女性研究者を支える男性研究者のための「研究支援員制度」募集開始
10/3	国際的に活躍する研究者等による国際研究講演会・交流会開催支援 募集開始
10/4	彌生人メンター・メンティ賞 選考会実施、受賞者決定（4組）
10/20	第12回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
10/21	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加3名）
10/24	第6回介護サポート調整会議（オンライン）
11/2	彌生人メンター・メンティ賞 授与式開催
11/14	第7回介護サポート調整会議（オンライン）
11/18	第13回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
11/21	長野県松本保健福祉事務所・木曽保健福祉事務所オンライン視察

実施日	内容
11/25	AI・臨床統計無料相談会 開催 (参加 3 名)
12/10	介護サポート通信 vol.1 号発行
12/14	第 8 回介護サポート調整会議 (オンライン)
12/19	第 2 回ピアラーニング for やよいびと開催 (オンライン/参加 4 名)
12/20	第 14 回ダイバーシティ担当推進者会議 (オンライン)
	ちょこっと介護説明会開催 (オンライン)
12/21	画像データ演習会開催 (オンライン/参加 5 名)
	ちょこっと介護説明会開催 (オンライン)
	介護サポート提供会員向け茶話会開催 (参加 4 名)
12/22	Slack を利用した本学研究者のための「YAYOI コミュニティ」参加募集開始
12/23	AI・臨床統計無料相談会 開催 (参加 2 名)
12/26	ちょこっと介護説明会開催 (オンライン)
12/28	大阪公立大学 介護支援について Zoom 視察
1/5	令和 3(2021)年度研究支援採択者による研究成果動画 YouTube 東京女子医大公式チャンネルにて公開開始
1/11	国際共同研究採択者による後進育成活動 顔合わせディスカッション会開催
1/12	看護学部成人看護学での temi 実装
	ちょこっと介護説明会開催 (オンライン)
1/18	令和 5(2023)年度女性研究者を支える男性研究者のための「研究支援員制度」プレゼン・面談審査
	国際共同研究採択者による後進育成活動 顔合わせディスカッション会開催
	第 9 回介護サポート調整会議 (オンライン)
1/19	第 15 回ダイバーシティ担当推進者会議 (オンライン)
1/20	AI・臨床統計無料相談会 開催 (参加 2 名)
1/21	デジタルプラットフォーム MPUF XRCC を使用したコロラド大学との研究ミーティング実施
1/26	第 3 回オープンイノベーション講演会開催 (オンライン/35 名)
	富山大学 介護支援について Zoom 視察
	ちょこっと介護説明会開催 (オンライン)
2/9	第 1 回介護講演会開催 (オンライン/参加 40 名)
	ちょこっと介護説明会開催 (オンライン)
2/13	第 2 回医療・ヘルスケア AI 講演会開催 (オンライン/参加 14 名)
2/16	第 10 回介護サポート調整会議 (オンライン)
	ちょこっと介護説明会開催 (オンライン)
2/20	表形式データの機械学習演習会開催 (オンライン/参加 2 名)
2/21	第 16 回ダイバーシティ担当推進者会議 (オンライン)
2/22	第 3 回ピアラーニング for やよいびと開催 (オンライン/参加 5 名)
	ちょこっと介護説明会開催 (オンライン)

実施日	内容
2/24	第1回科研費セミナー開催（オンライン/参加39名）
	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加3名）
	介護ハンドブック「キャリアプランをあきらめない 介護ロードの歩き方」配布
3/1	読売新聞インタビュー取材（肥塚センター長、齋藤副センター長、本多室長）
	「ちょこっと介護・見守り支援」HP 開設
3/8	ちょこっと介護説明会 開催（オンライン）
3/9	架け橋研究採択者による後進育成活動 顔合わせディスカッション会開催
3/10	科研費申請書の無料申請書レビュー実施（3/10～3/31、委託先：ロバスト・ジャパン株式会社、40件実施）
3/13	ちょこっと介護説明会 開催（オンライン）
3/16	第17回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
3/23	ちょこっと介護説明会 開催（オンライン）
3/24	第11回介護サポート調整会議（オンライン）
	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加2名）
3/28	介護サポート提供会員向け茶話会 開催（参加2名）
3/31	令和4(2022)年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」活動報告書発行
令和5(2023)年度	
4/3	研究支援制度（架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援）募集開始
	第1回科研費セミナー（信州大学 阿部知子先生）YouTube 限定公開開始
4/12	なんでも相談窓口（Google フォーム）開設
4/14	学会参加時等の託児費補助制度、英語論文掲載料補助制度、AI講習会、研修会 参加費補助制度、国際学会参加費等補助制度 受付開始
4/20	第4回ピアラーニング for やよいびと開催（対面・オンライン/参加10名）
4/21	第18回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
	第1回介護サポート調整会議（オンライン）
	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加3名）
4/24	国際的に活躍する研究者等による国際研究講演会・交流会開催支援 募集開始
5/18	第19回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
5/19	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加3名）
5/25	国際共同研究指導者による個別相談会 受付開始
5/29	第2回介護サポート調整会議（オンライン）
6/1	彌生人メンター・メンティ賞 募集受付開始
6/16	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加3名）
6/19	第5回ピアラーニング for やよいびと開催（対面・オンライン/参加7名）
6/20	第20回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
	研究支援（架け橋研究支援）面接審査実施

実施日	内容
6/21	研究支援（国際共同研究支援）、研究支援（AI 研究スタートアップ研究支援）面接審査実施
6/27	第 3 回介護サポート調整会議（オンライン） 研究支援（架け橋研究支援）面接審査実施
6/28	研究支援（国際共同研究支援）面接審査実施
6/30	第 2 回科研費セミナー開催（オンライン/参加 30 名）
7/6	科研費申請書の無料申請書レビュー実施（7/6～8/10、委託先：全国大学研究支援機構、17 件実施）
7/11	研究支援選考会実施、採択者決定（架け橋研究支援 5 名、国際共同研究支援 2 名、AI 研究スタートアップ研究支援 3 名）
7/12	株式会社ベネッセシニアサポート「ベネッセ Work & Care」介護支援についてインタビュー取材（本多室長）
7/13	「ちょこっと介護見守り支援」第 3 回提供会員講習会開催（7/13・7/21、提供会員 7 名誕生）
7/21	第 21 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン） 第 2 回介護講演会（オンライン/参加 18 名） AI・臨床統計無料相談会 開催（参加 3 名）
7/24	第 4 回介護サポート調整会議（オンライン）
7/27	第 1 回 ChatGPT(Bing Chat)演習会（参加 8 名）
8/2	令和 4 年度研究支援採択者研究報告動画プレゼンテーション収録
8/3	令和 4 年度研究支援採択者研究報告動画プレゼンテーション収録
8/10	研究支援（架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI 研究スタートアップ研究支援）採択者授与式開催
8/17	第 22 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン） 彌生人メンター・メンティ賞 選考会実施、受賞者決定（3 組）
8/18	「m3.com」女性活躍についてインタビュー取材（肥塚センター長、齋藤副センター長、本多室長）
8/21	令和 4 年度研究支援採択者研究報告動画プレゼンテーション収録
8/22	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）JST 訪問調査 第 5 回介護サポート調整会議（オンライン）
8/31	女性研究者ロールモデル集動画撮影
9/1	介護サポート通信 vol. 2 号発行
9/4	女性研究者ロールモデル集動画撮影
9/19	第 23 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン） 第 6 回介護サポート調整会議
9/21	介護サポート提供会員向け茶話会開催（参加 8 名）
9/22	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加 3 名）
10/1	令和 6(2024)年度 女性研究者を支える男性研究者のための「研究支援員制度」募集開始

実施日	内容
10/2	「彌生人メンター・メンティ賞」授与式開催
10/19	第24回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
	第7回介護サポート調整会議
10/20	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加2名）
11/2	第6回ピアラーニング for やよいびと開催（対面・オンライン/参加6名）
11/6	第3回介護講演会（オンライン/参加12名）
	令和4(2022)年度研究支援採択者による研究成果動画 YouTube 東京女子医大公式チャンネルにて公開開始
11/7	麻酔科主催ハーバード大学 前田歩先生の講演支援（オンライン/参加24名）
11/16	第8回介護サポート調整会議
11/17	第25回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加1名）
11/22	第3回医療・ヘルスケア AI 講演会開催（オンライン/参加14名）
11/27	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）中間面接評価実施
12/8	第3回科研費セミナー開催（オンライン/参加9名）
12/15	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加1名）
12/19	第26回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
12/22	令和5年度ダイバーシティ環境整備事業中間報告会開催・ロールモデル動画「東京女子医科大学 私たちの STORY」上映（オンライン/参加29名）
	「科研費ハンドブック」女性研究者紹介インフォグラフィック制作(12/22～2/29、委託先：カクタス・コミュニケーションズ株式会社、21件実施)
12/26	第9回介護サポート調整会議
1/12	第7回ピアラーニング for やよいびと開催（対面・オンライン/参加12名）
1/18	第27回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
	第5回オープンイノベーション講演会（オンライン/参加40名）
1/19	ロールモデル動画「東京女子医科大学 私たちの STORY」YouTube 東京女子医大公式チャンネルにて公開開始
	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加3名）
1/25	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）中間評価結果「A」
1/29	令和6(2024)年度女性研究者を支える男性研究者のための「研究支援員制度」プレゼン・面談審査
	第10回介護サポート調整会議
2/16	AI・臨床統計無料相談会 開催
2/20	第28回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
	第2回 AI 演習会ランダム過程と確率を深く理解する実習
3/11	長野県健康福祉部 保健・疾病対策課 宮島先生による本学女性医師等研究者支援に関する視察ならびに意見交換
3/15	「科研費申請ハンドブック」本学女性研究者に配布
3/19	第29回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）

実施日	内容
3/22	AI・臨床統計無料相談会 開催
3/29	令和3(2021)年度～令和5(2023)年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」中間報告書発行



## ダイバーシティ環境整備事業 中間報告会の実施

令和5(2023)年12月22日(金)、本学彌生記念教育棟104会議室にて、Zoom ウェビナー「令和5年度東京女子医科大学ダイバーシティ環境整備事業中間報告会」が開催されました。学内のみならず、他大学のダイバーシティ事業事務局や行政機関、医師会や学会など学外からも多数のご参加をいただきました。

報告会の冒頭、岩本絹子理事長よりビデオメッセージにて「多くの成果を出し続けている当事業は、女子医大が社会に貢献する女性医療人の育成と女性の社会的地位の向上を目指し、追求し続けた彌生先生を継承していくために、最も取り組むべき事業の一つといっても過言ではありません」とのお言葉を頂戴し、来場された丸義朗学長からは「世界的に女性の活躍に関する機運が高揚している中で、本学の取り組みは発信する意義が大きいと確信しています」とのご挨拶がありました。その後、ご来賓の文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課の高見暁子様よりご挨拶を賜り、肥塚直美常務理事(女性医療人キャリア形成センター長)が開会の挨拶を述べられ、開始となりました。



岩本絹子理事長



丸義朗学長

第1部「特別講演」では、齋藤加代子特任教授(ゲノム診療科、女性医療人キャリア形成センター副センター長)の座長のもと、山村康子先生(科学技術振興機構プログラム主管)より「経営戦略としてのジェンダー公平性の推進」と題してご講演を賜りました。社会構造の変化やグローバル化、人口減少等により大きく変動している日本社会において、科学技術の持続的な活性化を図るためには、「多様な研究人材」の育成とその能力を最大限に生かす経営戦略が不可欠であること、さらに、社会に求められるダイバーシティ(多様性)は組織の視点からの「D(ダイバーシティ)」、「D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)」、「DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)」から、個人の主観的な視点や気持ちに寄り添う「DEIB(ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン&ビロッキング)」へと時代が移りつつある、とのお話をいただきました。組織として帰属意識を醸成するための経営戦略がきわめて重要であるということについて、図解や数値をお示しいただきながら具体的に理解を深めることが出来ました。お話の中で、女性の活躍促進は我が国の喫緊の課題であり、大学研究機関や企業等の経営戦略としてジェンダー公正性を推進することが肝要であること、そのためにはアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)の解消、働き方改革の推進、保育・介護支援の充実を社会全体で推し進める必要があるという力強いお言葉をいただきました。



山村康子先生

(科学技術振興機構プログラム主管)

第2部「報告会」では、令和3(2021)年度より始動した本事業について、本多祥子准教授(ダイバーシティ環境整備事業推進室長)よりこの3年間の取り組みや成果についてご報告いただきました。「先端型」では、「グローバルヘルスリーダーとさらなる女性登用『YAYOI プロジェクト』」を立ち上げ、女性教授の基盤となる女性准教授・講師の昇進昇格を積極的に推し進める体制を構築してまいりました。後進育成の取り組みとして、ロールモデルとなる現職の准教授や講師による「ピアラーニング for 彌生人(やよいびと)」の開催や、キャリア形成のための個別相談会の実施、優れた研究成果を成し遂げたメンティとそれを支え指導したメンターとを表彰する「彌生人(やよいびと)メンター・メンティ賞」の創設など、次世代のリーダーとなる女性研究者が循環的・永続的に育ち昇格・昇進していける環境整備を推し進めています。また、研究力向上の柱となる「架け橋研究」「国際共同研究」「AI研究スタートアップ」の3つの研究支援制度では、これまでに32名の女性研究者支援を実施しています。「学会参加時の託児費補助」や「男性研究者を対象とした研究支援員制度」の実施、さらに院内保育所のICTを活用した環境整備、ファミリーサポート「ちょこっと介護見守り支援」に加え、「介護講演会」の開催などについてもご報告いたしました。



本多祥子准教授



ロールモデル動画「私たちのSTORY」

続いて、本事業の支援を受けた女性研究者が出演し、制作したロールモデル動画「私たちのSTORY」を初お披露目として上映いたしました。この動画は、「彌生人(やよいびと)」として研究マインドを持ちながら本学で日々活躍している女性研究者のありのままの姿をご紹介しますもので、出演者自身がロールモデルとして活躍する自分の姿をイメージできるようにとの思いを込めて制作しました。

次に、「架け橋研究」「国際共同研究」「AI研究スタートアップ」のそれぞれの研究支援について、清水達也所長・教授(先端生命医科学研究所)、石津綾子教授・基幹分野長(解剖学[顕微解剖学・形態形成学分野])、正宗賢教授(先端生命医科学研究所)からご説明ののち、各研究支援を受けた女性研究者を代表して、青木信奈子助教(先端生命医科学研究所)、中山(河村)寿子准教授(生理学[神経生理学])、稲野辺奈緒子講師(看護学部)より、研究成果をご報告いただきました。最後に石黒直子医学部長(女性医療人リーダー育成部門長)より閉会のご挨拶を賜り、終了となりました。



青木信奈子助教



中山(河村)寿子准教授



稲野辺奈緒子講師

本報告会ならびにロールモデル動画「私たちの STORY」は、YouTube の東京女子医大公式チャンネルにて公開しています。URL : <https://www.youtube.com/@TokyoWomensMedicalUniversity>



上段：(左から) 稲垣様 (科学技術振興機構)、本多先生、中山(河村)先生、青木先生、稲野辺先生  
下段：石黒先生、肥塚先生、山村先生 (科学技術振興機構プログラム主管)、齋藤先生、前田様 (文部科学省)  
枠外：清水先生、石津先生、正宗先生



● 「先端型」事業紹介スライド（本多祥子室長）

2023/12/22  
ダイバーシティ研究推進実例  
イニシアティブ（先端型）事業紹介

グローバルヘルスリーダー育成と  
更なる女性登用  
「YAYOI プロジェクト」

Your Attention to Your Own Innovation!

本校の学祖  
吉岡 彌生 先生  
学校法人 東京女子医科大学  
女性医療人キャリア形成センター  
ダイバーシティ環境整備事業推進室  
室長 本多祥子  
解剖学（神経分子形態学分野）

グローバルヘルスリーダー  
YAYOI プロジェクト

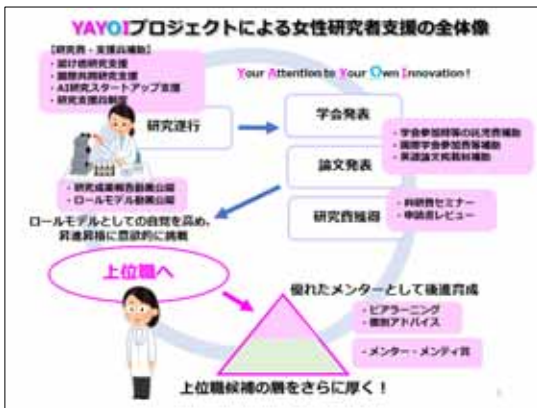
本校の学祖  
吉岡 彌生 先生  
やよい

1939年 厚生省、文部省の承認を受けて東京女子医科大学の  
母子保健事業、医学教育を創設

Your Attention to Your Own Innovation!

グローバルヘルスリーダー

理念：至誠と愛  
使命：社会に貢献する女性医療人の育成  
「自らが」  
グローバルヘルスリーダーを目指す「御主人（やよいびと）」を育てる  
Own Innovation



目標達成度

令和3年度 女性活躍推進法に基づく  
学校法人東京女子医科大学の行動計画

目標1：女性教授率30%の達成と維持

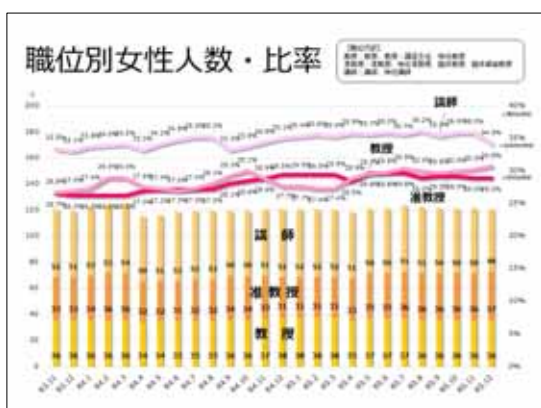
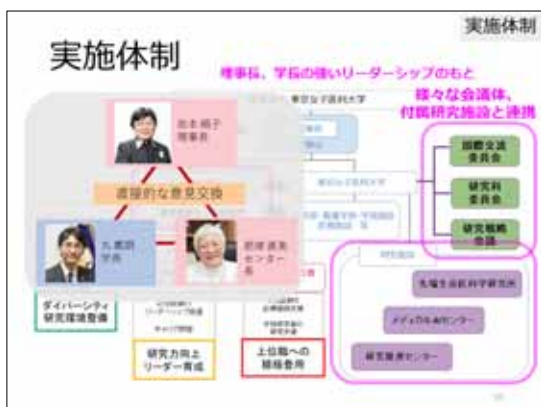
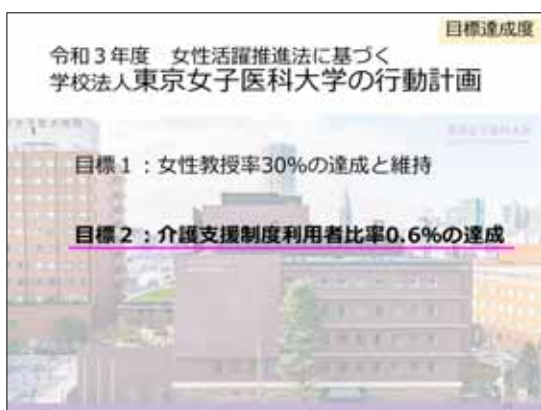
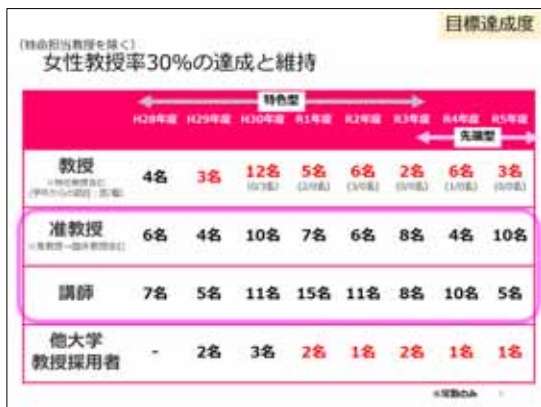
目標2：介護支援制度利用者比率0.6%の達成



目標達成度

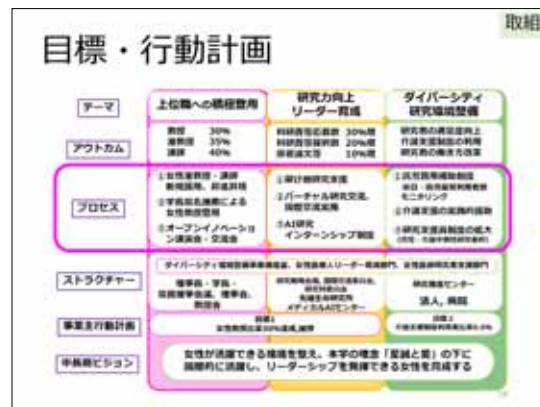
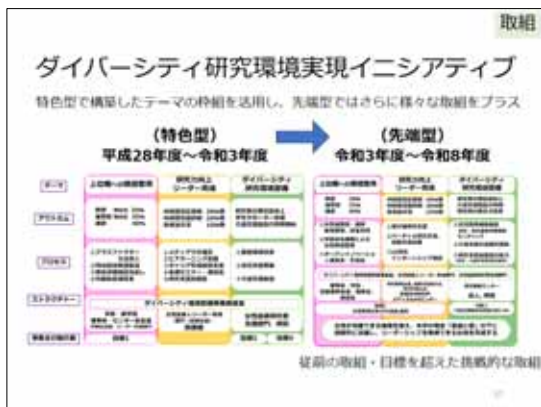
平成27年度以降の施設長・センター長

部署	性別	女性
理事長	男性	女性
学長	男性	女性
看護学部長	女性	女性
医学部学部長	男性	女性
看護学部学部長	女性	女性
東京女子医科大学副学長	男性	女性
独立医療センター長	女性	女性
八王子医療センター長	男性	女性
八王子看護センター長	男性	女性
研究推進センター長	男性	女性
総合医科学研究所長	男性	男性
看護学センター長	男性	女性
看護学センター長	男性	女性
看護学センター長	女性	女性
看護学センター長	女性	女性



取組と成果





### Your Attention to Your Own Innovation!

(1) 上位職への積極的登用

- ① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進
- ② 学長指名推薦による女性教授登用
- ③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

### (1) 上位職への積極的登用

① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進

◆現在の役職における教職業績の自己点検 (医学部、看護学部)  
准教授・講師の新規採用ならびに昇進・昇格において **プラスファクターとして3項目を追加**

- ・ 国際的な活躍
- ・ 後進女性研究者指導
- ・ 男女共同参画事業 (ダイバーシティ事業) への参画・貢献

### (1) 上位職への積極的登用

① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進

◆ **基幹分野および本院診療科の定員に関する規定**  
「女性医療人キャリア形成センターへ**多大な貢献**をしたと女性医療人キャリア形成センター長から認められた者がいるとき」  
⇒ **教員定員を超えて、准教授・講師を増員**できる (令和5年3月20日規程・規則第2303号の5)

※ **多大な貢献**  
女性医療人キャリア形成センターの活動に参画 (実質的な事業推進、センター主催イベントの企画や登壇など)  
↓  
学内外へのポジティブな波及効果  
このような貢献が多数ある場合「多大な貢献」とする

学長の御意により、優秀な若手女性研究者の上位職登用を奨励す機会として改定

### (1) 上位職への積極的登用

① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進

「ピアラーニング for やよいびと」  
ロールモデルとなる現職の准教授や講師、PIを登録 (学内・学外問わず)  
→ 助教、研修医、院生など女性研究者から広く参加希望者を募集  
→ 臨床医学・基礎研究・看護等**様々な分野の「ピアラーニング」**を実施

↓

キャリア形成のための実践的な個別アドバイス体制の整備  
メンター (准教授、講師) を登録 (MD、non-MD、男女問わず)  
→ 相談希望者 (メンティ: 助教、研修医、院生など女性研究者) を募集  
→ マッチング  
→ オンラインor対面でキャリア形成のための個別相談会を実施

### 取組の成果

(1) 上位職への積極的登用

① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進

「ピアラーニング for やよいびと」開催実績

開催日	会場	所属	参加人数	開催アドバイザー 相談人数
第1回 2022年 9月24日	看護学部 5名	東京女子医科大学 看護学専攻 看護学	5名	1名
第2回 2022年 12月15日	看護学部 5名	東京女子医科大学 看護学専攻 看護学	4名	1名
第3回 2023年 2月24日	岡山大学 5名	東京女子医科大学 看護学専攻 看護学	5名	2名
第4回 2023年 4月13日	岡山大学 5名	東京女子医科大学 看護学専攻 看護学	10名	2名
第5回 2023年 6月14日	看護学部 5名	東京女子医科大学 看護学専攻 看護学	7名	1名
第6回 2023年 11月15日	看護学部 5名	東京女子医科大学 看護学専攻 看護学	6名	1名
第7回 2024年 1月15日	小笠山キャンパス 5名	東京女子医科大学 看護学専攻 看護学	5名	1名

### 取組の成果

(1) 上位職への積極的登用

① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進

研究生 (やよいびと) メンター・メンティ賞

優れた指導の結果、女性研究者 = メンティが指導者として論文掲載を成し遂げた等の場合、指導に当たった研究者 = メンターと当該メンティのメンター・メンティペアを対象として、両者を表彰し、受賞メンティに研究助成を行う (医師・看護師、non-MDを含む)

賞状メンター・メンティを学長指名推薦候補者とする

取組の成果

(1) 上位職への積極的登用

① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進

「彌生人(やよいびと)メンター・メンティ賞」令和4(2022)年度賞状4組

(メンティ) 藤原 真由美 准教授(看護学)

(メンター) 藤原 真由美 准教授(看護学)

(メンティ) 藤原 真由美 准教授(看護学)

(メンター) 藤原 真由美 准教授(看護学)

(メンティ) 藤原 真由美 准教授(看護学)

(メンター) 藤原 真由美 准教授(看護学)

(メンティ) 藤原 真由美 准教授(看護学)

(メンター) 藤原 真由美 准教授(看護学)

※奨励金の贈付、内職も実施

取組の成果

(1) 上位職への積極的登用

① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進

「彌生人(やよいびと)メンター・メンティ賞」令和5(2023)年度賞状3組

(メンティ) 藤原 真由美 准教授(看護学)

(メンター) 藤原 真由美 准教授(看護学)

(メンティ) 藤原 真由美 准教授(看護学)

(メンター) 藤原 真由美 准教授(看護学)

(メンティ) 藤原 真由美 准教授(看護学)

(メンター) 藤原 真由美 准教授(看護学)

※奨励金の贈付、内職も実施

取組

Your Attention to Your Own Innovation!

(1) 上位職への積極的登用

① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進

② 学長指名推薦による女性教授登用

③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

取組

(1) 上位職への積極的登用

② 学長指名推薦による女性教授登用

教授選出における透明性・公平性を保つ仕組み

学長： 選考を含む総合的な適正判断  
推薦理由、評価、利益相反を理事会で説明 → 選考承認されたのちに

理事会、教授会： 選考委員会立ち上げ  
ここでも学長が推薦理由、評価、利益相反を説明

選考委員会： 書面審査、面接による適正判断  
選考結果を理事会、教授会へ報告

教授会にて教授候補者講演を実施後、記名投票(無記名は無効)

選考委員会： 投票結果を教授会、理事会に報告

理事会： 候補者ヒアリングののち選考・決定

教授就任後も研究業績や女性上位職登用実績を継続的に評価

取組の成果

(1) 上位職への積極的登用

② 学長指名推薦による女性教授登用

学長指名推薦により 女性教授3名就任

- ◆ 西井明子教授 統合教育学修センター 基礎教育学
- ◆ 清水優子教授 医療安全科
- ◆ 飯嶋睦教授 脳神経内科学

取組の成果

(1) 上位職への積極的登用

② 学長指名推薦による女性教授登用

学長指名推薦の他 令和4年度 女性教授3名就任

- ◆ 明石定子教授・基幹分野長 乳腺外科学
- ◆ 見城道子教授 看護学部 基礎看護学
- ◆ 町田貴子教授 看護学部 成人看護学

令和5年度 1名就任

- ◆ 南家由紀教授 看護学部 内科学

取組

Your Attention to Your Own Innovation!

(1) 上位職への積極的登用

① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進

② 学長指名推薦による女性教授登用

③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

取組

(1) 上位職への積極的登用

③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

交流活性化

付属研究施設のひとつ 先進生命医科学センター(TWIns)が毎年実施するバイオメディカルカリキュラム(異分野・異業種から受講生が参加)

学生間の共同研究の促進や体験を通して「オープンイノベーション講演会・交流会」を開催

広く学内外の女性研究者(特に学生や若手、海外を含む)の研究最前線をかき立て、新たな先端医学・異分野融合研究の開始につなげる

世界レベルの人的資源と先端設備を



取組

交流活性化

(1) 上位職への積極的登用

③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

「オープンイノベーション講演会・交流会」開催実績

開催日	氏名	所属・職位	参加人数
第1回 2022年1月24日	小林真澄 先生	東京理科大学 特任准教授	50名
	高橋茂代 先生	株式会社ビジュアルエッセンス取締役 顧問	
第2回 2022年3月4日	菅原隆子 先生	東京女子医科大学 社会医学部 看護学専攻 講師 メディカルAIセンター 副センター長	35名
	小林真津子 先生	慶応大学大学院工学部研究科 情報工学AI専攻 教授	
第3回 2022年1月24日	北原典子 先生	株式会社シゴフス 代表取締役 NPO法人女性起業家ネットワーク 理事	35名
	藤村香子 先生	東京大学大学院理学系研究科 高度生命工学センター 分子細胞発生学部門 教授 一般社団法人公認産学研究員 副会長	
第4回 2022年9月7日	林(高木)朋子 先生	理化学研究所 脳神経科学研究センター 多脳領域神経系研究チーム チームリーダー	346名

※北海道～沖縄、海外からも参加あり

取組

Your Attention to Your Own Innovation !

(2) 研究力向上、リーダー育成

① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援

② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

取組

(2) 研究力向上、リーダー育成

① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援

女性研究者が主体となり  
基礎医学と臨床工学の間をつなぐ  
医・工・学の「架け橋研究支援委員会」  
を設立。学内の女性研究者の  
新たな先端医学・寛分野融合研究の  
開発につなげる  
↓  
研究業績を上げた女性研究者は  
「次世代架け橋研究リーダー」として  
後進育成に貢献

取組の成果

(2) 研究力向上、リーダー育成

① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援

「架け橋研究支援」の実施 一名称2023年度第1回研究支援委採択者5名

出口典子 准教授  
「基礎医学分野でのLTPDの遺伝子発現制御のメカニズムの解明」

関根子 准教授  
「遺伝子トランスクリプトーム解析の臨床応用」

高塚隆子 講師  
「基礎医学(下部消化器科)の分野」

「基礎医学(下部消化器科)の分野」

「基礎医学(下部消化器科)の分野」

「基礎医学(下部消化器科)の分野」

「基礎医学(下部消化器科)の分野」

グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用  
「YAYOIプロジェクト」

YouTube 東京女子医大 公式チャンネル  
動画公開中

チャンネル登録  
宜しくお願いたします!

令和3年度 & 令和4年度  
研究支援制度採択者  
研究報告を公開中

取組

Your Attention to Your Own Innovation !

(2) 研究力向上、リーダー育成

① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援

② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

取組

(2) 研究力向上、リーダー育成

② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

海外の複数の大学と共用できる研究用デジタルプラットフォームを構築  
安全に研究ノウハウやデータを共有し研究効率を促進。国際共同研究を活性化

国際共同研究中もしくは経験を有する女性研究者：国際交流指導者を中心に  
新たな国際研究交流を増加

国際共同研究支援委員会  
英語論文掲載料補助  
賞金にバックアップ

支援を受けた女性研究者は  
次世代国際交流指導者として  
後進育成に貢献

取組

(2) 研究力向上、リーダー育成

② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

国際研究講演会・交流会開催支援

麻酔学 長坂安子 教授、産科分野専攻による  
ハーバード大学 前田歩先生の講演会を支援 (令和5年11月)

Advancing maternal safety as OB anesthesia clinician-researcher

麻酔科医局  
ハーバード大学  
前田歩先生

取組

(2) 研究力向上, リーダー育成

② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

**研究用デジタルプラットフォームの構築**

XR空間(XRCC)を用いたコロナド大学の国際会議を実施 (令和5年1月)

先端生命科学研究所 北原典治 特任准教授

東京理科大学内 岡本祐子 講師

\*国立コロナド大学シラカワ校 高田秀人 准教

\*国立コロナド大学シラカワ校 Kristen Demoruelle 准教

取組

(2) 研究力向上, リーダー育成

② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

**アバターロボットを使用するためのデジタル環境の構築**

アバターロボット「temi」を使用して、シンガポール国立大学の国際共同研究者 (Dr. Lee Hui, Dr. Spencer) が本学のラボを視察 (令和4年1月)

アバターロボット「temi」株式会社INTTドコモ

石津綾子 教授・最先端分野

(2) 研究力向上, リーダー育成

② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

**「英語論文掲載料補助制度」の創設**

国際的な研究力向上および女性研究者の上位職登用の機会を増やすことを目的として、国際共同研究の成果として採択された英語論文の掲載料、さらに国際共同研究に貢献した成果として国際学術誌における掲載が決定した英語論文の掲載料を補助

**R3年度1名支援**  
**R4年度7名支援**  
**R5年度申請受付中**

~利用者の方へ~  
【40代 女性医師】論文を書くモチベーションが上がります。  
【30代 女性医師】論文執筆の上で迷った問題がクリアされた。

取組の成果

(2) 研究力向上, リーダー育成

② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

**「国際共同研究支援」の実施** 令和5年度国際共同研究支援金採択者2名

白井隆子 助教 薬学小児科  
「遺伝子発現と神経細胞の相互作用機構の解析による神経障害の分子メカニズムの解明」  
(Molecular mechanism of podiatric injury in post-traumatic focal segmental gliomerulonephritis)

Division of Nephrology, NCGU University  
Department of Molecular and Cellular Biology, University of Tsukuba/共同研究

天作経野 助教 薬学 国際薬師学・生物内科学分野  
「トロンボシトシリンパによるリンパ球増殖能発現調節メカニズムの解明」  
(To elucidate the stress-related immunomodulatory roles of Thrombospondin signaling)

Cancer Science Institute of Singapore, National University of Singapore/共同研究

◎採択者の顔ぶれ・所属先一覧

取組

(2) 研究力向上, リーダー育成

② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

**国際共同研究指導者による個別相談会 (R5年度~)**

国際共同研究支援金採択者の先駆者を中心とする「国際共同研究指導者」に個別に個別相談

- 国際共同研究に興味がある
- 海外で研究をしたい
- 留学についてのアドバイスが欲しい
- 専門分野で基礎研究一筋について相談したい

相談実施件数 2件

~利用者の方へ~  
・実りある相談でした  
・貴重な経験でした

取組

**Your Attention to Your Own Innovation!**

(2) 研究力向上, リーダー育成

① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援

② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

取組

(2) 研究力向上, リーダー育成

③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

学内研究施設のひとつ **メディカルAIセンター(MAC)**に「AI研究インターンシップ制度」を新設

AI研修、講習会参加機会を提供 (学内女性研究者には参加費一部補助)

広く学内外の女性研究者 (特に学生や若手研究者、医師、看護師を含む)の研究意欲をかき立て、新たな先端医学・AI研究の開始につなげる

MAC「AI研究指導者」に師事し新たにAI研究を開始する女性研究者を増加

支援を受けた女性研究者: 次世代AI研究指導者として後進育成に参画

AI研究スタートアップ 支援金で 強かにバックアップ

取組

(2) 研究力向上, リーダー育成

③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

**「AI研究インターンシップ制度」の創設**

AI研究実践に必要な基本知識を効率良く学べるAIセミナーや講習会を定期的に開催 (株式会社スタージェーション開催)

令和5年度 **AI・臨床統計無料相談会**

参加者: 延べ**29名**の女性研究者

令和5年2月 第1回医療・ヘルスケアAI講演会 (参加者**99名**)  
令和5年2月 アプローチ講演会 (定員5名/参加者**4名**)  
令和5年2月 臨床データ講習会 (参加者**5名**)  
令和5年3月 第2回医療・ヘルスケアAI講演会 (参加者**14名**)  
令和5年3月 表形式データの機械学習講習会 (定員5名/参加者**2名**)  
令和5年3月 第1回 ChatGPT(Ring Chat)講習会 (定員5名/参加者**4名**)  
令和5年3月 第3回医療・ヘルスケアAI講演会 (定員5名/参加者**14名**)




取組

(2) 研究力向上、リーダー育成

③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

**「AI講習会、研修会 参加費補助制度」の創設**

女性研究者が自らの希望するテーマでAI研究を開始するための基本知識習得機会を確保することを目的とし、AI研究へ参加を希望する女性研究者が、学内外のAI講習会や研修会等に参加する場合の参加費用を補助



**R3年度4名支援  
R4年度1名支援  
R5年度申請受付中**

～利用者の方～  
【50代 女性医師】  
書庫と研究会・講習会の参加費をご支援いただき、自身の教育活動・研究に専念することができました。  
【40代 女性医師】  
AI講習会の費用が助い、支援してもらえただけで受講が出来た。

取組の成果

(2) 研究力向上、リーダー育成

③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

**「AI研究スタートアップ支援」の実施** 令和5年度AI研究スタートアップ支援金 採択者3名

大木里花子 助教  
経路管理科

「脳神経外科ドナーの脳神経機能予測モデルの構築」



中尾梨沙子 助教  
脳神経外科

「言語学習による感情制御PTとSUICID(注)改善効果」



飯塚幸直 准教授  
脳神経外科

「AI技術を活用したAIシステムの開発に向けた「AIロボットスタディ」の実施とその効果の向上を目指して」



※脳神経科の協賛・指導を承蒙

YAYOIプロジェクトの支援を受けた若手女性研究者

副学術指導者  
国際交流指導者  
AI研究指導者

メンター・メンティ  
若手メンティ

ピアラーニングfor准主人  
演者メンター

後進育成活動

研究内容や成果を  
動画公開

ロールモデルとしての自覚を高め、  
研究費獲得や昇進昇格に意欲的に挑戦

**Your Attention to Your Own Innovation!**

取組

**Your Attention to Your Own Innovation!**

(3) ダイバーシティ研究環境整備

① 学会参加時の託児費補助制度の新設  
および 休日一時預かり保育制度の整備

② 実践的介護援助体制の構築

③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大


取組

(3) ダイバーシティ研究環境整備

① 学会参加時の託児費補助制度の新設  
および 休日一時預かり保育制度の整備

**「学会参加時等の託児費補助制度」の創設**

国内・国際学会、地方会・研究会、研修会等(オンライン含む)に参加する育児中の本学女性研究者が、託児サービス(ベビーシッター、一時預かり保育、ファミリーサポート、学内の託児サービスなど)を利用する際、その費用の一部または全額補助(対象となる子ども1名につき1万円/1回まで)



**R3年度1名(1件)支援  
R4年度5名(10件)支援  
R5年度申請受付中**

～利用者の方～  
【40代 女性医師】  
利用していたことが、学会に集中して専念することができました。  
【30代 女性医師】  
託児補助のおかげで、今まで諦めていた勉強会、地方会にも参加することができました。

取組

(3) ダイバーシティ研究環境整備

① 学会参加時の託児費補助制度の新設  
および 休日一時預かり保育制度の整備

**保育満足度とニーズ把握のための利用者アンケート実施**

保育園利用者定期的にアンケート調査を実施

「くやよい保育園を総合的にみて、どのように感じてもらっていますか?」



満足 20.0% (n=4)  
大変満足 75.0% (n=15)

～利用者の方～  
【30代 女性医師】  
本当にいい先生ばかりで大変子どもたちを大切にしてくださり、感謝しています。  
【30代 女性医師】  
靴の不変や寒くなることも相談できるので、大変助かります。  
【40代 女性医師】  
ちょっとしたことでお耳を傾けて下さって対応して頂いてます。落ちついた保育をして頂いています。

取組

(3) ダイバーシティ研究環境整備

① 学会参加時の託児費補助制度の新設  
および 休日一時預かり保育制度の整備

**保育園利用者の利便性と保育の安全性の向上のための  
くやよい保育園(院内保育所)のICT環境整備**

より安全な保育環境を整備するため、一般保育と病児保育の一部にICTシステムを導入。利用人数の管理と午睡時のモニタリングを実施



休憩、呼吸センサー  
午睡チェックタブレット

ユニファ株式会社  
キッズコア1株式会社

取組

**Your Attention to Your Own Innovation!**

(3) ダイバーシティ研究環境整備

① 学会参加時の託児費補助制度の新設  
および 休日一時預かり保育制度の整備

② 実践的介護援助体制の構築

③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大

取組

(3) ダイバーシティ研究環境整備

② 実践的介護援助体制の構築

**ファミリーサポート「ちょこっと介護 見守り支援」**

介護者  
介護サービス  
家族支援

「ちょこっと介護 見守り支援」  
在宅介護者へ、見守りを行います

高齢のひとへ  
ヘルパー派遣  
NPO法人 子育てネットワーク・ピッコロ  
子育て支援センター・子育て支援教室  
子育て支援センター・子育て支援教室  
子育て支援センター・子育て支援教室  
子育て支援センター・子育て支援教室

介護サービス  
介護サービス  
介護サービス  
介護サービス  
介護サービス  
介護サービス

介護者  
介護サービス  
家族支援

取組

(3) ダイバーシティ研究環境整備

② 実践的介護援助体制の構築

**「キャリアプランをあきらめない介護ロードの歩き方」**  
令和5年2月発行 **全教職員に配布**

株式会社ベネッセキャリアサポート

取組

(3) ダイバーシティ研究環境整備

② 実践的介護援助体制の構築

**「介護なんでも相談窓口 (Googleフォーム)」**  
令和5年4月より開設

実際の介護の困りなどはもちろん、具体的にないけどちょっと聞いてみたい... ということで「なんでも」相談できる教職員のための学内相談窓口を開設

Googleフォームから相談内容を送信

相談の流れ  
女性医学生キャリア形成センターが窓口となり、介護サポート室常駐のアドバイザーと相談しながら対応を検討、必要に応じて関連部署と連携

利用卒業

取組

(3) ダイバーシティ研究環境整備

② 実践的介護援助体制の構築

**「介護講演会」開催実績**

開催日 | 講師 | 所属・職位 | 参加人数 | 動画視聴実績

開催日	講師	所属・職位	参加人数	動画視聴実績
第1回 2023年 7月4日	講演会タイトル		39名 男性9名 女性30名	YouTube 41回 クラウド チャンネル 154名
	第1部：『脳科学からみた認知症』 第2部：『本学女性研究センターの保護者会』			
第2回 2023年 7月14日	講演会タイトル		18名 男性5名 女性13名	クラウド チャンネル 120名
	第1部：『介護の話を聞いてもらおう〜介護現場のリアル〜』 第2部：『介護現場が家族を介護することに悩んだら...』			
第3回 2023年 11月9日 予定	講演会タイトル		12名 男性0名 女性12名	
	第1部：『小規模多機能型居宅介護やグループホーム等の社会資源を知ろう！〜高齢者の権利と実態を調査〜』 第2部：『医療従事者が家族を介護することになったら...』			

開催卒業

Your Attention to Your Own Innovation!

取組

(3) ダイバーシティ研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費補助制度の新設 および 休日一時預かり保育制度の整備
- ② 実践的介護援助体制の構築
- ③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大

取組

(3) ダイバーシティ研究環境整備

③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大

これまでの女性研究者のみを対象とした研究支援員制度

新たに **プラス「男性研究者の支援枠」** 設立

配偶者が大学等の研究機関に常勤している女性研究者で育児/介護により研究ベースの継続が困難な男性研究者1名を、書類審査・面接審査で公正に選抜し、1年間研究支援員1名を配属する費用を負担

取組

(3) ダイバーシティ研究環境整備

③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大

**令和4年度支援対象者**  
出雲 洋 助教 (消化器・一般外科(肝・胆・膵外科学)) ◎産科領域の臨床・看護学実習  
提供者：歯科医院勤務 (フルタイム)

研究課題：  
正確な画像を用いた脳脊髄の手術計画立案のリスク因子の検討  
脳脊髄手術計画の最適化のための統計学的手法の開発

**令和5年度支援対象者**  
菅野 勇樹 講師 (歯科口腔外科(口腔顎顔面外科学分野))  
提供者：他大学口腔外科講師 (常勤)

研究課題：  
方学内連携を有する産科科領域の三次元診断用再生医療を目的とした大動物臨床試験

Your Attention to Your Own Innovation!

取組

所期には計画していなかったが、成果の上った項目

- ① 科研費申請支援 (科研費セミナー、申請書レビュー)
- ② 学内への波及効果 (研究機運の上昇)
- ③ メンター・メンティ賞設立
- ④ Slackによる研究者コミュニティ構築



(2) 研究力向上、リーダー育成 **取組**

科研費申請支援（令和4年度～） **新規事業**

①「科研費セミナー」開催実績

開催回	講師	所属・職位	参加人数	動画視聴 実績
第1回 2022年 2月14日	岡田昭子 准教授	セネタータイトル 医科大学 学術研究・学芸学芸連携推進 リサーチアドバンスセンター 推進部長	39名 男性14名 女性25名	YouTube 45回
		第1部：「研究費からみた研究における科研費とは！」 第2部：「本学女性研究者からの伝授談話」		
第2回 2022年 6月30日	岡田昭子 准教授	医科大学 学術研究・学芸学芸連携推進 リサーチアドバンスセンター 推進部長	30名 男性12名 女性18名	クラウド キャンパス 92名
		第1部：「研究の新たな展開へ向けて～研究費の活用～」 第2部：「質疑応答コーナー」		
第3回 2022年 11月9日	岡田昭子 准教授	医科大学 学術研究・学芸学芸連携推進 リサーチアドバンスセンター 推進部長	9名 男性1名 女性8名	
		第1部：「科研費から医学連携を含めた 研究の大型化を目指すには」 第2部：「本学女性研究者からの伝授談話」		

(2) 研究力向上、リーダー育成 **取組**

科研費申請支援（令和4年度～） **新規事業**

①「科研費申請書レビュー」の実施

～事後アンケートより～ **R4年度40件支援 R5年度17件支援**

【40代 女性研究者（准講師）】  
科研費全体の仕組みを踏まえたとコメントをいただくことができた大変参考になりました。

【40代 女性研究者（講師）】  
こうした方が良いのではないかというお話を授業していただいたことは、想定への理解が深まり非常に良かったです。

【30代 女性医師（助教）】  
問題点がなかった。

【50代 女性医師（助教）】  
自分でも自信がない箇所や説明不足の箇所を明確に指摘して頂き、どのように書けば審査官に伝わりやすいのか大変助になりました。

※R4年度講師：DPCスト・システム株式会社  
※R5年度講師：全国大学研究支援機構

Your Attention to Your Own Innovation! **取組**

所期には計画していなかったが、成果が上がった項目

①科研費申請支援（科研費セミナー、申請書レビュー）

②学内への波及効果（研究機運の上昇）

③メンター・メンティ賞設立

④Slackによる研究者コミュニティ構築

**波及効果**

②学内への波及効果（研究機運の上昇）

本学研究推進センターURAが、YAOIプロジェクトを含む女性医師人キャリア形成センターの活動に参画

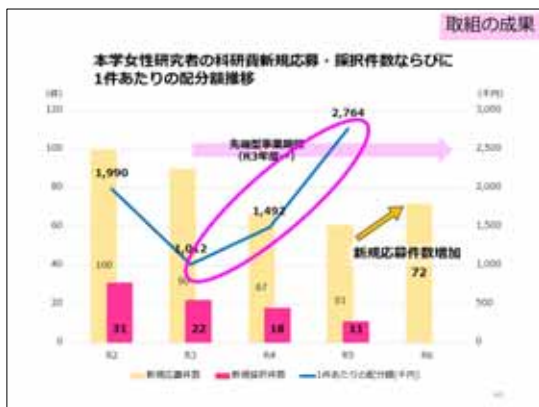
↓

学内において科研費申請支援事業を新たに企画・展開  
研究費獲得のデータ分析を行い学内研究者に開示・フィードバックすることで、研究費獲得能力向上に向けた全学的支援体制を構築

↓

結果として学内全体の研究機運が高まっている

大学主催で行われた科研費支援事業



**波及効果**

グローバルヘルスリーダー育成と変なる女性登用「YAOIプロジェクト」

女性医師・研究者支援の取組に関する視察・取材等

実施時期	視察内容
2022年 9月16日	マリア・クリスティーナ・メッサム イタリア共和国 大学・研究開発大臣 本事業を中心とする本学の女性医師・研究費支援について
2022年 11月17日	高橋利華 准教授 松本保健福祉専門学校 校長 本学の女性研究者支援活動に関するBorin視察
2022年 3月15日	渡辺雅雄 YAOIプロジェクトについて
2023年 7月13日	ヘネッセ シンガポール 本学の内進支援について
2023年 8月18日	m3.com 本学の女性研究者支援の取組ならびにダイバーシティ事業について

「YAOI」センターのサポート資料

グローバルヘルスリーダー育成と変なる女性登用「YAOIプロジェクト」 **取組の成果**

「単独研究支援金」採択者 | 「国際共同研究支援金」採択者 | 「AI研究スタートアップ支援金」採択者

YouTube「東京女子医大公式チャンネル」にて成果報告動画を公開中

YAOIプロジェクトの支援を受けた若手女性研究者

単独研究指導者 | 国際交流指導者 | AI研究指導者

メンター・メンティ賞 | 受賞メンティ

など

後進育成活動

研究内容や成果を動画公開

ロールモデルとしての自覚を高め、研究費獲得や昇進昇格に意欲的に挑戦

Your Attention to Your Own Innovation!

**YAYOIプロジェクトにご協力いただいている皆様**  
(順不同)

国立研究開発法人科学技術振興機構  
MPFI事務局  
株式会社NTTドコモ  
株式会社スタージェン  
株式会社ブルークス  
NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ  
株式会社ベネッセシニアサポート  
ユニファ株式会社  
キッズコネクト株式会社  
ロバスト・ジャパン株式会社  
一般社団法人全国大学研究支援機構  
全国ダイバーシティネットワーク  
大阪公立大学  
富山大学  
パーソルテンプスタッフ株式会社



ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）事業報告 2023/12/22

**グローバルヘルスリーダー育成と  
更なる女性登用  
「YAYOI プロジェクト」**

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）

女性医療人キャリア形成センターHP  
<https://www.twmu.ac.jp/university/cdc/gender/>



● 令和5年度 ダイバーシティ環境整備事業 中間報告会プログラム

文部科学省科学技術・学術政策局ダイバーシティ・研究環境実現イニシアティブ（先導型）  
**Your Attention to Your Own Innovation!**

オンライン開催  
参加無料  
事前申込

令和5年度 東京女子医科大学  
**ダイバーシティ環境整備事業 中間報告会**

**女性が輝き続ける  
ダイバーシティ推進のために**

**第一部 特別講演**

16:00 講演 高橋 真由子 東京女子医科大学 特別学術顧問/学術戦略推進部長  
16:05 講演 山本 朋子 東京女子医科大学 学術部長  
16:10 講演 丸 義明 東京女子医科大学 学術部長  
16:15 講演 高橋 真由子 東京女子医科大学 特別学術顧問/学術戦略推進部長

**第二部 報告会**

16:25 事業報告 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）」  
本多 朋子 東京女子医科大学 特別学術顧問/学術戦略推進部長  
ダイバーシティ推進部長/事業推進部長

17:15 特別講演 「ロールモデル」東京女子医科大学 私たちのSTORY」上巻  
高橋 真由子 東京女子医科大学 特別学術顧問/学術戦略推進部長

17:40 令和3年度～令和5年度 研究成果報告  
高橋 真由子 東京女子医科大学 特別学術顧問/学術戦略推進部長

18:10 講演 山本 朋子 東京女子医科大学 学術部長  
丸 義明 東京女子医科大学 学術部長

18:25 講演 高橋 真由子 東京女子医科大学 特別学術顧問/学術戦略推進部長

2023.12.22 (金)  
16:00~18:30

Zoomによるオンライン開催  
(会場：横浜国立大学1階104会議室)

お申込み方法（事前申込）  
お申込み方法（事前申込）  
お申込み方法（事前申込）

主催：東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター  
ダイバーシティ環境整備事業推進室  
Mail: odc@twmu.ac.jp TEL: 03-3353-8112 (内線 30104)  
URL: <https://www.twmu.ac.jp/university/cdc/gender/center/>

## 女性教授割合の拡大状況

平成 28(2016)年に採択された「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」では、女性教授率 30%を目標に様々な取組を行い、令和 2(2020)年 7 月に特命担当教授（将来の教授候補者）を含めた女性教授率 31.1%を達成しました。

本事業では特命担当教授を含まない「女性教授率 30%の達成と維持」を目標とし、OECD 加盟国に匹敵する女性教授比率の達成を目指します。

### 【教授の女性割合と在籍数】

		女性割合	女性	男性	合計
事業開始時	令和 3(2021)年 11 月	26.7%	36	99	135
事業開始後	令和 4(2022)年 5 月	27.2%	34	91	125
↓	令和 5(2023)年 5 月	29.8%	37	87	124

## 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進

女性教授比率の向上に加え、次世代の女性教授候補者層を厚くし裾野を広げるためには、女性准教授・講師を着実に育成していくことが不可欠です。優れた女性教員（女性研究者）に対し女性准教授・講師昇進昇格を積極的に実施し、女性教授比率 30%を今後も維持していくために、これまで 30%程度に留まっていた新規採用も含めた女性准教授比率、講師比率をそれぞれ 35%、40%とする目標を設定しました。本学では「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」の一環として令和 2(2020)年度から教員評価制度が本格的に始動しており、適切な評価体制が整っています。また学祖 吉岡彌生先生の精神を受け継ぎ、社会のリーダーとしてより良い社会を作るために活動することを目指す女性医療人のための組織「女性医療人リーダー育成部門」の本科生・登録生制度構築により、層の厚い人材育成を行ってきたことから、本事業では女性准教授・講師に関する学長指名推薦枠を導入、さらに看護系教育・研究職についても（特任教授、特任准教授に相当する）女性上位職の枠を新たに導入することで、女性教授候補者の層を厚くし、女性上位職の裾野を拡大します。

### 【准教授・講師の女性割合と在籍数】

		准教授				講師			
		女性割合	女性	男性	合計	女性割合	女性	男性	合計
事業開始時	令和 3(2021)年 11 月	26.8%	33	90	123	33.5%	52	103	155
事業開始後	令和 4(2022)年 5 月	27.4%	32	85	117	34.2%	51	98	149
↓	令和 5(2023)年 5 月	29.7%	35	83	118	35.7%	50	90	140

◆学内女性研究者を対象としたキャリアアップのための実践的な個別アドバイスの実施

「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」演者である現准教授・講師をメンター、参加者をメンティとした個別アドバイスを実施しています。“女性研究者のキャリア形成”や“ライフイベントの乗り越え方”等、ピアラーニングの延長としてメンティの希望するテーマで身近なロールモデルであるメンターと科を越え自由に交流できる貴重な機会となっています。

◆現准教授や講師をロールモデルとした「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」の開催

特色型で教授昇格を目的として行ってきたピアラーニングの「准教授・講師版」を「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」と称し、様々な分野で企画・開催をしています。この「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」のネーミングは、本学が輩出してきた多くのグローバルヘルスリーダーをロールモデルとし、これを目指す志を持つすべての女性研究者を「彌生人（やよいびと）」と総称することを由来としています。参加者からは、“今後どのように進んでいくかの指針になった”、“自分のキャリアプランを見直す手掛かりになった”等の感想が寄せられました。

<ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）・個別アドバイス実施実績>

	年度	日付	講師	参加者	個別アドバイス実施
1	令和4 (2022)	令和4(2022)年 9月28日	赤穂理絵准教授（精神医学） 石垣景子准教授（小児科学）	9名	1名
2	年度	令和4(2022)年 12月19日	井坂珠子准教授（呼吸器外科学）	4名	1名
3		令和5(2023)年 2月22日	丸山千秋先生（公益財団法人東京都医学総合研究所 脳・神経科学研究分野 脳神経回路形成プロジェクト・プロジェクトリーダー）	5名	2名
4	令和5 (2023) 年度	令和5(2023)年 4月20日	中山優季先生（公益財団法人東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター 難病ケア看護ユニット ユニットリーダー）	10名	2名
5		令和5(2023)年 6月19日	菊池規子講師（循環器内科学）	7名	1名
6		令和5(2023)年 11月2日	福屋泰子准教授（皮膚科学）	6名	0名
7		令和6(2024)年 1月12日	小宮山陽子准教授（看護学部）	12名	2名



◆「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」の設立

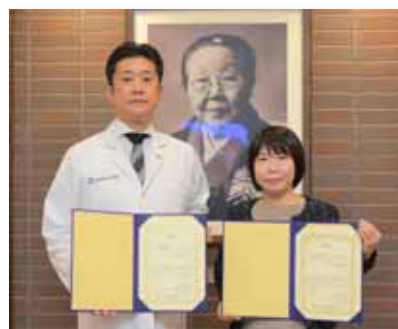
優れた指導の結果、女性研究者＝メンティ（医師・看護師・non-MDを含む）が高インパクトファクターの雑誌に筆頭著者として論文掲載を成し遂げた場合、指導に当たった研究者＝メンター（医師・看護師・non-MDを含む）と当該メンティのメンター・メンティペアを対象として、両者を表彰する「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」を設立しました。

【令和4(2022)年度受賞者】

- ・ メンティ：橘田綾菜助教（八千代医療センター整形外科）  
メンター：岡崎賢教授・基幹分野長（整形外科）  
(授与式代理出席：岩倉菜穂子講師)



- ・ メンティ：菊池麻美助教（足立医療センター脳神経外科）  
メンター：久保田有一教授（足立医療センター脳神経外科）



- ・ メンティ：武藤友香栄養士（栄養管理部）  
メンター：永田智教授・基幹分野長（小児科学）



- ・ メンティ：落合萌子助教（膠原病リウマチ内科）  
メンター：田中榮一准教授（膠原病リウマチ内科）



【令和 5(2023)年度受賞者】

- ・ メンティー：吉野真紀助教（泌尿器科）  
メンター：石原弘喜助教（泌尿器科）



- ・ メンティー：藤崎真由子後期研修医（膠原病リウマチ内科）  
メンター：樋口智昭特任講師（膠原病リウマチ内科）



- ・ メンティー：吉村麻未後期研修医（循環器内科）  
メンター：菊池規子講師（循環器内科）



令和 4(2022)年度授与式



令和 5(2023)年度授与式

### ◆ロールモデル集の制作

女性研究者の意欲向上を目的に、本事業の支援を受けた女性研究者にフォーカスしたロールモデル動画「東京女子医科大学 私たちのSTORY」を制作しました。日々最前線で医療・研究・患者と向き合う研究者たちがどのような思いでここまで歩み、どのような信念のもと日々研鑽を積んでいるのか、それぞれのSTORYを紐解きます。研究者の卵を含め、多くの女性研究者たちがリーダーシップをとって活躍する未来の自分の姿をイメージできるように、との思いを込めて制作しました。

YouTubeの東京女子医大公式チャンネルにて公開しています。

URL：<https://www.youtube.com/@TokyoWomensMedicalUniversity>

文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアチブ(先進型)  
Your Attention to Your Own Innovation!

東京女子医大公式チャンネル  
YouTube 公開中!

ロールモデル動画 東京女子医科大学  
私たちのSTORY

Our Story

本学女性研究者の業績に迫る動画「東京女子医科大学 私たちのSTORY」が完成しました。醫生人(やよいびと)としてのマインドをもち、日々研鑽を重ねている女性研究者のそれぞれのSTORYを紐解きます。研究者の卵を含め、多くの女性研究者たちがリーダーシップをとって活躍する未来のご自身を思い描けるように、との思いを込めて… 2023年12月

ご視聴はこちらから (YouTube公式!)

【通常版】 【English】

東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター  
cdc.bm@twmu.ac.jp 03-3353-8112 (内線 30166)  
URL: <https://www.twmu.ac.jp/university/cdc/gender/diversity/>

宇津 吉則 先生(やよいびと)

※本動画を業務にて利用される場合は申請ください。  
申請フォーム: <https://forms.gle/ExAKMe8Pd8WRjM6s5>



## 学長指名推薦による女性教授登用

国内外において優れた実績のある女性教職員（医師以外の女性研究者も含む）の上位職登用を推進しています。「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」において、これまでの「上位職への積極登用」の行動計画ではプラスファクターおよび特命担当教授任命制度により教授昇格者数が大幅に増加しました。令和 4(2022)年度は、教員評価制度の高評価に基づいて学長指名推薦を受けた女性教授候補者が、第三者評価による公正な教授選考委員会の選考を経て、3 名が教授に任命されました。（令和 6(2024)年 1 月末日現在）

- ・西井明子教授（統合教育学修センター 基礎教育学）／令和 4(2022)年 5 月 26 日付
- ・清水優子教授（医療安全科）／令和 4(2022)年 9 月 29 日付
- ・飯嶋睦教授（脳神経内科）／令和 4(2022)年 11 月 1 日付

## オープンイノベーション講演会・交流会の実施

リーダーシップを発揮し異分野を繋げて未来の医療を担う女性医療人「彌生人（やよいびと）」の育成には、医・工・理含めた異分野連携、異業種連携の場が不可欠です。本学の医学系・理工系融合研究施設である先端生命医科学研究所が主催する「バイオメディカル・カリキュラム」（以下 BMC）は、学内のみならず外部の企業、研究所、病院、文系大学など異分野・異職種からの参加希望者を対象とした医学全般のリカレント教育コースであり、医学・生命科学と理工学の先端テクノロジーを融合した新しい先端医療の実現に貢献する幅広い人材育成と研究・開発の実践を目指しています。既に 50 年以上の歴史を持ち修了生は 2000 名を超え、医薬品・医療機器分野の他、化学・材料分野、食品分野、情報・通信分野、出版分野など様々な異分野業界の第一線で活躍する人材を数多く輩出しており、中には女性も含まれています。

本事業では現在活躍中の BMC 修了生（女性を含む）によるオンライン講演会や交流会を実施し、広く学内外、国内外から女性研究者の参加を促すことで、女性研究者を中心としたコミュニティの形成、活性化を推進していきます。

### ◆第 1 回 オープンイノベーション講演会

日時：令和 4(2022)年 1 月 24 日（月）17：00-19：00

方法：オンライン

演者：小林真里先生[東京農工大 特任准教授]

高橋政代先生 [株式会社ビジョンケア 代表取締役社長、  
眼科医]

参加者：約 35 名



◆第2回 オープンイノベーション講演会

日時：令和4(2022)年8月4日(木) 18:00-19:30

方法：オンライン

演者：番場嘉子先生 [下部消化管外科学 講師、メディカルAI センター副センター長]

小林英津子先生 [東京大学大学院工学系研究科教授]

参加者：約35名



◆第3回 オープンイノベーション講演会

日時：令和5(2023)年1月26日(木) 18:00-19:30

方法：オンライン

演者：北奈央子先生 [株式会社ジョコネ。代表取締役、NPO 法人女性医療ネットワーク 理事]

新井郷子先生 [東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター 分子病態医科学部門准教授、一般社団法人 AIM 医学研究所 副所長]

参加者：約35名



◆第4回 オープンイノベーション講演会

日時：令和5(2023)年9月7日(木) 18:00-19:30

方法：オンライン

演者：林(高木) 朗子先生 [理化学研究所・脳神経科学研究センター・多階層精神疾患研究チーム チームリーダー]

参加者：約34名



◆第5回 オープンイノベーション講演会

日時：令和6(2024)年1月18日(木) 18:00-19:30

方法：オンライン

演者：高橋倫子先生 [北里大学医学部生理学 大学院医療系研究科 細胞・分子生理学 教授]

参加者：約40名



● 上位職への積極登用の取組 リーフレット

◆ 第1回ピアラーニング for やよいびと

**受付締切**  
9月21日(水)

**ピアラーニング for やよいびと**  
第1回開催のお知らせ

2022年9月28日 | 17:00~  
Zoomによるオンライン開催

**対象者**  
東京女子医科大学に在籍する  
講師・助教を含む全ての  
女性医師等女性研究者

大学院生、非常勤の方もどうぞ！足立、八千代からのご参加も大歓迎！

**講師**

- 赤穂 延絵 先生 (神経精神科 准教授)
- 石塚 珠子 先生 (小児科 准教授)
- 西井 明子 先生 (総合教育学センター長、教授)
- 斎藤 高子 先生 (消化器一般外科 講師)

演者の先生と自由にお話をしながら、ご自身のキャリア形成のためのヒントを探ってみませんか？

例えば…

- 女子医大でがんばるメリットは？
- どうやって准教授になりましたか？
- ワークライフバランスについて、どんな考えをお持ちですか？

お問い合わせ  
女性医療人キャリア形成センター  
ダイバーシティ環境整備事業推進室  
TEL: 03-3353-8112 内線30166  
MAIL: cdc\_bml@twmu.ac.jp  
URL: <http://www.twmu.ac.jp/gender/>

お申し込みは  
こちらから

◆ 第2回ピアラーニング for やよいびと

Your Attention to Your Own Innovation!

**ピアラーニング for やよいびと**  
~第2回開催のお知らせ~

**開催日時** 2022年12月19日(月)17:00~18:00

**開催方法** Zoomによるオンライン開催  
※後日のDVD録出やオンライン視聴はございません

**対象者** 東京女子医科大学に在籍する講師・助教を含む全ての  
女性医師等女性研究者

大学院生、非常勤の方もどうぞ！  
足立、八千代からのご参加も大歓迎！

演者の先生と自由にお話をしながら、  
ご自身のキャリア形成のための  
ヒントを探ってみませんか？

例えば…

- 女子医大でがんばるメリットは？
- どうやって准教授になりましたか？
- ワークライフバランスについて、どんな考えをお持ちですか？

**講師**  
呼吸器外科 准教授  
井坂 珠子 先生

**進行** ダイバーシティ環境整備事業推進室 副室長  
総合教育学センター長、教授 消化器一般外科 講師  
西井 明子 先生 斎藤 高子 先生

お問い合わせ  
女性医療人キャリア形成センター  
ダイバーシティ環境整備事業推進室  
TEL: 3353-8112 内線30166  
MAIL: cdc\_bml@twmu.ac.jp  
URL: <http://www.twmu.ac.jp/gender/>

お申し込み  
受付締切 12月12日(月)  
下記QRコードよりお申し込みください。

本イベントは文部科学省科学技術人材育成補助事業  
「ダイバーシティ環境整備事業(インテグティブ(先進型))」の一環として実施します

◆ 第3回ピアラーニング for やよいびと

Your Attention to Your Own Innovation!

**ピアラーニング for やよいびと**  
~第3回~  
~「産学生学研究に  
たどり着くまで」~

2月22日(水) 17:00~18:00

Zoomによるオンライン開催  
※録音・録画は事前申請が必要です

**対象者** 東京女子医科大学に在籍する講師・助教を含む  
全ての女性医師等女性研究者

演者: 丸山 千秋 先生  
公益財団法人東京女子医科大学 産・神経科学学芸会  
脳神経回路形成プロジェクト プロジェクトリーダー

演者の先生と自由にお話をしながら、  
ご自身のキャリア形成のための  
ヒントを探ってみませんか？

例えば…

- 研究で一番楽しんでいるのは何ですか？
- 研究を始めるきっかけやピアリングポイント？
- ワークライフバランスについて、どんな考えをお持ちですか？
- 産科にこだわった研究を続けるにはどういったことが必要ですか？

**進行** ダイバーシティ環境整備事業推進室 副室長  
総合教育学センター長、教授 消化器一般外科 講師  
西井 明子 先生 斎藤 高子 先生

大学院生、非常勤の方もどうぞ！足立、八千代からのご参加も大歓迎！

お問い合わせ  
女性医療人キャリア形成センター  
ダイバーシティ環境整備事業推進室  
TEL: 03-3353-8112 内線30166  
MAIL: cdc\_bml@twmu.ac.jp  
URL: <http://www.twmu.ac.jp/gender/>

お申し込み  
お申し込みください  
QRコードより  
お申し込みください

本イベントは文部科学省科学技術人材育成補助事業  
「ダイバーシティ環境整備事業(インテグティブ(先進型))」の一環として実施します

◆ 第4回ピアラーニング for やよいびと

Your Attention to Your Own Innovation!

**ピアラーニング for やよいびと**  
~第4回開催のお知らせ~

**講師** 中山 優季 先生  
東京女子医科大学 産科 産科医学研究センター  
産科ケア看護ユニット コordinator

中山 優季 先生  
産科医学研究センター 産科 産科医学研究センター  
産科ケア看護ユニット コordinator

**開催日時** 4月20日(木)PM 16:00~PM 17:00

**会場** 東京女子医科大学 産生記念教育棟1階104会議室  
(河田町キャンパス内)、Zoom参加も可

**対象者** 東京女子医科大学に在籍する講師・助教を含む  
全ての女性研究者

演者の先生と自由にお話をしながら、  
ご自身のキャリア形成のための  
ヒントを探ってみませんか？

例えば…

- これまでの臨床経験や研究活動の活用は？
- 研究を始めるきっかけやピアリングポイント？
- ワークライフバランスは？
- 産科のモチベーションを高める働き方は？
- これから産科研究者に求められる能力は？

お問い合わせ  
女性医療人キャリア形成センター  
ダイバーシティ環境整備事業推進室  
TEL: 03-3353-8112 内線30166  
MAIL: cdc\_bml@twmu.ac.jp  
URL: <http://www.twmu.ac.jp/university/cdc/gender/>

お申し込み  
お申し込みください  
QRコードより  
お申し込みください

大学院生、非常勤の方もどうぞ！足立、八千代からのご参加も大歓迎！

本イベントは文部科学省科学技術人材育成補助事業  
「ダイバーシティ環境整備事業(インテグティブ(先進型))」の一環として実施します



◆第5回ピアラーニング for やよいびと

Your Attention to Your Own Innovation!

## ピアラーニング for やよいびと

～第5回～

### 「母校で臨床医として キャリアを積むこと」

**参加無料**

**日時** 6月19日(月)17:30～18:30

**会場** 東京女子医科大学 総合研究棟3階 302会議室  
(河田町キャンパス内)、Zoom参加も可

**対象** 東京女子医科大学に在籍する講師・助教を含む  
全ての女性医師等女性研究者  
(大学院生、非常勤の方もどうぞ！ 足立、八千代からのご参加も大歓迎！)

演者の先生と自由にお話をしながら、  
ご自身のキャリア形成のための  
ヒントを探ってみませんか？

例えば…

- 女子医大でがんばるメリットは？
- どうやって講師になりましたか？
- コーラボ/バランスについて、どんな考えをお持ちですか？

**講師** ダイバーシティ環境整備事業推進室 室長  
総合教育センター長、教授 消化器一般外科 講師  
西井 朝子 先生 事務 藤子 先生

**演者** 産婦人科 講師  
菊池 規子 先生  
(2007年卒)

**お申し込み・お問い合わせ**  
女性医療人キャリア形成センター ダイバーシティ環境整備事業推進室

TEL: 03-3353-8112 内線30166 QRコードより  
MAIL: cdc\_fm@twmu.ac.jp お申し込みください  
URL: <https://www.twmu.ac.jp/university/cdc/gender/>

◆第6回ピアラーニング for やよいびと

WAVE 2023  
Your Attention to Your Own Innovation!

## ピアラーニング for やよいびと

\*\*\*\*\* 第6回開催のお知らせ \*\*\*\*\*

**参加無料**

**日時** 11月2日(木)17:30～18:30

**会場** 東京女子医科大学 総合研究棟1階 102会議室  
オンライン参加も可

**対象** 東京女子医科大学に在籍する全ての女性研究者  
(講師・助教・助手・研修医、看護職、医療技術者 等)

演者の先生と自由にお話をしながら、  
ご自身のキャリア形成のためのヒントを探ってみませんか？

例えば…

- 女子医大でがんばるメリットは？
- どうやって講師になりましたか？
- コーラボ/バランスについて、どんな考えをお持ちですか？

**講師** ダイバーシティ環境整備事業推進室 室長  
総合教育センター長、教授 消化器一般外科 講師  
西井 朝子 先生 事務 藤子 先生

**演者** 皮膚科 准教授  
福屋 泰子 先生

**お申し込み・お問い合わせ**  
女性医療人キャリア形成センターダイバーシティ環境整備事業推進室

TEL: 03-3353-8112 内線30166 QRコードより  
MAIL: cdc\_fm@twmu.ac.jp お申し込みください  
URL: <https://www.twmu.ac.jp/university/cdc/gender/>

◆第7回ピアラーニング for やよいびと

Your Attention to Your Own Innovation!

## 第7回 ピアラーニング for やよいびと

**参加無料**

**日時** 2024年1月12日(金) 16:00～17:00

**会場** 東京女子医科大学 総合研究棟1階 102会議室  
(オンライン参加も可)

**対象** 東京女子医科大学に在籍する全ての女性研究者  
(看護職、大学院生、非常勤の方もどうぞ！ 足立、八千代からのご参加も大歓迎！)

演者の先生と自由にお話をしながら、  
ご自身のキャリア形成のためのヒントを探ってみませんか？

- これまでの臨床経験や研究活動の実績は？
- 臨床看護から現在に至るターニングポイントは？
- これからのキャリアに迷ったときの打開策は？
- 研究のモチベーションを支える原動力は？
- これから看護系研究者に求められる能力は？

**講師** 看護学部 基礎看護学  
小宮山 陽子 准教授

**お申し込み・お問い合わせ**  
女性医療人キャリア形成センター  
ダイバーシティ環境整備事業推進室

TEL: 03-3353-8112 (内線30166) QRコードより  
MAIL: cdc\_fm@twmu.ac.jp お申し込みください  
URL: <https://www.twmu.ac.jp/university/cdc/gender/>

◆令和5(2023)年度彌生人メンター・メンティ賞

令和5年度  
やよいびと  
彌生人  
メンター・メンティ賞  
大募集!

【メンター】  
本学に在籍する医師等研究者  
(教授、非常勤、大学職生を除く)  
女性別枠

【メンティ】  
本学に在籍する  
女性医師等女性研究者  
(医師、看護師、non-MOを含む)

【お問い合わせ先】  
東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター ダイバーシティ推進推進事業推進室  
MAIL: edc.bm@twmu.ac.jp TEL: 03-3353-8112 (内線30166)  
https://www.twmu.ac.jp/university/career/center/index.html

令和5年度  
やよいびと  
彌生人  
メンター・メンティ賞  
大募集!

【メンター】  
本学に在籍する医師等研究者  
(教授、非常勤、大学職生を除く)  
女性別枠

【メンティ】  
本学に在籍する  
女性医師等女性研究者  
(医師、看護師、non-MOを含む)

【お問い合わせ先】  
東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター ダイバーシティ推進推進事業推進室  
MAIL: edc.bm@twmu.ac.jp TEL: 03-3353-8112 (内線30166)  
https://www.twmu.ac.jp/university/career/center/index.html

◆第1回オープンイノベーション講演会

第1回  
Your Attention to Your Own Innovation!  
オープンイノベーション講演会

日時 令和4年  
1月24日(月) 17:00-19:00  
オンライン

【第1部】ダイバーシティ(先端型)事業紹介  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)YAYOIプロジェクト」  
本多 祥子 [ダイバーシティ推進推進事業推進室長、解剖学講座(神経分子細胞学分野)准教授]  
「YAYOIプロジェクト オープンイノベーション 異分野融合研究の活性化」  
清水 達也 [先端型研究推進室 所長、教授]

【第2部】講演会  
「ビジョン思考のすすめ」  
小林 真里先生 [東京医工大学 卓越リーダー養成機構 特任准教授]  
「網膜再生医療とサステナブルメディスン」  
高橋 政代先生 [株式会社ビジョントップ 代表取締役社長、顧問]

パネルディスカッション  
小林真里先生、高橋政代先生、長坂安子先生 [動物科学分野長、教授]

お申込: <https://forms.gle/3M2dYH1T9vC4H728E>  
お振込コードもしくはURLからお申込み下さい

◆第2回オープンイノベーション講演会

第2回  
Your Attention to Your Own Innovation!  
オープンイノベーション講演会

日時 令和4年  
8月4日(木) 18:00-19:30  
オンライン開催 参加費無料

ダイバーシティ(先端型)事業紹介  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)YAYOIプロジェクト」  
本多 祥子 [ダイバーシティ推進推進事業推進室長、解剖学講座(神経分子細胞学分野)准教授]

講演会・パネルディスカッション  
「究極のAI外科医を作りたい  
～進化する大腸癌手術～」  
番場 嘉子 [東京女子医科大学 内科学講座(消化器内科学分野) 講師、  
ディジタルセンター 副センター長]  
「低侵襲手術を支援するロボット・ナビゲーションシステム」  
小林 英津子先生 [東京大学大学院 工学系研究科 教授]

パネルディスカッション  
小林 英津子先生、番場 嘉子

お申込: <https://forms.gle/h1F7A9baJnFKkxat5>  
お振込コードもしくはURLからお申込み下さい



◆第3回オープンイノベーション講演会

本事業は文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）」の一環として実施します

**Your Attention to Your Own Innovation !**

第3回  
**オープンイノベーション講演会**

2023年1月26日(木) 18:00~19:30

Zoomによるオンライン開催 (参加費無料・要事前申込)  
※Live配信のみ (後日の録画配信はございません)

テーマ **ヘルスリテラシーと予防医学の融合**

● 講演会

「女性の活躍とヘルスリテラシー」  
北奈央子氏  
株式会社ジョコネ、代表取締役  
NPO法人女性活躍ネットワーク 理事

「研究者の夢と目覚め  
～集中タスク買AIMの臨床応用をめざして～」  
新井郷子氏  
東京大学大学院医学系研究科 産業生命工学センター  
分子疫学疫学部門 准教授  
一般社団法人AIM医学研究所 創所長

● パネルディスカッション

お問い合わせ  
女性医学生キャリア形成センターダイバーシティ環境整備事業推進室  
TEL: 03-3253-8112 内線30166 MAIL: cdc\_bm@twmu.ac.jp  
URL: <http://www.twmu.ac.jp/gender/>

★お申込みはQRコードから



◆第4回オープンイノベーション講演会

本事業は文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）」の一環として実施します

**YAYOIプロジェクト**

第4回  
**オープンイノベーション講演会**

2023年9月7日(木) 18:00~19:30

Zoomによるオンライン開催  
参加費無料・要事前申込 (下記QRコードよりお申込みください)  
講演後、パネルディスカッションがございます。  
ライブ配信のみで、後日の録画配信はありません。

テーマ: 臨床から基礎研究、異分野融合研究へ

なぜ医師が研究をする  
「無限の喜びと使命感」

林(高木) 朗子氏  
理化学研究所・脳神経科学研究センター  
多段階神経疾患研究チーム サームリーダー

第4回  
オープンイノベーション講演会

お問い合わせ  
女性医学生キャリア形成センターダイバーシティ環境整備事業推進室  
TEL: 03-3253-8112 内線30166 MAIL: cdc\_bm@twmu.ac.jp  
URL: <http://www.twmu.ac.jp/gender/>

★お申込みはQRコードより



◆第5回オープンイノベーション講演会

本事業は文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）」の一環として実施します

**YAYOIプロジェクト**

第5回  
**オープンイノベーション講演会**

2024.1.18(木) 18:00~19:30

Zoom  
開催  
参加  
無料

診療から芽生える  
新しい領域への挑戦

講演テーマ  
・糖尿病と向き合う中で  
基礎研究を始めたきっかけ  
・新技術の開発と群馬への応用

講師  
北里大学医学部生体工学  
大学院医歯学系研究科  
補助・分子生物学 教授  
高橋 倫子氏

プロフィール  
北里大学医学部生体工学  
大学院医歯学系研究科  
博士課程修了 (博士課程)  
東京大学大学院医学系研究科  
博士課程修了 (博士課程)

お問合せ  
女性医学生キャリア形成センターダイバーシティ環境整備事業推進室  
Mail: [cdc\\_bm@twmu.ac.jp](mailto:cdc_bm@twmu.ac.jp)  
TEL: 03-3253-8112(内線 30166)  
URL: <https://www.twmu.ac.jp/university/cdc/gender/diversity/>  
本事業は文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）」の一環として実施します

★お申込みはQRコードより



## 事業報告② 研究力向上とリーダー育成

### 本学の研究力向上状況

本学女性教職員の科研費応募件数は例年コンスタントに維持されております。本事業では、女性研究者の科研費等競争的研究資金の応募数 30%増、新規採択率 20%増、原著論文等 10%増を目指します。令和 3(2021)年度に引き続き、「架け橋研究」「国際共同研究」「AI 研究」における研究支援を実施し、令和 4(2022)年度より研究力向上の新たな取組として、科研費採択支援を開始いたしました。

### 基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究の支援

本学の先端生命医科学研究所では 20 年前より独自の細胞シート工学を開発し、これを幹細胞生物学と臨床工学の架け橋として治療・創薬・疾患研究に応用しています。更には細胞農業を含めた異分野融合研究も始まっており、今後の幅広い展開が期待され既に本学内の医学部学生や若手研究者の注目を集めています。看護学領域においても、基礎医学研究の知見に発したアイデアを予防や治療、ケアのための技術・材料・機器開発に応用することで新たな研究開発分野を開拓できる可能性は大きく、本事業では、このような基礎医学と臨床工学の間を繋ぐいわば医・工・理の架け橋研究をスムーズに開始できるスタートアップ支援などの体制を構築し、これに関わる若手女性研究者の増加を促進していきます。本学には臨床工学と医学の先端的研究を行う研究施設として先端生命医科学研究所、メディカル AI センター、研究推進センターがあり、基礎医学系研究室との長年の共同研究実績も数多く、架け橋研究の基盤を有しています。先端技術に関わる研究開発を通じて、女性グローバルヘルスリーダーに欠かせない倫理的・法的・社会的な課題についての知見を深めます。

#### ◆「架け橋研究支援」制度の実施

架け橋研究スタートを希望する女性研究者を『架け橋研究支援金』により支援する制度を創設しました。これにより、架け橋研究の促進と、架け橋研究に関わる若手女性研究者の増加を推進しています。

【令和3(2021)年度採択者】

・関谷佐智子助教（先端生命医科学研究所）

-研究課題名「生体外ヒト腎障害モデルに向けた腎オルガノイドの血管機能化」



・青木信奈子助教（先端生命医科学研究所）

-研究課題名「医工連携によるヒト心筋組織の構造・機能に対する血管新生抑制性制御の検証」



・番場嘉子准講師（下部消化管外科学）

-研究課題名「手術室での複合現実 - 画像の投影と手術環境の情報共有による手術支援 - 」



・金谷萌子助教（生理学 神経生理学分野）

-研究課題名「機械学習を活用した痛み行動評価系の確立」



【令和4(2022)年度採択者】

• 坂井晶子助教 (循環器内科学)

-研究課題名「アンモニア PET による微小血管狭心症の診断から治療ストラテジーの確立」



• 青木信奈子助教 (先端生命医科学研究所)

-研究課題名「心筋組織における血管新生抑制性制御の意義の解明」



• 番場嘉子講師 (下部消化管外科学)

-研究課題名「大腸癌手術におけるデジタルツインを用いた3Dモデル作成と手術シミュレーション」



• 金谷萌子助教 (生理学 神経生理学分野)

-研究課題名「視床後内側腹側核における神経回路変化の機能的意義の解明」



• 辻真世子助教 (呼吸器内科学)

-研究課題名「個別化医療を目指した原発性線毛機能不全症気道上皮培養細胞のライブイメージング」



【令和 5(2023)年度採択者】

・ 青木信奈子助教（先端生命医科学研究所）

-研究課題名「血管新生抑制因子 LYPD1 の相互作用分子の探索・同定」



・ 梅井菜央准教授（集中治療科）

-研究課題名「体外式膜型人工肺における新規抗凝固薬の確立  
—凝固第XII因子標的 siRNA の役割の解明」



・ 出口敦子准教授（薬理学）

-研究課題名「To11 様受容体を介した転移前微小環境形成を標的としたペプチド系治療薬の開発」



・ 関桃子後期研修医（腎臓内科学）

-研究課題名「酸化ストレスと赤血球寿命の関係について」



・ 番場嘉子講師（下部消化管外科学）

-研究課題名「生成 AI を用いた音声による大腸癌の術前説明と Q&A 対応のシステム開発」





◆「架け橋研究指導者」による「架け橋研究紹介ツアー」の企画

基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」を促進するため、研究支援採択者が指導者として登録され、後進育成の役割を担っています。今後は架け橋研究開始を希望する女性研究者を増やすため、既に学内で進行中の異分野融合研究プロジェクトを多数紹介し、それらの研究プロジェクトに関わる研究者と新たに参加を希望する研究者とが相互に意見交換できる場「架け橋研究紹介ツアー」の開催準備を進めています。また、架け橋研究担当責任者による勉強会を定期的に開催しています。

◆研究支援採択者による成果報告動画の配信

令和3(2021)年度ならびに令和4(2022)年度本支援採択者による研究成果報告動画をYouTubeの東京女子医大公式チャンネルにて公開しています。

URL : <https://www.youtube.com/@TokyoWomensMedicalUniversity>

◆メーリングリストによる研究希望者への情報発信ならびにコミュニケーションツールによる研究者同士の意見交換の場の活性化

研究希望者への情報発信ツールとして、「YAYOI プロジェクト情報発信メーリングリスト」を発足し、学内研究者からの登録を受け付けています。YAYOI プロジェクト主催セミナーや各種支援制度の案内の他、研究者に有用な外部セミナーや研究助成金情報等を配信しています。

また女性研究者の育成、研究力向上、共同研究の促進・活性化を目的とした研究者同士の「開かれた情報交換の場」として、Slackによる「YAYOI コミュニティ」を開設、現在約100名の研究者が登録し、科を越えた交流の場となっています。

## バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

これまで本学医学部・看護学部では国際交換留学が盛んに行われており、世界の多数の大学との国際留学協定のもとで多くの学生を送り出し、また受け入れてきました。COVID-19の影響による海外渡航困難な状況下でも、既に本学では国際交流委員会が中心となり、海外留学を目指す学生、研究者、医師、看護師を対象に、海外経験を有するまたは海外で活躍中の卒業生や教職員からデジタルプラットフォーム上で経験談を聞き相互交流するプログラム「アナザースカイ」を定期的実施しています。また看護学部においてはCOIL（Collaborative Online International Learning）を応用した国際教育プログラムが講義の一環として既に実践されており、長年にわたり学生交換留学を実施してきた海外の大学とオンライン交流が盛んに行われています。

本事業ではこれら国際交流の効果を研究レベルに拡大し活用するため、すでに国際留学協定の実績で信頼のある大学を含めた海外の複数の大学と、共用の研究デジタルプラットフォームを構築し、メンバー大学間で安全に共同研究活動を実施でき、情報やノウハウを相互に共有して研究効率を上げるためのシステム構築を目指します。これにより学内の海外留学・国際共同研究経験のある研究者を中心とした新たな国際的研究交流の増加、国際共同研究の活性化を推し進め、さらに英語論文が採択された研究者には掲載料の補助を行い、研究力向上および上位職登用への促進を図ります。

また本学の先端生命医科学研究所がすでに活用しているアバターロボットを利用することにより、国内外の研究者が本学の研究現場に立ち合いディスカッションしたり、講義や研修を受けたりすることを可能にします。既に本学の研究者と米国の研究者との間でアバターロボットを用いたカンファレンスが試みられており、本事業ではその更なる利用拡大、国際共同研究活性化への貢献を支援していきます。

### ◆「国際共同研究支援」制度の実施

国際共同研究にすでに関わっている、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を『国際共同研究支援金』により支援する制度を創設しました。支援対象者が国際共同研究に積極的に関わることで、新たな国際研究交流の増加や国際共同研究の活性化を促進しています。

【令和3(2021)年度採択者】

・石津綾子教授・基幹分野長（顕微解剖学・形態形成学分野）

-研究課題名

（和文）単一造血幹細胞におけるサイトカイン応答性解析

（英文）Single cell based analysis of hematopoietic stem cell response to cytokine signaling

※シンガポール国立大学との共同研究



・河村（中山）寿子助教（生理学 神経生理学分野）

-研究課題名

（和文）ストレスによる視床神経回路の改編

（英文）Stress-induced remodeling of neuronal circuits in the sensory thalamus

※コレージュ・ド・フランス, INSERM, パリ文理研究大学との共同研究



・風幸世助教（国際環境・熱帯医学）

-研究課題名

（和文）アフリカ辺境地域における栄養不良の原因とリスク要因の解明

（英文）Determining the causes and risk factors of malnutrition in marginal areas of Africa

※ケニア中央医学研究所、ケニア保健局、マウントケニア大学、長崎大学等との共同研究



【令和4(2022)年度採択者】

・望月牧子助教（解剖学 顕微解剖学・形態形成学分野）

-研究課題名

（和文）骨髄不全症における造血幹細胞のミトコンドリア代謝機能変容の解明

（英文）Understanding the changing of mitochondria metabolism in BMF HSC

※セントジュード小児研究病院との共同研究



・河村（中山）寿子助教（生理学 神経生理学分野）

-研究課題名

（和文）社会性を欠いた生活環境下での感覚情報処理神経回路の破綻

（英文）Disruption of neural circuits in the sensory thalamus under living in social isolation

※コレージュ・ド・フランス, INSERM, パリ文理研究大学との共同研究



・岡本祐子講師（膠原病リウマチ内科学）

-研究課題名

（和文）関節リウマチ発症ハイリスク者に認められる T 細胞受容体シグナル変容

（英文）Altered T cell receptor signaling in at-risk for future development of rheumatoid arthritis

※コロラド大学デンバー校との共同研究



【令和 5(2023)年度採択者】

・白井陽子助教（腎臓小児科）

-研究課題名

(和文)「巣状分節性糸球体硬化症腎移植後再発における糸球体上皮細胞障害の分子メカニズムの解明」

(英文)「Molecular mechanism of podocyte injury in post-transplant focal segmental glomerulosclerosis recurrence」



※Division of Nephrology, McGill University・Department of Molecular and Cellular Biology, University of Guelph との共同研究

・矢作綾野助教（解剖学 顕微解剖学・形態形成学分野）

-研究課題名

(和文)「トロンボポエチンシグナルによるリンパ球系細胞免疫調整メカニズムの解明」

(英文)「To elucidate the stress-related immunomodulatory roles of Thrombopoietin signaling」



※Cancer Science Institute of Singapore, National University of Singapore との共同研究

◆「国際共同研究指導者」による新たに国際共同研究を希望する者を対象とした相談会の開催

「国際共同研究」を促進するため、研究支援採択者が指導者として登録され、後進育成の役割を担っています。国際共同研究経験者による個別相談会を実施しています。利用者からは「実りある時間でした」「貴重な時間でした」等の感想が寄せられています。

◆研究支援採択者による成果報告動画の配信

令和 3(2021)年度ならびに令和 4(2022)年度本支援採択者による研究成果報告動画を YouTube の東京女子医大公式チャンネルにて公開しています。

URL : <https://www.youtube.com/@TokyoWomensMedicalUniversity>



◆「英語論文掲載料補助制度」の実施

国際的な研究力向上および女性研究者の上位職登用の機会を増やすことを目的とし、国際共同研究の成果として国際学術雑誌掲載が決定した英文成果報告に対し、掲載料（論文・表紙掲載料、Web掲載料、オープンアクセス料等）の補助を行う制度を実施しています。

【支援実績】

令和3(2021)年度	
岩下華子准講師（国際環境・熱帯医学）	
タイトル	Risk Factors Associated with Diarrheal Episodes in an Agricultural Community in Nam Dinh Province, Vietnam: A Prospective Cohort Study
誌名	International Journal of Environmental Research and Public Health
令和4(2022)年度	
菊池麻美助教（足立医療センター脳神経外科）	
タイトル	Clinical features of herpes simplex virus reactivation after microvascular decompression for trigeminal neuralgia: Experience of 200 patients and a literature review
誌名	Surgical Neurology International
鈴木真由美講師（睡眠科）	
タイトル	Long-term outcomes regarding arterial stiffness and carotid artery atherosclerosis in female patients with rapid eye movement obstructive sleep apnea
誌名	Journal of International Medical Research
尾身葉子講師（内分泌外科学）	
タイトル	Pathological multifocality is not a prognosis factor of papillary thyroid carcinoma: a single-center, retrospective study
誌名	World Journal of Surgical Oncology
水主川純教授・基幹分野長（母子総合医療センター）	
タイトル	Uterine rupture in the third trimester of a pregnancy subsequent to a cesarean section by transverse uterine fundal incision: A case report and literature review
誌名	Clinical Case Reports
橘田綾菜助教（八千代医療センター整形外科）	
タイトル	A case of septic arthritis of the wrist in an infant
誌名	Journal of Pediatric Surgery Case Reports
長谷川茉莉助教（足立医療センター小児科）	
タイトル	Efficacy of incremental loads of cow's milk as a treatment for lactose malabsorption in Japan
誌名	World Journal of Clinical Cases

望月牧子助教（解剖学 顕微解剖学・形態形成学分野）	
タイトル	Replication stress increases mitochondrial metabolism and mitophagy in FANCD2 deficient fetal liver hematopoietic stem cells
誌名	Frontiers in Oncology
令和5(2023)年度	
大木里花子助教（移植管理科）	
タイトル	Pregnancy Complications and Impact on Kidney Allograft After Kidney Transplantation in IgA Nephropathy
誌名	Transplant International
佐藤えみり助教（耳鼻咽喉科学）	
タイトル	Higher Prevalence and Severity of Eosinophilic Otitis Media in Patients with Asthma-COPD Overlap Compared with Asthma Alone
誌名	International Archives of Allergy and Immunology
尾身葉子講師（内分泌外科学）	
タイトル	Risk factors for mediastinal lymph node metastasis and lung metastasis in papillary thyroid carcinoma patients: who benefits from preoperative computed tomography?
誌名	Endocrine Journal
蒋池かおり助教（解剖学 神経分子形態学）	
タイトル	Effects of different alkylating agents on photoreceptor degeneration and proliferative response of Müller glia.
誌名	Scientific Reports

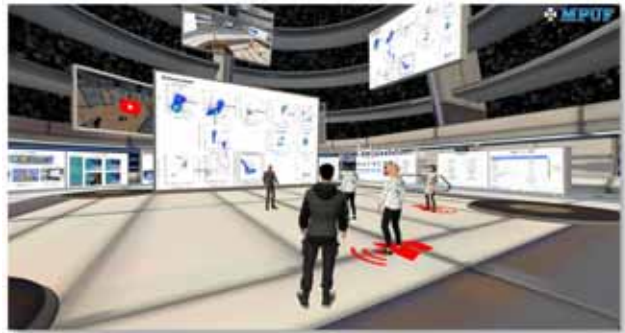
◆国際共同研究用デジタルプラットフォームの構築

海外の複数の大学との共同研究を活性化することを目的として研究用デジタルプラットフォームを構築し、これを活用した国際研究講演会・交流会の企画を進めています。

実施時期	利用者	所属	実施内容
令和4(2022)年 2月11日	長坂安子 教授・基幹分野長	麻酔科学	ハーバード大学との国際共同研究のキックオフミーティング
令和5(2023)年 1月21日	岡本祐子 講師	膠原病リウマチ内科学	コロラド大学との国際会議



ハーバード大学とのキックオフミーティングの様子  
令和4(2022)年2月11日



コロラド大学との国際会議の様子  
令和5(2023)年1月21日

◆アバターロボットを使用するためのデジタル環境の構築

学外（海外を含む）と学内の研究者間で臨場感のある研究交流の実施を目指し、アバターロボットを安定して使用可能なデジタル環境を構築するための準備を行っています。

実施時期	利用者	所属	実施内容
令和4(2022)年 1月27日	石津綾子 教授・基幹分野長	解剖学 顕微解剖学・形態形成学	シンガポール国立大学から本学研究室ならびに大学史料室の視察
令和4(2022)年 6月3日	山口淳一 教授・基幹分野長	循環器内科学	タイ病院（Bangkok Christian Hospital）とカテーテル室との交流
令和4(2022)年 6月9日	村垣善浩 教授	先端生命医科学研究所	国際コンピュータ支援放射線医学・外科学会議（CARS2022）における国際交流
令和5(2023)年 1月12日	青木雅子 教授	看護学部 小児看護学	看護学部研究発表への遠隔参加および指導



シンガポール国立大学による視察の様子  
令和4(2022)年1月27日



国際コンピュータ支援放射線医学・外科学会議での様子  
令和4(2022)年6月9日

#### ◆国際的に活躍する研究者等による「国際研究講演会・交流会」開催支援

「国際共同研究がしたいけど渡航できない」と諦めている女性医師等研究者に向けて、国際的研究交流や国際共同研究のきっかけづくりとして、また国内・海外で国際的に活躍する女性研究者等とのネットワークを構築し、新たな国際的研究交流の増加、国際共同研究の活性化を推し進めることを目的として、国際的に活躍される研究者を演者として招聘した講演会や交流会の開催に対し、開催支援（謝金支援）を実施しています。令和4(2022)年度は石津綾子教授・基幹分野長（解剖学 顕微解剖学・形態形成学分野）主催によるテキサス大学吉本桃子先生のご講演、令和5(2023)年度は長坂安子教授・基幹分野長（麻酔科学）主催によるハーバード大学前田歩先生のご講演を支援しました。



テキサス大学 吉本桃子先生ご講演の様子  
令和4(2022)年9月8日



ハーバード大学 前田歩先生ご講演の様子  
令和4(2022)年9月8日

#### ◆メーリングリストによる研究希望者への情報発信ならびにコミュニケーションツールによる研究者同士の意見交換の場の活性化

研究希望者への情報発信ツールとして、「YAYOI プロジェクト情報発信メーリングリスト」を発足し、学内研究者からの登録を受け付けています。YAYOI プロジェクト主催セミナーや各種支援制度の案内の他、研究者に有用な外部セミナーや研究助成金情報等を配信しています。

また女性研究者の育成、研究力向上、共同研究の促進・活性化を目的とした研究者同士の「開かれた情報交換の場」として、Slackによる「YAYOI コミュニティ」を開設、現在約100名の研究者が登録し、科を越えた交流の場となっています。



## 保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築

文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)の事業においては、本学卒の女性研究者が、令和2(2020)年度の研究支援員制度を活用し AI 研究を開始するなど、学内では医療 AI 研究の機運が高まっています。AI 研究への若手女性研究者参画をこれまで以上に促進するため、本事業では学内外の研究者に AI 活用の基本を学修する機会や実際の AI 開発の現状を習得する機会を豊富に提供し、女性研究者の学内外における AI 研修、講習会参加を支援します。また医療 AI 研究に特化した学内研究施設であるメディカル AI センターにおいて、新たに AI 研究インターンシップ制度を構築し、学内外の様々な保健医療分野で活躍する女性研究者が AI 研究を開始できるようスタートアップ支援を行います。

### ◆「AI 研究スタートアップ支援制度」の実施

AI 研究を開始する女性研究者を『AI 研究スタートアップ支援金』により支援し、保健医療分野における AI 研究を増加・促進します。

#### 【令和3(2021)年度採択者】

##### ・岩下華子准講師 (国際環境・熱帯医学)

-研究課題名「ノーコードディープラーニングを活用したケニアにおける住民参加型マラリア媒介蚊対策」



##### ・熊坂綾乃看護師 (看護部)

-研究課題名「Artificial intelligence(AI)を用いたストーリーマネージメント支援ツールの開発」



##### ・河合萌子助教 (眼科学)

-研究課題名「機械学習を利用したデータクラスタリング」



【令和4(2022)年度採択者】

・稲野辺奈緒子講師（看護学部）

-研究課題名「看護師の観察力向上のためのAIを活用した訓練プログラムの開発」



・中尾梨沙子助教（循環器内科学・予防医学科）

-研究課題名「深層学習による仮想心筋PETとSPECT補正診断技術」



・富永絢子助教（整形外科学）

-研究課題名「AIを活用した単純X線検査での骨粗鬆症スクリーニング検査の確立」



・河合萌子助教（眼科学）

-研究課題名「画像間距離測定による地図状萎縮進行の評価」



【令和 5(2023)年度採択者】

・ 太木里花子助教（移植管理科）

-研究課題名「腎移植生体ドナーの術後腎機能予測因子の検討」



・ 中尾梨沙子助教（循環器内科学）

-研究課題名「深層学習による仮想心筋 PET と SPECT 補正診断技術」



・ 飯塚幸恵准教授（看護学部）

-研究課題名「分娩経過の予測診断 AI システムの開発に向けたパイロットスタディ：助産師の診断能力と生産性の向上を目指して」



◆「AI 研究指導者」による「AI インターンシップ制度」の構築

「AI 研究」を促進するため、研究支援採択者が指導者として登録され、後進育成の役割を担い、本学「メディカル AI センター（以下、MAC）推進会議」にて、AI 研究指導者を含む AI 研究者による研究紹介・勉強会を実施しています。また、新たな AI 研究開始を希望する女性研究者が AI 医療研究実践に必要な基本知識を効率良く学べる AI インターンシップ制度を構築しました。本学の MAC ではすでに定期的に MAC 主催 AI 講習会、AI 演習会を開催することで AI 教育を実施しており、更に本事業主催による AI 講習会、AI 演習会を開催し、多くの女性研究者が参加しました。

	年度	日付	タイトル
1	令和 3(2021)年度	令和 4(2022)年 2 月 7 日	第 1 回医療・ヘルスケア AI 講演会
2		令和 4(2022)年 2 月 14 日	アノテーション演習会
3	令和 4(2022)年度	毎月 1 回（8 月を除く）	AI・臨床統計無料相談会
4		令和 4(2022)年 12 月 21 日	画像データ演習会
5		令和 5(2023)年 2 月 13 日	第 2 回 医療・ヘルスケア AI 講演会
6		令和 5(2023)年 2 月 20 日	表形式データの機械学習演習会
7	令和 5(2023)年度	毎月 1 回（8 月を除く）	AI・臨床統計無料相談会
8		令和 5(2023)年 7 月 27 日	ChatGPT(Bing Chat)演習会
9		令和 5(2023)年 11 月 22 日	第 3 回 医療・ヘルスケア AI 講演会
10		令和 6(2024)年 2 月 20 日	ランダム過程と確率を深く理解する実習

◆研究支援採択者による成果報告動画の配信

令和 3(2021)年度ならびに令和 4(2022)年度本支援採択者による研究成果報告動画を YouTube の東京女子医大公式チャンネルにて公開しています。

URL : <https://www.youtube.com/@TokyoWomensMedicalUniversity>

◆「AI 講習会、研修会 参加費補助制度」の実施

AI 研究へ参画を希望する女性研究者が、学内外の AI 講習会や研修会等に参加する場合の参加費用を補助する制度を設立しました。女性研究者が自らの希望するテーマで AI 研究を開始するための基本知識習得機会を増やすことを目的としています。令和 3(2021)～令和 5(2023)年度は 9 名（10 件）に対し支援を行いました。

◆メーリングリストによる研究希望者への情報発信ならびにコミュニケーションツールによる研究者同士の意見交換の場の活性化

研究希望者への情報発信ツールとして、「YAYOI プロジェクト情報発信メーリングリスト」を発足し、学内研究者からの登録を受け付けています。YAYOI プロジェクト主催セミナーや各種支援制度の案内の他、研究者に有用な外部セミナーや研究助成金情報等を配信しています。

また女性研究者の育成、研究力向上、共同研究の促進・活性化を目的とした研究者同士の「開かれた情報交換の場」として、Slack による「YAYOI コミュニティ」を開設、現在約 100 名の研究者が登録し、科を越えた交流の場となっています。

## 科研費申請支援

### ◆科研費採択率向上のための申請書レビューの実施

競争的研究費申請支援事業の一環として、科研費申請書の無料申請書レビューを実施しました。令和4(2022)年度は40名(レビュー委託先:ロバスト・ジャパン株式会社)、令和5(2023)年度は17名(レビュー委託先:一般社団法人全国大学研究支援機構)を支援いたしました。

実際の科研費申請を用いて、論理構成に関するコメント、文章表現、必要事項の記載チェック、費用算定のレビュー、書式調整についてのアドバイスを行い、さらに本学URAによる調書改善支援を併用することで科研費申請までをサポートしました。

支援を受けた研究者からは「自分では気づかないことを指摘していただき、とても参考になった」、「レビュー、調書改善支援の両方を受けて、申請書の作成を順を追って進めることができた」との感想が寄せられました。

### ◆科研費セミナーの開催

競争的研究費申請支援事業の一環として、科研費セミナーを開催しました。

#### ・第1回 科研費セミナー「研究支援からみた研究における科研費とは」

日時:令和5(2023)年2月24日(金)17:00-18:30

方法:オンライン

演者:阿部知子先生〔信州大学学術研究・産学官連携推進機構リサーチアドミニストレーション室准教授(URA)〕



座談会登壇者:阿部知子先生

番場嘉子先生〔下部消化管外科学 講師〕

中山寿子先生〔生理学(神経生理学分野) 講師〕

山内典子氏〔八千代医療センター看護部 看護師〕

佐々木孝寛氏〔研究推進センター助教(TRC室URA)〕

#### ・第2回 科研費セミナー「研究の新たな展開へ向けて～研究成果の活用～」

日時:令和5(2023)年6月30日(金)17:30-19:00

方法:オンライン

演者:阿部知子先生〔信州大学学術研究・産学官連携推進機構リサーチアドミニストレーション室准教授(URA)〕





・第3回 科研費セミナー「科研費から産学連携を含めた研究の大型化を目指すには」

日時：令和5(2023)年12月8日(金) 17:30-19:00

方法：オンライン

演者：阿部知子先生〔信州大学学術研究・産学官連携  
推進機構リサーチアドミニストレーション室  
准教授 (URA)〕



座談会登壇者：阿部知子先生

清水達也先生〔先端生命医科学研究所長・教授〕

番場嘉子先生〔下部消化管外科学 講師〕

青木雅子先生〔看護学部小児看護学 教授〕

佐々木孝寛氏〔研究推進センター助教 (TRC 室 URA)〕

◆科研費申請ハンドブックの作成

科研費の申請数ならびに採択率向上を目指し、本学研究推進センター所属 URA が科研費申請ハンドブックを作成し、学内女性研究者に配布しました。科研費申請に関する内容の他、本学を代表する女性研究者の研究を紹介しています。



● 研究力向上とリーダー育成の取組 リーフレット

◆ 令和 5(2023) 年度研究支援

**Our attention to our own innovation!**  
**令和5年度 研究支援 公募**

「案件研究」「国際共同研究」「AI研究」に携わっている、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援します。

**募集締切**  
**令和5年 5月31日(水)**

**支援額**  
 一人当たりの上限金額  
 案件研究:145万円 国際共同研究:100万円  
 AI研究スタートアップ:100万円

**募集対象**  
 専攻人  
 若手  
 専攻会員  
 専攻会員以外  
 専攻会員以外

**研究支援金交付後～令和6年3月31日**

お問い合わせ先  
**女性医療人キャリア形成センター**  
 ダイバーシティ環境整備事業推進室  
 TEL: 03-5353-8112(内線 30166)  
 https://www.tenri.ac.jp/university/cdo/gender/

◆ 令和 5(2023) 年度補助制度

**YAYOIプロジェクト**  
**令和5年度補助制度 対象者募集!**

令和5年度受付締切 **令和6年2月2日(金)**  
 (後援期間)

**AI講習会・研究会参加費補助**  
 専攻会主催のAI講習会・研究会参加費を補助します。  
 ●対象となる講習会、研究会(オンライン可)  
 ① 産学連携型AI講習会、研究会  
 ② AIの基礎知識、アプケーションに関する講習会、研究会  
 ③ AIに関する最新技術のAI講習会、研究会  
 ④ 産学連携型AI講習会・研究会(オンライン可)

**英語論文掲載料補助**  
 国際共同研究の成果として国際学術雑誌に掲載された英文論文掲載料(印刷、掲載、翻訳、査読、編集、制作、オフラインアクセス等)を補助します。  
 ●対象となる論文  
 ① Web of Scienceに掲載されている国際学術雑誌掲載論文  
 ② 海外学術雑誌に掲載する論文(査読型)が対象となります  
 ③ 令和5年1月1日～令和6年12月31日までに掲載された論文のみ

**国際学会参加費等補助**  
 国際共同研究の成果として国際学術大会に参加し、発表論文の作成費(印刷、掲載、翻訳、査読、編集、制作、オフラインアクセス等)を補助します。  
 ●対象となる国際学会参加費等  
 ① 国際学術大会参加費(発表費)が対象となります  
 ② 国際学術大会参加費(発表費)が対象となります

◆ 「国際研究講演会・交流会」開催支援

**YAYOIプロジェクト**  
**国際研究講演会・交流会 開催支援**

国際的に活躍する先生を 教室MTGで講演に お招きしませんか?

国際的に活躍している研究者等をお招きする講演会・交流会でのゲスト演者への招きを補助します。

国内で国際的に活躍する女性研究者等のネットワーク構築、講演会・交流会を通じた、能力及国際研究交流の増加、国際共同研究の活性化を支援します。

**支援対象**  
 国際的に活躍する国際学者(海外の)なら海外共同研究者のために海外に講演に来場できる方(国際共同研究)

**支援フロー**  
 1. 依頼・申し込み  
 2. 講演会・交流会の開催  
 3. 講演料の支払い  
 4. 講演会の開催

お問い合わせ先  
**女性医療人キャリア形成センター**  
 ダイバーシティ環境整備事業推進室  
 TEL: 03-5353-8112(内線 30166)  
 https://www.tenri.ac.jp/university/cdo/gender/

◆ 国際共同研究・留学個別相談会

**YAYOIプロジェクト**  
**国際共同研究・留学 個別相談会**

国際共同研究者に直接相談できる!

「国際共同研究に興味がある!」  
 「海外で研究したい!」  
 「留学のアドバイスが欲しい!」

下記いずれかの先生に個別相談ができます

- 石津 健子 教授 (神経研究、基礎医学研究、生命科学)
- 中山 孝子 講師 (神経生理学)
- 岡本 祐子 講師 (リウマチ学、免疫学)
- 近 幸世 助教 (社会医学、健康行動学)、助産学
- 望月 敦子 助教 (免疫・造血分析)

**対象者** 専攻に在籍する専攻会員研究者 (大学院生も未参加)

**実施フロー**  
 ① 本誌QRコードより、申込みフォームをご提出  
 ② アドバイザーの先生と調整の上、個別相談の日時を決定  
 ③ 個別相談会実施

お問い合わせ先  
**女性医療人キャリア形成センター**  
 ダイバーシティ環境整備事業推進室  
 TEL: 03-5353-8112(内線 30166)  
 https://www.tenri.ac.jp/university/cdo/gender/

◆ AI・臨床統計無料相談会

文部科学省科学研究費助成事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（後期）」  
Your Attention to Your Own Innovation

グローバルヘルスリーダー育成と異なる女性専用  
「FRCO プロジェクト」  
Your Attention to Your Own Innovation

女性医療人キャリア形成センター主催

## 令和5年度 AI・臨床統計 無料相談会

- ・お手持ちのデータのAI活用方法がわからない
- ・臨床データの蓄積があるが、適切な統計手法がわからない

そんな方のために、無料相談会を実施します。

相談  
無料



**事前予約制**

事前にメールにてご連絡いただき、日程調整の上、ご参加いただきます。  
※先着順となります。



**専門家による個別相談**

相談内容に合わせて、AIもしくは臨床統計の専門家が初期内容に対応させていただきます。



**ZOOMオンライン開催**

Zoomによるオンライン開催のため、出席していただく必要はございません。

**開催日時**

下記日程の16時から19時まで（お時間はご相談に応じます）

2023年 4月21日（金）	2024年 1月19日（金）
5月19日（金）	2月16日（金）
6月16日（金）	3月22日（金）
7月21日（金）	
9月22日（金）	
10月20日（金）	
11月17日（金）	
12月15日（金）	

AI・臨床統計無料相談会のお申込み  
・株式会社スタージェン（担当：藤原）  
※お問合せはメールでご連絡ください。  
・メールアドレス：asc@stagen.co.jp

◆ ChatGpt 演習会

文部科学省科学研究費助成事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（後期）」  
Your Attention to Your Own Innovation

グローバルヘルスリーダー育成と異なる女性専用  
「FRCO プロジェクト」  
Your Attention to Your Own Innovation

女性医療人キャリア形成センター主催

## 話題のChatGptの利用のコツをお教えします！ 第1回 ChatGPT (Bing Chat) 演習会

主催：東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター

「ChatGPTとは、OpenAI社が開発しているインターネット上の膨大な情報を学習して、質問に対して、人間が会話するように回答を返す大規模言語モデル(LLM: Large Language Model)の事です。今後はマイクロソフトのBingの検索機能に組み込まれ、GoogleもBardを検索機能拡張と位置付けおり、かつて表計算ソフトやワープロを学習したように、LLMの機能、使い方を理解して有効に使用していく事は、これからの重要なスキルとなっていきます。」

**内容**

今回の演習は、Bing Chat(ChatGPT)を使用してLLMの具体的な使用方法を学習していきます。OpenAIは、LLMを使用してタスクを行うためのサンプルコードやガイドを示した「OpenAI Cookbook」を公開しています。OpenAI Cookbookの内容を参考に、質問のみを入力とするZero-shot learningや、少額の学習でほしいタスクのデモンストレーションを質問と一緒に入力とするFew-shot learning等、適切な出力を引き出すための方法を講義と実習で学習します。




**日時** 令和5年7月27日(木) 17:00-18:00

**会場** 彌生記念教育棟1階 104会議室

**定員** 5名 参加費無料

**対象** 本学所属の女性研究者  
(医師・看護師・その他non-MD、院生も広く含める)

**講師** 田中順二(タナカジュンジ)  
株式会社スタージェン AI事業部所属

参加申込み  
お問い合わせ

裏面に記載の内容に準じてお申込み、お問い合わせください  
当日の持ち物等についても、裏面をご確認ください

◆ 医療・ヘルスケア AI 講演会

文部科学省科学研究費助成事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（後期）」  
Your Attention to Your Own Innovation

グローバルヘルスリーダー育成と異なる女性専用  
「FRCO プロジェクト」  
Your Attention to Your Own Innovation

女性医療人キャリア形成センター主催

## 医療現場へのAI活用が分かる！ 第3回 医療・ヘルスケアAI講演会

東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター主催

**日時** 11月22日(水) 17:30~18:40

**会場** Webセミナー形式で開催

参加費無料

**こんな方にオススメ！**

- 医師等の医術・病院関係者
- 製薬、医療機器、臨床検査、健康美容等の医療・ヘルスケア関連企業
- その他医療分野におけるAIの活用に興味を持つ方、メディアなど

**講演内容**

① 「Time To Democratize Programming of AI-女性医師のキャリア形成の一助として」  
- 内容：2020年度より小学校でもProgrammingが必修化され、機械に知的作業をさせるProgramであるAIが身近なものになりつつあります。私たちはAIのDeveloperとUserに分けられますが、医師であってもDeveloperとなることで研究や臨床の効率化が図られ、キャリア形成の一助となります。ChatGPTによってProgrammingが高度的に容易となった今こそ、誰もがAIを活用すべき時です。  
- 講師：前藤 和広(いわひろ) 先生

② 対談「臨床におけるAI活用の可能性」  
- 講師：岩藤 和広先生、番場 嘉子(かよこ) 先生



岩藤 和広 先生



番場 嘉子 先生

**参加申込み  
お問い合わせ** 裏面に記載の内容に準じてお申込み、お問い合わせください

◆ ランダム過程と確率を深く理解する実習

文部科学省科学研究費助成事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（後期）」  
Your Attention to Your Own Innovation

グローバルヘルスリーダー育成と異なる女性専用  
「FRCO プロジェクト」  
Your Attention to Your Own Innovation

女性医療人キャリア形成センター主催

## 第2回 ランダム過程と確率を深く理解する実習 IT、DX、AIの基礎の基礎

主催：東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター

わが国は多様性を生み出す「ランダム過程」の教育が手薄なため、多様性を対象とする科学である統計学、情報学、人工知能、データサイエンスに弱く、それが科学と産業の競争力低下を招いています。IT、DX、AIの遅れにも関係しています。これを克服するには上記分野の手法や応用例を知るだけでは不十分で、すべての基礎となる「ランダム過程」と、その結果を解釈するための「確率」の概念を深く、しかも、実感と納得を持って理解する必要があります。日本語にはこれらの概念が乏しいため、英語を併記して理解する必要があります。



株式会社スタージェン 会長  
**鎌谷 直之** 先生

今回の演習では、コインを用いた実験と統計解析ソフトの活用、並には講師の説明を通じて、ランダム過程と確率の概念を理解するための実習を行います。参加費は、ご自身の Windows PCを持参いただくだけで、統計解析ソフトもを準備したPDFを配布しますので、別途設定は不要です。また、そのコードは極めて広く簡単なものを使用するので、講師の指示に従って、その裏面に短い文字列を打ち込み、その結果を見て実感と納得を深めたいです。講義と実習を通じて、日本語だけでは理解しにくいランダム過程と確率を理解できるようになります。

**日時** 令和6年2月20日(火) 17:00-18:00

**会場** 彌生記念教育棟1階 104会議室

**定員** 5名 参加費無料

**対象** 本学所属の女性研究者 Windows pc限定  
(医師・看護師・その他non-MD、院生も広く含める)

**講師** 株式会社スタージェン 会長 鎌谷直之

参加申込み  
お問い合わせ

裏面に記載の内容に準じてお申込み、お問い合わせください  
当日の持ち物等についても、裏面をご確認ください



◆ 第1回科研費セミナー

多岐大は文部科学省科学研究費助成事業推進官  
YAYOIプロジェクト推進部長に任命されたことにより実施します  
Your Attention to Your Own Innovation!

## 第1回 科研費セミナー

2月24日(金) 17:00~18:30

・Zoomによるオンライン開催  
・本学教職員とみなでもご参加いただけます  
・大学院生、卒業生の方にもぜひ！ 足立、八千代からのご参加も大歓迎！

### 第1部:講演会

「研究支援からみた研究における科研費とは」

講師:阿部知子先生  
(佐賀大学 学術研究 医学研究推進機構 リサーチアドミニストレーション室 准教授)

1. 研究における科研費
2. 応用研究を軸とした考える産学連携
3. 産学連携のポイント
4. 産学連携の意義と申請のポイント

こんな方、是非ご参加ください！

### 第2部:座談会

登壇者:阿部知子先生  
高橋富子先生 (消化器一般外科 講師)  
中山由子先生 (産科(母体生理学分野)講師)  
山内麻子氏 (八千代医療センター産科部 看護員)  
佐々木幸恵氏 (研究推進センター TRC室 URA)

主軸トピック  
○ 産学連携を目指す際の姿勢とツール  
○ 共同研究者の探し方  
○ researchmapの活用方法  
○ 次の科研費獲得のためのアフターチ

お申し込み・お問い合わせ

女性医療人キャリア形成センター  
ダイバーシティ環境整備事業推進室  
TEL:3353-8112 FAX:30166 MAIL:ccs\_fm@betsu.ac.jp  
https://www.betsu.ac.jp/university/col/academ/

◆QRコードよりお申し込みください

◆ 第2回科研費セミナー

多岐大は文部科学省科学研究費助成事業推進官  
YAYOIプロジェクト推進部長に任命されたことにより実施します  
Your Attention to Your Own Innovation!

## 第2回 科研費セミナー

研究の新たな展開へ向けて～研究成果の活用～

6月30日(金) 17:30~19:00

・Zoomによるオンライン開催  
・本学教職員とみなでもご参加いただけます

今年度から科研費の研究活動をする方、すでに研究活動を始めている方、研究活動に一区切りがついた方、すべての方に対して、研究成果をどのように活用すべきか、実例を用いてご紹介します。

こんな方、是非ご参加ください！

産学連携を軸とした産学連携の意義と申請のポイント  
共同研究者の探し方  
researchmapの活用方法  
次の科研費獲得のためのアフターチ

主軸トピック  
○ 産学連携を目指す際の姿勢とツール  
○ 共同研究者の探し方  
○ researchmapの活用方法  
○ 次の科研費獲得のためのアフターチ

お申し込み・お問い合わせ

女性医療人キャリア形成センター  
ダイバーシティ環境整備事業推進室  
TEL:3353-8112 FAX:30166 MAIL:ccs\_fm@betsu.ac.jp  
https://www.betsu.ac.jp/university/col/academ/

◆QRコードよりお申し込みください

◆ 第3回科研費セミナー

多岐大は文部科学省科学研究費助成事業推進官  
YAYOIプロジェクト推進部長に任命されたことにより実施します  
YAYOI プロジェクト

## 第3回 科研費セミナー

12月8日(金) 17:30~19:00 オンライン開催

本学教職員とみなでもご参加いただけます 参加費無料

### 第1部:講演会

「科研費から産学連携を含めた研究の大型化を目指すには」

講師:阿部 知子先生 (佐賀大学 学術研究 医学研究推進機構 リサーチアドミニストレーション室 准教授(URA))

- ・基礎研究、臨床研究を科研費へつなげるには
- ・研究の大型化に必要な要素
- ・研究体制に企業が加わる産学連携とは
- ・学内外と円滑な共同研究を進めるためのポイント

こんな方、是非ご参加ください！

### 第2部:座談会

登壇者:阿部 知子先生  
清水 達也先生 (先端生命医科学研究科長-教授)  
高橋 富子先生 (消化器一般外科 講師)  
青木 穂子先生 (看護学部 小児看護学 教授)  
佐々木 幸恵氏 (研究推進センター 助教(TRC室 URA))

自分の研究(基礎/臨床)を科研費につなげたい！  
研究の産学連携では企業は必要か？  
初めての共同研究(企業との連携)！ 実例をぜひ紹介！  
共同研究で大型研究費を取りたい！ どのような体制がいい？

お申し込み・お問い合わせ

女性医療人キャリア形成センター  
ダイバーシティ環境整備事業推進室  
TEL:3353-8112 FAX:30166 MAIL:ccs\_fm@betsu.ac.jp  
https://www.betsu.ac.jp/university/col/academ/

◆QRコードよりお申し込みください

◆Slack「YAYOI コミュニティ」

「研究の負担を減らしてみませんか？」

Slack利用した  
東京女子医科大学 研究者のための

**YAYOI**  
YAYOI.com  
**コミュニティ**

**参加者募集**

本学所属の女性医師等研究者の育成、研究向上、共同研究の促進・活性化を目的とし、Slackを使った研究者同士の「繋がれた情報交換の場」として開設しました。

YAYOIコミュニティは「Slack」を利用しています。

**性別・職位・所属問わず本学に在籍し研究に携わる方**  
(学生・入学者・院生・博士、院外共同研究者の方、専攻職も含む)

**@twmu.ac.jpのメールアドレスをお持ちの方**

**HPより運用ルールや使い方をチェック**

**参加URLよりコミュニティへご参加ください**

コミュニティへのご案内・詳細はQRコードもしくは、  
URL: <http://www.twmu.ac.jp/pender/news/detail?id=33121> より

東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター  
MAIL: [cdc.bm@twmu.ac.jp](mailto:cdc.bm@twmu.ac.jp) TEL: 03-3353-8112 (内線30166)



◆「YAYOI プロジェクト」メーリングリスト

Your Attention to Your Own Innovation !

**女性研究者向け**  
**『YAYOIプロジェクト』情報発信**  
**メーリングリスト登録のご案内**

本学は、令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に採択され、グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用「YAYOIプロジェクト」を発足しました。  
この度「YAYOIプロジェクト」で行う研究支援やセミナーなど様々な情報をご案内するメーリングリストの運用を開始いたしましたので、是非ご登録ください。(登録無料)

**配信内容** 架け橋研究  
国際共同研究  
AI研究  
オープン/ノベーション講演会・交流会  
各種補助制度 など

**対象者** 東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者  
(医師以外の研究者、看護職、技師職、大学院生などを含む)

**登録方法** 下記QRコードもしくはURLよりご登録ください  
<https://forms.gle/pM6geadLLCwHxDSU8>

【登録メールアドレスについて】  
私用メールアドレスではなく、  
twmuメールアドレスでのご登録をお願いします



**女性医療人キャリア形成センター**  
**ダイバーシティ環境整備事業推進室**

TEL: 03-3353-8112 (内線30166) MAIL: [cdc.bm@twmu.ac.jp](mailto:cdc.bm@twmu.ac.jp)

文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」



## 事業報告③ ダイバーシティ研究環境整備

### 本学の研究環境整備状況

平成 28(2016)年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）における様々な取組により育児支援を含む種々の研究環境整備を推進してきました。特に「女子医大・東京医大ファミリーサポート」による信頼度の高いきめ細やかな子育て支援は、全国に大きな社会的波及効果をもたらしています。

本事業では、更なる育児支援として学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備と、「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を委託している特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロと連携した介護見守り支援サービス“ちょこっと介護見守り支援”の新設を進めます。また同じく特色型事業で構築した研究支援員制度の利用対象者範囲をこれまでの女性だけでなく男性にも拡大し、更なる研究環境整備を図ります。

### 学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備

若手研究者の良い発表機会である学会の地方会や研究会などは土日祝日に実施されることが多く、比較的規模の小さい学術集会では託児サービスが用意されていないことも多々あります。また、国際学会や在宅オンラインで参加可能な学会では託児サービスの利用が難しく、参加の障壁となっています。そこで本事業では、託児サービスのない学会（地方会・研究会）、研修会、国際学会など（オンライン含む）に参加する際の託児費用の補助、更に本学施設内の院内保育所における土日祝日を含めた一時預かり保育制度の整備を進めています。

#### ◆「学会参加時等の託児費補助制度」の実施

国内・国際学会、地方会・研究会、研修会など（オンラインを含む）に参加する育児中の女性研究者が、託児サービス（ベビーシッター、一時預かり保育、ファミリーサポート、開催学会等の託児サービスなど）を利用する際、その費用を一部または全額補助する制度を設立しました。令和 3(2021)年度は 1 名（1 件）、令和 4(2022)年度は 5 名（10 件）、令和 5(2023)年度は 1 名（6 件）に支援を行いました。

#### ◆院内保育所（学校法人東京女子医科大学付属病院院内保育所）におけるモニタリング調査の実施

保育園利用者の利便性と保育の安全性の向上のために院内保育所の ICT 環境整備を進めています。タブレット端末と専用ソフトを用いて、保育園の登降園時間管理や保育日誌等をデジタル化することで、利便性や事務作業効率を上げ、安全な保育を提供します。

また、保育満足度とニーズ把握のための利用者アンケート調査を令和 4(2022)年 2 月より開始しました。定期的にこのアンケート調査を行い、状況に応じた保育の提供を検討しています。

## 実践的介護支援体制の構築

特色型では本学教職員がキャリアと介護を両立し活躍することができる環境整備を目指し、キャリアと介護の両立ハンドブック配布、介護相談窓口設置等に取り組んできましたが、令和3(2021)年度に本学全教職員を対象に実施した「介護に関するアンケート調査」の回答からは介護に対する不安を訴える声が非常に多く、同時に仕事と介護の両立を望む声が大多数である、といった現状が明らかになりました。また一方で「本学の介護支援制度を全く知らない」との回答も多数ありました。

本事業では新たな施策と共に介護支援制度を周知することで、介護支援制度利用者比率をこれまでの約0.3%から0.6%へ、さらにそれ以上に引き上げ、女性研究者が安心して研究に専念できる環境を整備していきます。

### ◆介護見守り支援サービス“ちょこっと介護見守り支援”の開始

「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を委託している特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロのファミリーサポートのノウハウを活用した、新たな介護見守り支援サービス“ちょこっと介護見守り支援”を令和4(2022)年4月より新設しました。

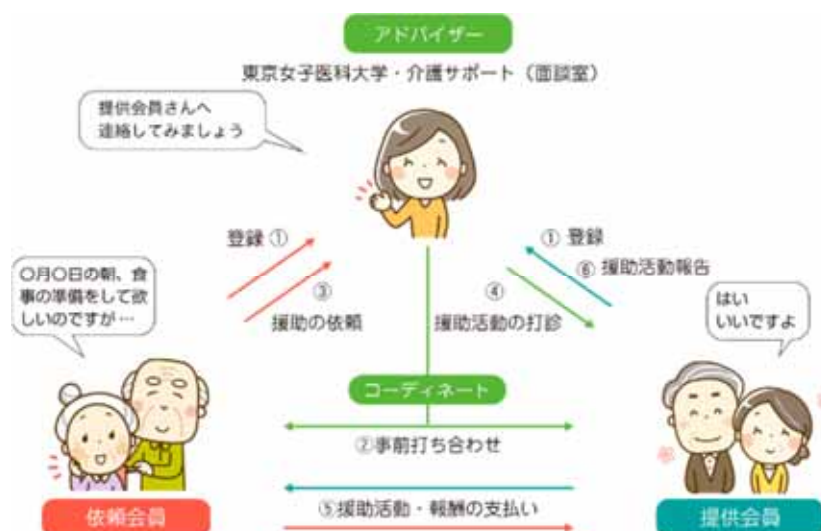
この「ちょこっと介護見守り支援」は、国や自治体といった行政による介護支援とは異なり、まだ本格的な介護は必要としないけれど、独りにしておくのはご家族から見ると不安がある、という「ちょっとした見守り」を必要とされる女子医大教職員のご家族を対象に、例えばお食事の見守りや外出時の付き添い、話し相手などの「ちょこっと」した見守り支援を実施しています。

令和3(2021)年度から現在まで3回の提供会員講習会を開催し、15名の提供会員が誕生しました。また提供会員向けにスキルアップ研修会や茶話会を開催し、支援時の注意事項や情報共有を行っています。

### 【提供会員講習会の様子】



【東京女子医科大学・介護サポートのしくみ】



活動日	活動時間帯		時給
月曜日から金曜日	基本時間	9:00～17:00	1,000 円
	基本時間外	7:00～9:00 17:00～19:00	1,100 円
土・日・祝日	基本時間	9:00～17:00	1,100 円
	基本時間外	7:00～9:00 17:00～19:00	1,200 円

- ・提供会員が自宅を出てから帰宅するまでの時間（活動時間）が報酬額に加算されます。
- ・活動は午前7：00 から午後7：00 までです。
- ・最初の1時間を過ぎ延長した場合は延長料金を30分単位で算出します。
- ・必要な場合、交通費の実費をいただきます。
- ・年末年始はお休みとさせていただきます。（12月29日～1月4日）

《登録希望・お問い合わせ》  
 東京女子医科大学・介護サポート  
 TEL：03-5312-5206（直通）

#### ◆介護なんでも相談窓口開設

本事業の一環として、本学教職員を対象とした「介護なんでも相談窓口」(Google フォーム)を開設しました。実際の介護の困りなどはもちろん、具体的ではないけどちょっと聞いてみたいということまで「なんでも」相談可能です。女性医療人キャリア形成センターが窓口となり、本学常駐のアドバイザーと一緒にどのようにお力になれるか検討し、必要に応じて関連部署とも連携して対応しています。

#### ◆介護支援ハンドブックの作成

令和3(2021)年12月に本学教職員対象として「介護支援」に係る調査を実施した結果、多くの方から「仕事を続けながら適切な支援を受け、仕事と介護を両立したい」との回答が得られました。しかし同時に「介護に関する不安」を訴える声も非常に多く聞かれました。キャリアと介護を両立していくためには、介護に直面した際の初動対応と、上手に社会制度を活用するための基礎知識が大切です。介護によってキャリアを諦めることのないよう、介護支援ハンドブック「介護ロードの歩き方」を作成し、令和4(2022)年3月に本学全教職員に配布しました。



#### ◆介護支援に取り組む施設への視察

介護支援に取り組む施設への視察として、大阪公立大学と富山大学へのオンライン視察を行いました。大阪公立大学は、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)に採択(平成29年度～令和4年度)され、連携機関共同による「介護相談窓口」を開設しているとのことで、介護に関する取組や情報発信の手法、具体的な相談内容等についてお話を伺いました。また富山大学では、単身赴任者が多く遠距離の介護相談が多い為、地域包括と学内相談者の仲介を行い、地域包括支援センターのネットワークを使うことで相談対応が可能になっているとの貴重なお話を伺えました。



## ◆介護講演会の開催

介護を身近に感じる機会を提供する為、介護経験者による介護講演会を開催しています。

### ・第一回 介護講演会

日時：令和5(2023)年2月9日(木) 17:00-18:30

方法：オンライン

演者：恩蔵絢子先生〔脳科学者、金城学院大/早稲田大  
/日本女子大 非常勤講師〕

座談会登壇者：恩蔵絢子先生

松村美由起先生〔成人医学センター 講師〕

山内典子氏〔八千代医療センター看護部 看護師〕

下村裕見子氏〔女性医療人キャリア形成センター 課長付〕



### ・第二回 介護講演会

日時：令和5(2023)年7月21日(金) 17:00-18:30

方法：オンライン

演者：井木みな恵氏〔株式会社ベネッセシニアサポート  
法人事業部長〕

座談会登壇者：井木みな恵氏

渡部栄子氏〔介護サポートアドバイザー〕

村本ゆう子氏〔医療福祉相談室課長補佐、とソーシャルワーカー〕



### ・第三回 介護講演会

日時：令和5(2023)年11月6日(月) 17:00-18:30

方法：オンライン

演者：加藤忠相氏〔株式会社あおいけあ代表取締役社長〕

座談会登壇者：加藤忠相氏

佐藤麻子先生〔臨床検査科 教授〕

藤井淳子氏〔看護部 副部長〕



## 研究支援員制度における対象者範囲の拡大

特色型では、ライフイベントにより研究活動の継続や研究時間の確保が困難となった女性研究者や、これまでに十分な実績がある将来有望な女性研究者を支援し、研究活動をより活発にするため、研究者1名に対して支援員1名分の人件費を女性医療人キャリア形成センター基金等から拠出する「研究支援員制度」を創設しました。

本事業では、女性研究者に加え、女性研究者を支える男性研究者1名の支援枠を新たに設け、2名の男性研究者を支援しました。(支援員の人件費は女性医療人キャリア形成センターより拠出)

### ◆令和4(2022)年度

- ・出雲渉助教 (上部消化管外科学)

-研究課題：①CT画像を用いた膵切除後の新規糖尿発症のリスク因子の検討  
②膵癌術後肺転移の治療成績の検討と新規治療戦略の構築

### ◆令和5(2023)年度

- ・菅野勇樹講師 (口腔顎顔面外科学)

-研究課題：力学的強度を有する歯髄幹細胞由来三次元軟骨再生法を目指した大動物前臨床試験

● ダイバーシティ研究環境整備 リーフレット

◆ 介護支援リーフレット

**本学初!**  
**介護支援事業**が始まりました!

★セルフチェック★ あなたが「はい」または「うん」使える支援は?  
 介護対策はご自身だけでなく、お手帳やご近所なども対象です。

現在介護をされていますか?  
 はい → 介護認定を受けていますか?  
 いいえ → 相対的に介護への不安はありますか?

はい → A  
 いいえ → B  
 はい → C  
 いいえ → D

**A** すでに介護保険サービスを受けているけど...さっさとしたお手伝いを待たずに頼めたら、もっと助かるのに...

**B** 何か頼める支援はあるかな? 少しでもお願いできることがあるならより働きやすくなるかも!

**C** 今は支援が不要だけど、いずれ可能性はあるから不安はあるな...。今から準備できることか必要な情報だけ知りたい!

**D** 自分に介護支援は不要だけど、支援内容を把握していれば困っている同僚や部下にアドバイスできるかも!

支援の詳細は次ページ以降でご紹介いたします!

女性医療人キャリア形成センター

**介護支援詳細**

ちよこっと介護見守り支援 (※1)

<b>アドバイザー</b>	お手帳などに記載しており、依頼会員・提供会員との調整を行ったの、利用に関するお問い合わせなどに対応しています。
<b>提供会員</b>	いわゆる「支援をする人」です。「提供会員講習会」を修了し、認定を受けた方です。
<b>依頼会員</b>	いわゆる「支援をお願いする人」です。本学教職員はどなたでも登録可能です。(※2)
<b>支援内容</b>	食事の準備や片付け、部屋の清掃や衣類の片付け、通院時や買い物時の付き添い、病院への薬の受け取り・受付予約など

※1 介護保険適用外のサポートになります。  
 ※2 提供会員が支援可能な地域での支援となります。支援活動を行う地域や内容をお問い合わせの上で支援可能が判断いたします。毎年、提供会員を育成する講習会を開催しており、支援可能地域は随時増やしてまいります。

**東京女子医科大学 介護サポート**  
 〒162-8666 新宿区河田町8-1  
 東京女子医科大学 巴女子学生会館3階  
 03-3353-8112 内線41361  
 (直通)03-5312-5206

「多すぎない」という方以外でもご相談やお問い合わせなど大歓迎です! お気軽にご連絡ください!

女子医大・介護サポート ホームページはこちら

**介護支援詳細**

**相談窓口**

本学では、介護に対する不安や、職場での介護支援に関して相談ができる窓口を設置しています。

<p><b>人事課</b>                  (03-3353-8112 内線30113)                  介護休暇・介護休業など</p> <p>本学の制度について内容や使い方が知りたい!</p>	<p>医療福祉相談室ソーシャルワーカー                  (03-3353-8112 内線20175)                  介護保険制度、社会資源など</p> <p>国や地域の介護保険制度、その他利用できる社会資源について知りたい!</p>
<p>入退院支援室 看護師                  (03-3353-8112 内線20175)                  在宅医療、介護サービス相談など</p> <p>在宅医療やそれに伴う介護サービスなどについて知りたい!</p>	<p>女性医療人キャリア形成センター「ちよこっと介護見守り支援」に関するガイドブック配布</p> <p>「ちよこっと介護見守り支援内容について知りたい!」ガイドブックがほしい!</p>

**ガイドブック**

「キャリアプランをあきらめない 介護ロードの歩き方」  
 (2023年2月発行)

**掲載内容**

- ◆ 全教職員対象に行った介護の現状やニーズに関するアンケート調査結果
- ◆ 仕事と介護の両立に必要なポイント(「介護」の割合、勤務とのバランス等)
- ◆ 介護にかかる時間や費用
- ◆ 介護への不安を感じ始めた「エントリー期間」の過ごし方や準備
- ◆ 介護の体制を踏える7つの行動
- ◆ 介護中の状況変化
- ◆ 東京女子医科大学の支援制度
- ◆ 介護への備え、管理職のための介護離職を出不さない職場づくり
- ◆ 介護保険の基礎知識 など

無料配布

**その他**

**介護講演会**

介護にまつわるテーマの講演会を、教職員のニーズも踏まえながら定期的に開催します。

例えば...

介護と深く関わりのある「認知症」、介護と勤務を両立した教職員の体験談など

開催情報は各HP(女性医療人キャリア形成センターHP、法人イントラ等)への掲載、およびメーリングリスト(下記参照)にご登録の皆様へのメール発信等でお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしております!

**「YAYOIプロジェクト」情報発信メーリングリスト**

※本学に在籍する女性医師等女性研究者対象  
 (医師以外の研究者、看護職、技師職、大学院生などを含む)

「介護講演会」だけでなく、様々な研究支援や補助制度、各種セミナー等の情報をお送りします。ご登録でHPを閲覧しなくても自動的に情報が届きますので、ぜひご登録ください(無料)。

登録はこちらからお願いします

開封できるメールアドレスは [yayoi@tcw.ac.jp](mailto:yayoi@tcw.ac.jp) のみとなります

◆問い合わせ先◆  
 女性医療人キャリア形成センター  
 〒162-8666  
 新宿区河田町8-1 総合研究棟1階  
 03-3353-8112 内線30166  
[cdc.bm@tcw.ac.jp](mailto:cdc.bm@tcw.ac.jp)

◆「ちょこっと介護見守り支援」依頼会員募集

困った時はお互い様  
そんな気持ちからスタートしたサービスです

### 「ちょこっと介護見守り支援」 介護サポート依頼会員募集中

【概要】  
東京女子医科大学・介護サポート（医務部）は、地域において「困った時はお互い様」の気持ちで高齢者のサポートをする組織です。東京女子医科大学の在校生が介護の補助を欲しい「依頼会員」と、介護の補助をしたい「提供会員」からなる、東京女子医科大学の在校生ならではの形での高齢者の相互支援活動です。

【活動内容】  
・約10分程度の時間に行なう東京女子医科大学の在校生  
・東京女子医科大学に在籍中の高校生  
・介護現場の対応を学ばない。介護保険制度では必要なサービスを受けられない方（介護保険適用外）  
・他の依頼者より優先し、優先したい依頼者

【依頼条件】  
・依頼内容が日常生活でできる範囲内（2時間以内）  
・依頼料は1時間あたり1,000円です。  
・依頼料は1時間あたり1,000円です。  
・依頼料は1時間あたり1,000円です。  
・依頼料は1時間あたり1,000円です。

【活動内容】  
・高齢者の介護や見守り  
・近所の清掃やゴミの回収  
・通所や買い物などの付き添い  
・訪問先への案内の付き添い  
・その他介護に関し、介護支援関係者のサポートになります。

【申し込み】  
東京女子医科大学・介護サポート（医務部）  
03-5112-5206（直通）

◆「ちょこっと介護見守り支援」提供会員講習会

### 令和5年度 第3回 提供会員講習会 受講者募集

【開催日時】  
2023年7月29日（土）10:00～12:00

【開催場所】  
東京女子医科大学 介護サポート（医務部）

【対象者】  
・「ちょこっと介護見守り支援」提供会員  
・「ちょこっと介護見守り支援」依頼会員

【受講料】  
無料

日	時間	内容	講師	会場
7月29日（土） 10:00～12:00	10:00～10:30	オリエンテーション	介護サポートアドバイザー	医務部 （医務部2階）
	10:30～12:00	福祉の基礎とサービス	社会福祉士 橋本 尚子 社会福祉士 橋本 尚子	
	12:00～12:00	休憩		
7月29日（土） 13:00～14:30	13:00～14:30	サービス提供の基礎知識 活動の仕方、サービスの流れ	介護サポートアドバイザー	医務部 （医務部2階）
	14:30～14:45	お茶会		
	14:45～15:00	閉会式	社会福祉士 橋本 尚子 社会福祉士 橋本 尚子	
7月29日（土） 16:00～17:30	16:00～17:30	お茶会		医務部 （医務部2階）
	17:30～18:00	福祉関係者の役割	介護サポートアドバイザー	
	18:00～18:30	閉会式	社会福祉士 橋本 尚子 社会福祉士 橋本 尚子	
7月29日（土） 18:30～19:00	18:30～19:00	お茶会		医務部 （医務部2階）
	19:00～19:30	閉会式	社会福祉士 橋本 尚子 社会福祉士 橋本 尚子	
	19:30～19:45	閉会式	社会福祉士 橋本 尚子 社会福祉士 橋本 尚子	

【申し込み】  
東京女子医科大学・介護サポート（医務部）  
03-5112-5206（直通）

◆介護サポート通信

### 介護サポート通信 vol.01

発行：東京女子医科大学・介護サポート（医務部）  
12月10日 発行

#### 2022年4月 介護サポート面談室が開所しました

【面談室】  
東京女子医科大学 女性高齢者キャリア形成センター  
ディレクション/環境整備事業推進室 室長  
解数子（神経分子細胞学専攻）准教授  
室長 兼 理事

【面談室】  
東京女子医科大学 女性高齢者キャリア形成センターの活動に「面談室」の開設を期し、開所いたしました。

【面談室】  
東京女子医科大学 女性高齢者キャリア形成センターの活動に「面談室」の開設を期し、開所いたしました。

【面談室】  
東京女子医科大学 女性高齢者キャリア形成センターの活動に「面談室」の開設を期し、開所いたしました。

### 介護サポート通信 vol.02

発行：東京女子医科大学・介護サポート（医務部）  
9月1日 発行

#### 介護サポート提供会員 講習会終了に寄せて

【面談室】  
東京女子医科大学 女性高齢者キャリア形成センター  
ディレクション/環境整備事業推進室 室長  
解数子（神経分子細胞学専攻）准教授  
室長 兼 理事

【面談室】  
東京女子医科大学 女性高齢者キャリア形成センターの活動に「面談室」の開設を期し、開所いたしました。

【面談室】  
東京女子医科大学 女性高齢者キャリア形成センターの活動に「面談室」の開設を期し、開所いたしました。

【面談室】  
東京女子医科大学 女性高齢者キャリア形成センターの活動に「面談室」の開設を期し、開所いたしました。



◆なんでも相談窓口

いつでも！どこからでも相談OK！  
**介護なんでも相談窓口**  
 受付開始  
 Google フォームを送るだけ！

●●について教えてほしい  
 ガイドブックの「ここ」を詳しく知りたい  
 どこで聞けばよいかわからなくて...  
 こんなこと聞いてもいいのかな？  
 最も一緒に対応します！

<本学教職員限定>  
 介護に関する事なら何でもOK。具体的な内容でなくても大丈夫です。学内窓口だからこそ気軽に、介護中の方もそうでない方もぜひご連絡ください。  
 返信はメールだけでなく、直接会って話を聞きたいなどのご要望があれば対面でも対応いたします。何かご要望があれば遠慮なくお伝えください。

相談方法  
 まずはフォームをお送りください。受信後、事務局よりご連絡いたします。

お問い合わせなど  
 詳細はこちらから。ご不明な点がございましたらご遠慮なくお問い合わせください。

女性医療人キャリア形成センター  
 (3) 5253 5253 内線 42362  
 cck@womens.jp

女性科学者科学生キャリア形成推進事業  
 「アドバイザー・コーディネーター・アドバイザー」プロジェクト  
 Your Attention to Your Own Innovation  
 「あなた」プロジェクト

**介護支援事業紹介**

ちょこっと介護見守り支援

アドバイザー  
 コーディネーター  
 依頼会員  
 提供会員

ガイドブック  
 ~キャリアアップをおさめらぬ！~  
 「介護ロードの歩き方」

もう手にされましたでしょうか？  
 追加が必要な場合は女性医療人キャリア形成センターまでご連絡ください。  
 (配布対象：登録職員)

介護のこと悩んでいませんか？  
**介護なんでも相談窓口**  
 Google フォームを送るだけ！

親が介護保険を利用したいけどどうしたら？  
 病院に付き添ってくれる人がいれば...  
 足腰が弱くなってきたので何か受けられる支援はありますか？  
 訪問介護ってどんなサービスがあるの？  
 介護にかかる費用ってどれくらい？

<本学教職員限定>  
 介護のこと一人で背負っていませんか？  
 まずは「介護なんでも相談窓口」にお問い合わせ下さい

ご相談・お問合せはこちらから  
 女性医療人キャリア形成センター  
 03-3353-8112内線30166

Googleフォームを送信ください  
 事務局よりご連絡いたします  
 右記QRコードを読み取ってアクセスしてください

女性科学者科学生キャリア形成推進事業  
 「アドバイザー・コーディネーター・アドバイザー」プロジェクト  
 Your Attention to Your Own Innovation  
 「あなた」プロジェクト

**介護支援事業紹介**

ちょこっと介護見守り支援

アドバイザー  
 コーディネーター  
 依頼会員  
 提供会員

ガイドブック  
 ~キャリアアップをおさめらぬ！~  
 「介護ロードの歩き方」

キャリアと介護を両立するために必要な基礎知識を知って、女子医大の支援制度をご活用ください  
 追加が必要な場合は女性医療人キャリア形成センターまでご連絡ください。  
 (配布対象：登録職員)

◆第一回介護講演会

**第一回介護講演会**  
 2月9日(木) 会場 Zoomによるオンライン講演会  
 17:00~18:30 参加 本学に在籍するすべての教職員

**第一部 講演会**  
 演者：恩蔵 絢子 先生 脳科学者  
 テーマ：「脳科学から見た認知症」

**第二部 座談会**  
 恩蔵 絢子 先生  
 松村 美由紀 先生 成人医学センター講師  
 山内 典子 氏 八千代医療センター看護部長  
 下村 裕見子 氏 女性医療人キャリア形成センター課長付  
 司会：本多 祥子 先生 脳科学(神経分子行動学)准教授 ダイバーシティ環境整備事業推進委員

NHKスペシャル「認知症の母と脳科学者の私」(放送日:2023年1月7日)  
 ご出演の**恩蔵 絢子**先生による講演会

**プロフィール**  
 脳科学者。  
 東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻博士課程を修了。学術博士。  
 名城学院大学・早稲田大学・日本女子大学で、非常勤講師を務める。  
 著書に「脳科学者の母が、認知症になる」  
 訳書に「生きがい」(茂木健一郎著)、「脳の科学」(ジヨナサン・コール著、茂木健一郎監訳)がある。

女性医療人キャリア形成センター  
 ダイバーシティ環境整備事業推進委員  
 Mail:cdc.brn@hwu.ac.jp  
 Tel: 03-3353-8112(内線30166)

お申込み  
 お問い合わせ先

お申し込みはこころから  
 (発行時刻2月8日)

お問い合わせ先  
 女性医療人キャリア形成センター  
 E-Mail: cdc.brn@hwu.ac.jp Tel: 03-3353-8112(内線)30166

◆第二回介護講演会

**第二回介護講演会**  
 オンライン配信  
 7月21日(金)17:00~18:30  
 介護のおカネ  
 いくらかかるの？  
 ~介護にかかるおカネと心の準備~

元気な親が突然倒れたら？介護は突然やってくる  
 介護は初期が大事。多くの人が最初に困るのは聞きなれない専門用語  
 今回のテーマは「介護の制度とお金を知る」  
 基礎知識を知って、いざという時のために学んでみましょう!!

**講師紹介**  
 株式会社ベネッセにアササポート 法人事業部 事務部長  
 保有資格:社会福祉士・ケアコンサルタント  
 キャリアアドバイザー(CDA)  
 2017年より当社の社会と介護の両立支援事業に関わり、現在は当事業の責任者として、介護の学び、育生の推進など、キャリアを踏まえた様々な課題と仕事をもとに実践している。当事者や管理職、また職場が抱える「両立課題」に関して、解決につなげるための支援を様々な形でを行っている。

**講演内容**  
 【介護にかかるお金の考え方】  
 1. 仕事と介護の両立  
 2. 介護保険制度と利用者の負担費用  
 3. 介護にかかる費用と考え方について  
 4. 今からできること

**申込方法**  
 本学に在籍するすべての教職員対象  
 Googleフォームよりお申し込みください。  
 印刷版に添付していること、講師の井木氏や  
 講師に謝意を添付すること、ご返信にご記入ください。  
 右下QRコードを読み取ってアクセスしてください  
<https://forms.gle/LacoverBFLUE3k49>

**お問い合わせ先**  
 女性医療人キャリア形成センター  
 E-Mail: cdc.brn@hwu.ac.jp Tel: 03-3353-8112(内線)30166

◆第三回介護講演会

**第三回介護講演会**  
 オンライン配信  
 11月6日(月) 17:00~18:30

**基調講演**  
 「小規模多機能型居宅介護」や  
 「グループホーム」等の社会資源を知ろう!  
 ~高齢者との付き合い方と共生社会構築~

**講師紹介**  
 株式会社あらいびり代表取締役社長  
 加藤 智和 (かとう ちかずけ) 氏  
 大学卒業後、福祉の特別介護人チームに就職。3年後に退職して平成13年に株式会社あらいびりを設立。「グループホーム」や「ケアセンター」の運営に携わる。平成19年より小規模多機能型居宅介護「あらいびり」を開設。

**座談**  
 <医療従事者が家族を介護することになったら>  
 医療従事者から家族への介護は自分1人が頑張らなければならない  
 介護事業所運営者、医師、看護師、介護士に話を聞きます

**参加方法**  
 本学に在籍するすべての教職員対象  
 Googleフォームよりお申し込みください。  
 QRコードにて講師の顔写真に写っていること、ご返信にご記入ください  
 (印刷版に添付していること、講師の井木氏や講師に謝意を添付すること、ご返信にご記入ください)  
<https://forms.gle/LacoverBFLUE3k49>

**お問い合わせ先**  
 女性医療人キャリア形成センター  
 E-Mail: cdc.brn@hwu.ac.jp Tel: 03-3353-8112(内線)30166

◆院内保育所利用者アンケート調査

東京女子医科大学 女性医職人キャリア形成センター  
女性医師・研究者支援部門  
Your Attention to Your Next Mission!

保護者の皆様へ

**やよい保育園利用者アンケート調査へのご回答について（お願い）**

平素より、本院の保育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。  
東京女子医科大学ではこのたび令和3年度文部科学省科学技術人材育成補助事業ダイバーシティ研究環境整備事業（先端型）に採択され、取組の一つとして保育制度の整備を実施する運びとなりました。

つきましては、やよい保育園では保育園をより利用しやすくまた安心してご利用いただくために、利用者の方のご意見を伺い、保育園の運用の改善を回っていくことを目的に毎月アンケート調査を実施することとなりました。

ご多用のことは存じますがアンケート調査へのご協力のほどお願い申し上げます。なお、本アンケートの回答は自由意志で無記名です。アンケートへのご回答によってご回答者の方に不利益を生じることはありません。

【回答期間】 毎月10日まで  
【所要時間】 2-3分程度  
【回答方法】 下記ウェブサイトからご回答をお願いします。  
<URL> <https://forms.gle/VcnpWoZ3TuYi73Uy6>  
<QRコード>



お問い合わせ先  
女性医職人キャリア形成センター  
女性医師・研究者支援事業部  
電話：03-3533-8111  
内線：33166  
Eメール：cdc\_fm@bjvms.ac.jp



◆女性研究者を支える男性研究者のための研究支援員制度

東京女子医科大学 女性医職人キャリア形成センター  
女性医師・研究者支援部門

**2024年度**

**募集期間**  
2023年10月1日～  
2023年12月1日(必着)

**研究支援員制度**  
研究者の指示の下で研究の補助作業を行う「研究支援員」を研究者1名につき1名配属することができます。配属できるのは1日4時間×週4日(16時間)が上限です。支援員の人員費は女性医職人キャリア形成センターが負担をします

**応募対象者**  
子育て・介護等で時間の確保が難しい本学常勤の男性医学研究者（准教授以下）のうち  
・配属者が大学等の研究機関に常勤している研究者またはフルタイムで就業している者  
・単身者または配偶者がいない者

**応募方法その他**  
女性医職人キャリア形成センターのHP上にある募集要項をご覧ください。  
(お記QRコードからも応募可能です)



**問合せ先**  
女性医職人キャリア形成センター 女性医師・研究者支援部門  
TEL：03-3533-8111（内線33166）  
MAIL：cdc\_fm@bjvms.ac.jp  
URL：https://www.bjvms.ac.jp/university/cdc/w-support/

本募集は令和3年度2023年10月1日～11月30日実施の募集です。応募期間は令和3年度11月30日（木）午後5時（午後5時）までです。応募は先着順となります。

研究支援員制度

利用者募集のお知らせ

女性研究者を支える男性医学研究者対象

## その他の活動

### ◆全国ダイバーシティネットワークへの参画

文部科学省と連携して女性研究者を取り巻く研究環境整備、研究力向上に取り組む諸機関をつなぐ「全国ダイバーシティネットワーク」の東京ブロックに参画し、国内外の取組動向の調査やその経験、知見の全国的な普及・展開を図ることを目的とした活動を行っています。

### ◆視察

実施時期	視察内容		
令和 4(2022)年 9月 28日	マリア・クリステイ ーナ・メッサ 氏	イタリア共和国 大学・研究担当大臣	本事業を中心とする本学の女性 医師・研究者支援について
令和 4(2022)年 11月 21日	宮島有果 先生	松本保健福祉事務所 所長	本学女性医師等研究者支援に関 するオンライン視察
令和 6(2024)年 3月 11日	宮島有果 先生	長野県健康福祉部 保健・疾病対策課	本学女性医師等研究者支援に関 する視察ならびに意見交換

### ◆取材

実施時期	取材内容	
令和 5(2023)年 3月 1日	読売新聞	YAYOI プロジェクトについて
令和 5(2023)年 7月 12日	ベネッセ シニアサポート	本学の介護支援について
令和 5(2023)年 8月 18日	m3.com	本学の女性研究者支援の取組ならびに ダイバーシティ事業について



ベネッセシニアサポート Work&Care Web サイトより



## 参考資料

### ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）中間評価

（中間評価）

#### ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）

（実施期間：令和3～令和8年度）

実施機関：東京女子医科大学（総括責任者：岩本 絹子）

#### 取組の概要

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）のフレームに更なる先端的取組を追加し、優れた女性研究者の育成と女性活躍を進展させるYAYOIプロジェクトを全学体制で推進する。

1. 上位職登用：学長のリーダーシップの下、学長指名による准教授・講師の採用、昇進昇格を促進、優れた女性研究者を発掘し学長指名により教授に任命する。
2. 研究力向上とリーダー育成：オンライン国際研究交流体制を構築し、女性研究者の国際共同研究支援を行う。異分野を繋ぐ架け橋研究支援、AIインターンシップ制度、AI研究支援により女性研究者の異分野融合研究参画を促進する。
3. ダイバーシティ研究環境整備：オンライン・休日の学会等参加時の託児費補助制度を整備、見守り支援による実践的介護援助を新設し、女性研究者がより研究に専念できる環境を整える。研究支援員制度の利用対象者を育児・介護中の男性研究者まで拡大し、研究効率向上を図る。

#### （1）評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
A	a	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

#### （2）評価コメント

理事長と学長が協働してリーダーシップを発揮することにより、法人と大学を挙げて女性研究者の活躍促進を図る体制が構築されている。優れた女性研究者の育成と活躍促進を目的とする既存の「YAYOIプロジェクト」に、「架け橋研究支援」、「AI研究インターンシップ制度」、「学長指名推薦による女性教授登用」等の先進的な取組を加え、女性研究者の研究効率や研究力の向上、上位職への登用を進め、女性教授比率を30%とする所期の目標をほぼ達成しており評価できる。また、学内のニーズ調査結果を踏まえ、介護支援体制の構築を精力的に進め支援体制の充実を図ることにより、介護支援制度利用者比率が順調に増加しており更なる展開が期待できる。今後は、女子学生のための医科大学であることに鑑み、女性教授比率に係る所期の目標を将来的に更に引き上げ、教授職への女性の登用をより一層進めることを期待する。

- ・ **目標達成度**：女性教授比率は29.7%まで上昇し、30%の所期の目標をほぼ達成しており評価できる。また、介護支援制度利用者比率は着実に上昇しており、所期の目標の達成に近づきつつあり今後の展開が期待できる。今後は、女性教授比率に係る所期の目標の将来的な引き上げを期待する。
- ・ **取組**：「架け橋研究支援」、「AI研究スタートアップ支援」、「学長指名推薦による女性教授登用」、「ちょこっと介護見守り支援」等、特色ある取組を多面的かつ総合的に推進している点は評価できる。実践的な介護支援体制が構築されており、他機関への波及効果が期待できる。



- **取組の成果**：教授、准教授、講師の女性比率が着実に上昇し、また、理事長、センター長、研究所長等、多くの要職に女性が就任し活躍していることは、特色ある多面的な取組の成果として評価できる。
- **実施体制**：理事長と学長という法人と教学のトップが協働してリーダーシップを発揮し、法人直下の「女性医療人キャリア形成センター」が事業実施母体となり取組を実施する実質的な実施体制が構築されており評価できる。また、「ダイバーシティ担当推進者会議」を定期的に開催し、全学横断的に情報共有や進捗状況の確認を行う仕組みが整備されており評価できる。
- **今後の進め方**：これまでの取組を中長期ビジョン「ビジョン2025」と関連させ発展させていくとともに、取組を継続、発展させるための経費として女性活躍に支出することのできる基金や経常費を確保しており、取組の更なる発展が期待できる。我が国の女性研究者・医療従事者のみならず、男性研究者・医療従事者にとっても働きやすい環境を整備するため、取組好事例等を広く学外に発信し、波及させることを期待する。

# ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）中間評価 成果報告書

## ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型） 中間評価 成果報告書

機関名：学校法人 東京女子医科大学

総括責任者名：岩本 絹子

実施期間：令和3(2021)年度～令和8(2026)年度

## 目 次

I. 計画の概要	1
II. 所要経費	2
III. 機関の概要と目標達成度	
1. 機関の概要及び考慮すべき背景	4
2. 目標達成度	
(1) 選定時コメント等に対する対応	4
(2) 目標達成度	5
(3) 所期の目標が達成できなかった場合の対処	6
IV. 機関の自己評価	
(1) 目標達成度	6
(2) 取組(妥当性・効率性)	6
(3) 取組の成果	7
(4) 実施体制	7
(5) 今後の進め方	7
V. 成果の詳細	
1. 取組内容	7
(1) 研究環境整備	7
(2) 研究力強化と上位職への積極的登用	9
(3) ポジティブ・アクション	13
(4) 復帰・復職支援	14
(5) 女性研究者の裾野拡大	14
(6) 情報発信	15
2. 取組の成果	
(1) 機関内の成果	16
(2) 波及効果	17
3. 実施体制	
(1) 実施体制	18
(2) 機関の長のコミットメント	18
VI. 今後の進め方	
1. 実施期間終了までの進め方	19
2. 実施期間終了後の取組の継続性・発展性(令和9(2027)年度以降)	19
3. 「次世代育成支援対策推進法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく一般事業主行動計画の周知と推進状況	19
VII. 参考図表	21
表1. 取組内容	

その他の図表

VIII. 参考資料 .....26

資料1. 今後の資金計画

資料2. 機関のマネジメントに関わる女性の人数・割合の推移

資料3. 研究支援者の配置状況

資料4. 研究支援者を配置した女性研究者の研究業績

資料5. 海外研究機関への派遣支援を受けた女性研究者及び若手研究者の研究業績

資料6. 病児保育支援経費の推移

資料7. 中長期計画における女性研究者支援に関する記載(抜粋)

資料8. ～

別紙1. 申請書(B2～B5)



## I. 計画の概要

- 機関名:学校法人 東京女子医科大学
- 総括責任者名(役職):岩本 絹子(理事長)
- 実施期間:6年間
- 実施経費:6年間の総額 231 百万円

### ■目標・行動計画の設定

女性活躍推進法に基づく事業主行動計画において、令和2年4月1日～令和7年3月31日までの計画期間に以下の目標を設定した。

目標1:女性教授比率30%の達成と維持

目標2:介護支援制度利用者比率0.6%の達成

また本学の中期ビジョンでは、中期目標・計画として、領域別に女性医療人(研究者)に関する目標・計画が設定されている。

女性が活躍できる環境を整え、本学の理念「至誠と愛」の下に国際的に活躍し、リーダーシップを発揮できる女性を育成する。

### ■取組の概要

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)のフレームに更なる先端的取組を追加し、優れた女性研究者の育成と女性活躍を進展させるYAYOIプロジェクトを全学体制で推進する。

1. 上位職登用:学長のリーダーシップの元、学長指名枠による准教授・講師の採用、昇進昇格を促進、優れた女性研究者を発掘し学長指名により教授に任命する。
2. 研究力向上とリーダー育成:オンライン国際研究交流体制を構築し、女性研究者の国際共同研究支援を行う。異分野を繋ぐ架け橋研究支援、AIインターンシップ制度、AI研究支援により女性研究者の異分野融合研究参画を促進する。
- 3.ダイバーシティ研究環境整備:オンライン・休日の学会等参加時の託児費補助制度を整備、見守り支援による実践的介護援助を新設し、女性研究者がより研究に専念できる環境を整える。研究支援員制度の利用対象者を育児・介護中の男性研究者まで拡大し、研究効率向上を図る。

### ■選定時コメント

①女性の在職比率を教授(特命担当教授を含まない)30%、准教授35%、講師40%とする具体的な数値目標を掲げ、女性教授候補者の「学長指名推薦制度」や、女性准教授・講師の新規採用・昇進・昇格において後進女性研究者を指導する能力や国際活躍業績等を評価する審査体制を構築することにより、女性研究者の上位職への登用を進める計画は評価できる。また、②女性研究者が主体となって基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究を実施できるよう支援する「架け橋研究支援」、海外の複数の大学と共用できる研究用デジタルプラットフォームを構築する「バーチャル国際研究交流体系の構築」、保健医療分野における「AI研究インターンシップ制度」といった特色ある取組により、女性研究者の研究力向上、女性研究リーダーの育成を図ることも評価できる。③女性研究者の科研費等競争的研究資金への申請数、新規採択率等に係るデータの分析を進め、研究力強化を図る新たな取組を策定することを期待する。④介

護支援制度利用者比率の目標値については、介護を行っている教職員数を踏まえた妥当な目標値となっているか検討することを期待する。

## Ⅱ. 所要経費

(単位:百万円)

経費の内訳	年度						備考
	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	
<b>【補助対象経費】</b>							
1. 設備用品費							
(1)AI解析用PC	1.1						デスクトップPC
(2)講演会配信用カメラ	0.6						リモートカメラ
(3)GPU	2.4						Tesla V100
(4)ワークステーション	1.7						Deep Learning Box
(5)顕微鏡用コントローラ		1.1					顕微鏡用培養システムコントローラ
2. 人件費							
(1)事業対象職員	0	0	0	0	0	0	
3. 事業実施費							
(1)消耗品費	14.7	10.2	17.2	4.0	4.0	4.0	撮影機材、PC、薬品、物品、書籍等
(2)旅費	0.1	0.8	5.0	0.4	0.4	0.4	学会参加(国内・国外)
(3)諸謝金	0.2	0.5	1.1	0.5	0.5	0.5	講演会
(4)会議開催費	0	0	0	0	0	0	
(5)通信運搬費	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	送料
(6)印刷製本費	1.9	1.3	2.8	0.5	0.5	0.5	報告書、パンフレット、チラシ
(7)雑役務費	19.9	30.0	23.4	22.0	22.0	22.0	派遣費、委託費
計 (補助金額)	42.7 (42.7)	44.1 (44.1)	49.6 (49.6)	27.5	27.5	27.5	
<b>【補助対象外経費】</b>							
1.人件費							
(1)補助者	0	0.8	2.8	2.8	2.8	2.8	女性研究者を支える男性医学研究者のための研究支援員制度
計	0	0.8	2.8	2.8	2.8	2.8	

注1) 人件費は、職階に分けて、年度毎に従事人数とともに記入してください。

注2) 1万円単位で四捨五入し、10万円単位(小数点一桁)まで記入してください。

注3) 令和3年度は決算額、令和4年度は執行額、令和5年度は予算額、令和6年度、令和7年度、令和8年度は計画額(自己負担額を補助対象経費となりうる計画額と補助対象外経費に分けて記入)を記入してください。「資料1. 今後の資金計画」と齟齬のないよう記入してください。

注4) 備考欄に支出内容の概要を簡単に(キーワード程度)記入してください。

### Ⅲ. 機関の概要と目標達成度

#### 1. 機関の概要及び考慮すべき背景

本学は明治 33(1900)年に創立された東京女醫學校を母体として設立された。昭和 27(1952)年に新制大学となり、平成 10(1998)年には看護学部が新設された。建学の精神は、「医学の蘊奥(うんおう)を究め兼ねて人格を陶冶(とうや)し社会に貢献する女性医人を育成する」ことであり、教育理念は「至誠と愛」である。教育機関としては女子のみ在籍可能な東京女子医科大学(医学部、看護学部)・東京女子医科大学看護専門学校と、男女とも在籍可能な大学院があり、合計在籍数は 1,365 名(令和 4(2022)年度)である。東京女子医科大学病院をはじめとして附属の医療機関は 5 つあり、教育機関・医療機関合わせて令和 5(2023)年 3 月末現在 6,628 名の教職員が在籍し、全体の 63.6%が女性である。

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)では事業開始 5 年目中に目標を達成し、令和 2 年 7 月時点で今までの最高値 31.1%(特命担当教授含む)に達することができた。ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)では、特命担当教授を除いた、女性教授 30%という意欲的な目標を掲げて邁進していく。職位別に見ると、事業開始時の令和 3(2021)年 11 月に女性教授比率 26.8%であったものが、3 年度目の令和 5(2023)年 5 月には 29.8%と大幅に増加し、目標値である 30%に近づいている(図 1)。さらに准教授の女性比率も 26.8%から 27.4%へ、講師の女性比率も 33.5%から 35.4%へと着実に増加している(図 1)。今後もさらに増加率を高め、目標とする女性教授比率 30%の達成と維持、さらに准教授、講師の女性比率それぞれ 35%、40%の早期達成を目指し活動を展開していく。

日本医師会調査では、医学部(医師)における女性教授率は 4.4%(平成 31 年度 女性医師支援に関するアンケート調査:大学医学部版)であり、すでに本学の女性教授比率は格段に高いレベルにある。しかし本学は本邦唯一の女子医科大学であり、グローバルヘルスリーダーとなる女性医療人を数多く輩出するためにも、より一層の女性上位職登用を目指すべき立場にある。平成 26(2014)年に文部科学省に提出した大学再生計画報告書でも言及したように、女性医師・研究者の能力向上に貢献しうる女性の教授数を増やすことの意義は非常に大きく、このため本学の中長期計画および『「女性活躍推進法」に基づく一般事業主行動計画』に女性教授比率 30%の達成と維持を掲げるに至った。

#### 2. 目標達成度

##### (1) 選定時コメントに対する対応

選定時コメント①:女性の在職比率の具体的な数値目標を掲げ、女性教授候補者の「学長指名推薦制度」や、女性准教授・講師の新規採用・昇進・昇格において後進女性研究者を指導する能力や国際活躍業績等を評価する審査体制を構築することにより、女性研究者の上位職への登用を進める計画は評価できる。

選定時コメント①に対する対応:

毎月一回開催されるダイバーシティ担当推進者会議にて教授、准教授、講師の女性比率の目標と現状の数値および動向を確認し、事業担当者全員に周知している。教授の採用・昇進にプラスファクターを継続実施するだけでなく、新たに女性准教授・講師の採用・昇進においても後進女性研究者育成や国際活躍業績等をプラスファクターとする体制を整えた。



選定時コメント②:女性研究者が主体となり、特色ある取組により、女性研究者の研究力向上、女性研究者のリーダー育成を図ることは評価できる。

選定時コメント②に対する対応:

女性研究者を対象とした各種研究支援金審査の際には必ず後進女性研究者育成への抱負を確認し、これを評価対象としている。採択された女性研究者自身が「研究指導者」となり、リーダーシップを取って意識的に後進育成活動を行うことで、研究力強化や研究継続の好循環を生む体制を構築している。

選定時コメント③:女性研究者の科研費等競争的研究資金への申請数、新規採択率等に係るデータの分析を進め研究力強化を図る新たな取組を策定することを期待する。

選定時コメント③に対する対応:

女性医療人キャリア形成センターの活動に本学研究推進センターの URA が新たに参画し、学内女性研究者を含む研究費獲得関連データの分析・開示およびフィードバックを行うことにより、研究費獲得能力向上に向けた全学的支援体制を構築しつつある。これまで学内に皆無であった科研費セミナーや申請書レビュー等の科研費申請支援事業を新たに企画・展開し、着実に実施することで、個々の女性研究者に研究資金面での自立を強く意識させ、策を講じるための情報やチャンスを様々な形で提供している。結果として学内全体の研究機運が高まりつつある。

選定時コメント④:介護支援制度利用者比率の目標値については、介護を行っている教職員数を踏まえた妥当な目標値となっているか検討することを期待する。

選定時コメント④に対する対応:

本学全教職員を対象とした介護アンケート調査を複数回行うことにより現状把握と分析を実施した(V. 成果の詳細 1. 取組内容 (1) 研究環境整備②実践的介護支援体制の構築に詳細を記載)。介護ハンドブック配布や介護講演会等を通じて介護支援制度を十分に学内周知した上で、実際の支援利用者数をふまえた数値目標の妥当性を適宜検討していく。

## (2) 目標達成度

### ① 目標: 女性教授率 30%の達成と維持

達成度:達成しつつある。令和3年5月1日における女性教授率は28.6%であったが、令和5年3月における女性教授比率は29.7%であり、令和3年11月のダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)採択時の26.8%に比して顕著な増加傾向にある。特に理事長、足立医療センター病院長、東洋医科学研究所所長、研究推進センター長、医学部長ならびに看護学部長といった多くの要職に女性教授が就任し活躍している。

### ② 目標: 介護支援制度利用者比率 0.6%の達成

達成度:達成しつつある。平成28(2016)年度および令和元(2019)年度、令和3(2021)年度に、本学全教職員を対象とした介護支援ニーズに関するアンケート調査を実施した。令和元(2019)年度の調査結果(「学校法人東京女子医科大学教職員における介護の現状と課題」東京女子医科大学雑誌91巻4号(2021)掲載)では、男女を問わず回答者の約8割が仕事と介護の両立を望む現状が明らか

となった。その一方で既存の介護支援制度の周知不足や一律的な支援介入の難しさが課題として挙げられた。平成28(2016)年度から展開するダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)では、人事課、看護部、地域連携室から成る介護相談窓口を設置したが、本「先端型」事業ではさらなる介護支援制度利用者増加に向け、実践的な介護見守り支援体制である「ちょこっと介護見守り支援」の新規構築、介護講演会の開催、全教職員向け介護ハンドブック「介護ロードの歩き方」配布等を行い、学内教職員を対象とした介護支援施策の充実と周知につとめてきた。令和元年度に0.3%程度であった介護支援制度利用者比率は、令和4年度には0.5%(介護休職7名+介護休暇20人名/全教職員数6775人)に上昇して目標値の0.6%に近づいており、本事業の効果が着実にあらわれはじめている。

### (3) 所期の目標が達成できなかった場合の対処

令和5年3月末時点では女性教授割合の目標値に届かなかったが、既に学長のリーダーシップによって「学長指名推薦」による女性教授積極登用の仕組を構築済みであり、さらに従前より実施している「プラスファクターの明示」が定着していることから、女性教授比率の目標達成は十分に見込まれる(V. 成果の詳細1. 取組内容(3) ポジティブアクションに詳細を記載)。

介護支援制度利用者比率の増加は緩やかなスピードではあるが、介護にかかる支援体制の広報機会が顕著に増加したことにより明らかな効果が出ている。早期の数値目標達成が叶わないとしても、本事業が真に支援を必要とする教職員のセーフティネットとして有効に機能することが肝心であり、引き続き本学教職員を対象とした介護講演会や相談会を重ね相談窓口の門戸を広げることで、介護支援制度の認知度が高まり相談機会が増え、事業期間中に目標達成可能となる見込みである(V. 成果の詳細1. 取組内容(1) 研究環境整備②実践的介護支援体制の構築に詳細を記載)。

## IV. 機関の自己評価

### (1) 目標達成度

行動計画に沿った取組を順調に進めている。選定時コメントに対し、女性准教授・講師の採用・昇進における新たなプラスファクター導入、研究支援金採択者の後進指導を通じたリーダーシップ醸成、学内URA参画と新たな研究費獲得支援事業の導入などで適切に対応し目標を達成しつつある。令和5(2023)年5月の女性教授比率は29.8%、女性准教授比率29.9%、女性講師比率35.7%で、いずれも概ね増加傾向にあり(図1)、事業期間終了を迎える令和8(2026)年度までには、女性教授比率30%、候補となる女性准教授比率35%ならびに女性講師比率40%の目標を達成できる見込みである。

### (2) 取組(妥当性・効率性)

「特色型」事業期間より女性教授比率30%という意欲的な目標を掲げ、本学の建学の精神のもと長年にわたり挑戦的な取組を行ってきたことで、目標達成に向けた下地づくりは十分になされている。加えて女性教授の土台となる女性准教授、講師に着目し、その成長・活躍を支援することで、実際にこれら上位職の女性比率が着実に伸びていることから、目標の「女性教授比率30%の達成と維持」は実現可能性が高い。従前より本学の研究体制の要である数々の研究施設や会議体と密に連携し、理事長、学長のリー

ダーシップのもと、女性医療人キャリア形成センターが「先端型」事業内容を包括的にオーガナイズする(図2)ことで、事業全般を着実に推進できる全学体制を構築し、効率的に取組を進めている。

### (3)取組の成果

既に教員評価制度の高評価に基づく学長指名推薦を受けた女性教授候補者3名が、第三者評価による公正な教授選考委員会の選考を経て令和4年度中に教授に任命されている。さらに、理事長、足立医療センター病院長、東洋医科学研究所所長、研究推進センター長、医学部長ならびに看護学部長といった多くの要職に女性教授が就任し活躍している。

### (4)実施体制

本事業は理事長、学長の強いリーダーシップのもと、学校法人東京女子医科大学の直下である女性医療人キャリア形成センターにおいて、常務理事であるセンター長を中心に実施している。平成28(2016)年度「特色型」採択時にセンター長直属のダイバーシティ環境整備事業推進室(以後「推進室」)を設置し、実施体制基盤は十分整備されている。加えて本「先端型」事業は、各種研究施設や会議体を巻き込む全学的実施体制(図2)のもと、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)の事業(図3)を継承しつつ、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)にて更なる先進的の事業を展開している(図4)。月一回のダイバーシティ担当推進者会議にて目標達成度の共有、事業内容の審議・決定、各事業担当者の進捗状況報告を行い、これをもとに推進室が問題点や解決策の抽出とフィードバックを行っている。会議決定事項は女性医療人キャリア形成センター長、副センター長等より理事長、学長に報告、直接的な意見交換が行われ強い推進力が保たれている。

### (5)今後の進め方

引き続き様々な事業を展開し、グローバルヘルスリーダーを目指す女性研究者のイノベーションマインドを高めていく。ロールモデルの女性研究者にスポットライトを当て、動画等で研究成果や人物像を広く学内外に紹介、さらに国際活躍を目指す女性研究者のための個別相談などを通じ、後進育成や研究のグローバル化を支援する。補助金支援期間終了後も、オンラインコミュニケーションツール“Slack”やメールリストを活用し、異分野の学内女性研究者間を繋ぐ交流の場を活性化させる。上昇志向のある女性研究者を発掘しキャリア面談に繋げる「ピアラーニングfor彌生人(やよいびと)」も、学内の女性准教授、講師を演者として開催する。また本学URAを中心に研究費獲得支援セミナーや申請書添削などを継続的に実施し、資金的自立を含む総合的な研究能力を高める。男性枠を含む研究支援員制度、ファミリーサポートによる介護支援は、女性医療人キャリア形成センターの女性医師・研究者支援部門事業として継続する。事業全般に理事長、学長の強いコミットメントが得られており、事業期間終了までに目標達成できる見込みである。

## V. 成果の詳細

### 1. 取組内容

#### (1)研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備(ダイバーシティ研究

環境整備)

本学全教職員を対象とした学会参加時の託児費補助に関する調査(令和3年12月15日－令和4年3月31日)を実施した。回答者の29%から託児費補助に賛同の声が寄せられ、学会参加時の託児費に関しては一定程度のニーズが確認できた(「学会参加時に託児を利用した場合に託児費の補助を受けたいですか?」の質問に対し「受けたい」530名、「予定あり受けたい」22名+「予定ないが利用したら受けたい」508名)。若手研究者の貴重な発表機会である小規模学術集会(学会地方会や研究会など)はしばしば土日祝日に催され、託児サービスが用意されないことが多い。国際学会等に自宅からオンライン参加する場合も託児サービスの利用は難しく、学会参加を希望する育児中の女性研究者にとって大きな障壁となっている。そこでこれらの学会参加時の託児費補助を実施、更に本学の院内保育所(学校法人東京女子医科大学付属病院院内保育所「やよい保育園」)における土日祝日を含めた一時預かり保育制度の整備を進め、令和3(2021)年度は1名(1件)、令和4(2022)年度は5名(10件)の学会参加支援を行った。

また、院内保育所「やよい保育園」における保育の安全性と効率性を向上させる目的で、タブレット端末と専用ソフトを用いたICT環境整備を進めた。保育の安全性の可視化により、利用者である育児中の女性研究者が安心して勤務に集中できていることが、利用者アンケートにおける高い満足度(大変満足:72.2%、満足:22.2%)からも明らかとなった。

令和3年度:532,178円(補助金532,178円 雑役務費)

令和4年度:539,556円(補助金539,556円 雑役務費)

## ② 実践的介護支援体制の構築(ダイバーシティ研究環境整備)

令和3(2021)年度に介護の現状とニーズに関するアンケート調査を本学全教職員に実施し、29.5%から回答を得た。このうち79.8%が介護未経験であり、介護に対する不安を訴える声も全回答者の79.4%から聞かれた。一方で71.3%が適切な支援を受けた上で仕事と介護の両立を希望していることが明らかになった。これらの数値は令和元(2019)年度の調査結果と大差なく、本学教職員にとって介護支援の重要性が変わらず高いことが分かった。他方で介護休業制度を含めた本学の介護支援制度の認知度も変わらず低く、周知徹底が課題となった。そこでまず介護未経験者を多く含む本学教職員を対象に介護制度の理解や介護に直面した際の心構えなどを広める目的で、介護支援ハンドブック「介護ロードの歩き方」を作成し、男女にかかわらず全教職員に配布した。この介護支援ハンドブック作成にあたっては、人事課のほか、病院の患者介護支援関連業務に就き知識を有するスタッフら(ソーシャルワーカー、退院調整専門看護師)とも協働したことで、本学教職員の実態に即した支援内容の周知が可能となった。

また、「特色型」事業にて「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を委託している特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロのノウハウを活用し、ファミリーサポートによる介護見守り支援サービス「ちよこっと介護見守り支援」を新設した。これは会員登録制の相互援助システムであり、学内に設置した介護サポート室に、社会福祉士、介護保険サービス事業所勤務・介護ヘルパー養成講座講師の経験を有する福祉用具専門相談員・福祉住環境コーディネーターなどが常駐し、丁寧に話を聞いてサポート提供会員のスキルと依頼会員のニーズを適切にマッチングする。まずサポーターとしての活動を希望する本学近隣在住のサポート提供会員(提供会員講習会、実習を修了)を令和3(2021)年度6名、令和4(2022)年

度4名登録した。令和4(2022)年度は延べ2件(1名)の介護見守りサポート活動を実施した。生憎の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、サポートを希望する依頼会員(本学教職員およびその家族)の登録者数は僅少にとどまるが、令和4(2022)年度はサポート提供会員のためのスキルアップ講習会を1回、茶話会(サポート提供会員同士の意見交換会)を2回開催し、サポート提供会員のモチベーションを維持し質向上に資することができた。この「ちょこっと介護見守り支援」開始と同時に、介護サポート室にて介護相談(対面、電話、メール、オンライン)受付を開始、既に「特色型」事業で構築済みの人事課「介護相談窓口」とも連携することで、本学教職員に必要な介護支援情報を常時提供できる体制を整えた。今後も更なる周知活動を通じて本サービスを学内に浸透させ、女性研究者を含む全教職員のセーフティネットとして介護離職防止に実質的効果を発揮すると期待される。

介護支援に先駆的に取り組む大阪公立大学(令和4年12月28日)および富山大学(令和5年1月26日)へのオンライン視察において、各大学の教職員を対象とした介護支援内容や情報発信手段、介護相談窓口における具体的な相談内容、相談件数等に関する情報収集を行い、大学教職員の介護離職防止、介護支援体制に関する様々な示唆を得ることができた。同時に本学の実践的介護支援事業(ファミリーサポートによる介護見守り支援サービス「ちょこっと介護見守り支援」)内容についても各大学に紹介し、相互に情報交換することができた。今後も全国ダイバーシティネットワーク等を通じて介護事業に関する情報を他大学・研究機関と共有していく。

本学の介護アンケート回答者の約8割を介護未経験者が占めていたことから、自身の家族介護を身近にイメージする機会として介護経験者による介護講演会を開催(第1回:令和5年2月9日)した。第1回は認知症家族を介護中の脳科学者が登壇し、認知症患者家族として、また脳科学者としての視点から介護における様々な問題点(特に心理的な負担)を細く内容であり、講演後に行われた本学教職員(医師、看護師、事務職)との座談会と合わせ参加者の大きな関心を集めた(オンライン視聴者39名、オンデマンド配信視聴者38名)。この介護講演会冒頭に「ちょこっと介護見守り支援」を含む本学の介護支援事業内容をまとめて紹介することで、介護支援事業周知の機会として活用することができた。今後も介護費用など様々なテーマで介護講演会を続けていく。

令和3年度: 9,632,205円(補助金9,632,205円 雑役務費)

令和4年度: 10,308,199円(補助金10,308,199円 諸謝金、雑役務費)

## (2) 研究力強化と上位職への積極的登用

### ① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究の支援(研究力向上・リーダー育成)

リーダーシップを発揮し異分野を繋げてイノベティブな研究開拓を担う女性研究者(彌生人=やよいびと)の育成には、医・工・理を含む異分野、異業種の女性研究者同士の連携や意見交換の場が不可欠である。そこで、本学先端生命医科学研究所が主催するBMC(バイオメディカルカリキュラム)修了者を含め、学外から異分野融合研究の第一線で活躍する女性研究者を招き、研究内容やこれまでの歩み、ワークライフバランスなどについて講演いただくオープンイノベーション講演会を企画、学内外に公開する形で開催した。オンライン開催にもかかわらず第1回オープンイノベーション講演会(令和4年1月24日)は50名、第2回(令和4年8月4日)は35名の参加者を集め大変盛況であった。特に講演後のパネルディスカッションでは本学から臨床、看護、基礎研究など様々な分野の女性研究者が登壇し、研究



課題の見つけ方や研究意欲の継続などについて活発な議論が交わされた。参加者アンケートには「ターニングポイントになった」「自分で限界を作らない」という言葉に大変感銘を受けた」「悩むことも多いが勇気をもらえた」という意見が寄せられ、学内外の異分野、異業種女性研究者間の交流のみならず、若手女性研究者やその卵である女子医学生に対してもロールモデル提示や後進育成の面で有意義な催しとなった。

基礎医学研究の知見に発したアイデアを予防や治療、ケアのための技術・材料・機器開発に応用することで新たな研究開発分野を開拓できる可能性は大きく、基礎医学と臨床工学の間を繋ぐ「医・工・理の架け橋研究」のスタートアップを希望する若手女性研究者の増加を促進するため「架け橋研究支援金」制度を設けた。厳正な審査の結果、令和3(2021)年度4名、令和4(2022)年度5名の学内女性研究者を採択し研究費を支援した。各女性研究者の研究成果を分かりやすい紹介動画にまとめ、本学YouTubeチャンネル上に公開し広く配信している。

この基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」を将来的にもさらに促進するため、架け橋研究担当責任者および架け橋研究支援金採択者を「架け橋研究指導者」に任命、後進育成の役割を強く意識付けることで、新たな研究の芽を生み出す風土を醸成した。架け橋研究指導者による研究内容紹介(架け橋研究紹介ツアー)や研鑽を兼ねた勉強会を大学院生や学生なども対象として定期的に開催し、異分野融合研究における後進育成や研究クオリティの向上につとめた。

双方性リアルタイムコミュニケーションツール「Slack」上に「架け橋研究」のチャンネルを立ち上げ、異分野融合研究を現在遂行中の研究者同士、さらには新たに異分野融合研究への参画を希望する研究者との間で自由な意見・情報交換ができる場を設けた。当初は架け橋研究に関わる女性研究者同士を繋ぐ目的で設立したが、現在は男性研究者や大学院生などの若手研究者を含め登録人数87名(うち男性31名)となり、著しく活性化して予想外の効果をあげている。「架け橋研究」以外にも、後述の「国際共同研究」や「AI研究」、「ゲノム研究」など多岐にわたるチャンネルが既に立ち上がり、研究分野の壁を越えて自由に往来し情報共有が可能のため、今後も相乗的な効果が期待できる。

令和3年度:5,965,000円(補助金5,965,000円 諸謝金、研究支援)

令和4年度:7,146,438円(補助金7,146,438円 諸謝金、研究支援)

## ② バーチャル国際研究支援体系の構築および実用活性化(研究力向上・リーダー育成)

国際共同研究にすでに関わっている、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者のための「国際共同研究支援金」制度を設立、厳正な審査の結果、令和3(2021)年度3名、令和4(2022)年度3名の学内女性研究者に対し支援を実施した。両年度とも新型コロナウイルス感染拡大の影響で海外渡航が困難であったことから、海外渡航・滞在費用に代わり本学の女性研究者が国内で国際共同研究を実施する上で必要な研究経費を直接的に支援したことで、一定の研究成果を上げることができた。これらの成果は、分かりやすい紹介動画としてまとめられ、本学YouTubeチャンネル上で公開されている。

また将来的に国際共同研究をさらに加速するため、国際共同研究支援金採択者を「国際共同研究指導者」に任命、後進育成の役割を強く意識付けることで、新たな研究の芽を生み出す風土を醸成した。双方性リアルタイムコミュニケーションツール「Slack」の「YAYOIコミュニティ」内に「国際共同研究・海外留

学」チャンネルを立ち上げ、国際共同研究を遂行中の女性研究者同士、さらには若手研究者や海外留学を志す大学院生との間で自由に情報交換ができる場を設けた。当初は国際共同研究に関わる女性研究者同士を繋ぐ目的で設立したが、現在は男性研究者や大学院生を含む若手女性研究者が数多く登録し交流を行っており、国際共同研究指導者と若手女性研究者が留学に関する相談・回答をやり取りするなど、後進育成の面でも予想外の効果をあげている。

国際的な研究力向上および女性研究者の上位職登用の機会を増やすことを目的とし、英語による国際学術雑誌掲載が決定した成果報告に対し掲載料の一部もしくは全額補助を行う制度を設立、令和3(2021)年度は1名、令和4(2022)年度は7名に対し支援を行った。

更に国際的に活躍する女性研究者を招聘した講演会・交流会開催支援として、令和4(2022)年度は本学国際共同研究指導者が主催する米国テキサス大学の女性研究者講演会の開催費用を支援した。

コロナ禍で海外渡航が困難な中、海外研究者との共同研究の活性化を目的として、研究用デジタルプラットフォーム(XR Conference Cloud)を活用した国際会議の開催支援を実施した。令和3(2021)年度は米国ハーバード大学と本学麻酔科による国際共同研究キックオフミーティングを支援、令和4(2022)年度は米国コロラド大学と本学膠原病リウマチ内科による国際会議を支援した。いずれも本学の女性研究者がホストとなる形で実施した。参加者がデジタル上のメタバース(仮想空間)に入り込むことで、まるで対面参加のような空間を体験でき、海外の利用者からも好評であった。

国内、海外を含む学外研究者と学内女性研究者の交流活性化を目指し、自律走行型アバターロボット「temi(テミ)」を様々なシーンで活用した。令和3(2021)年度は国際共同研究指導者である本学女性研究者と米国ブラウン大学の研究者らが「temi」を用いて意見交換を行い、またシンガポール国立大学の女性研究者が本学の国際共同研究指導者(女性研究者)のラボを「temi」で自由に移動しながら視察した。学外の研究者自身が「temi」を遠隔操作し移動できるため、オンライン会議などの2次元ツールとは全く異なる臨場感を得ることができ、利用者、招待者双方から対面に近い臨場感が感じられるとの声が聞かれた。

新型コロナウイルス感染拡大収束の後は、旅費等の面からも学内女性研究者の国際研究活動を支援し、長期的な視点で国際共同研究活性化を支えていく。

令和3年度:8,336,872円(補助金8,336,872円 雑役務費、研究支援)

令和4年度:9,928,553円(補助金9,928,553円 諸謝金、雑役務費、研究支援)

### ③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築(研究力向上・リーダー育成)

保健医療分野や基礎医学研究を含む様々な研究分野のニーズにAIを活用することで、かつて無い画期的な成果や全く新たな研究分野を生み出すことが可能となる。学内においてこのようなAI研究のスタートを希望する女性研究者および既にAI研究を推進中の女性研究者を支援するため、「AI研究スタートアップ支援金」制度を設立した。厳正な審査の結果、令和3(2021)年度は3名、令和4(2022)年度は4名の様々な研究分野(基礎医学、臨床医学、看護学など)に属する学内女性研究者を採択し、研究費を支援した。特に、快適なAI研究環境に必須のGPU搭載高性能PCを学内メディカルAIセンター内に設置することで、十分な資金力のない若手女性研究者も利用可能な共用AI研究環境設備を整えることができた。各女性研究者の研究内容や成果は、分かりやすい紹介動画として本学公式YouTubeチャンネル上に公開されており、チャンネル登録者数も徐々に増加している。

将来的にAI研究をさらに加速するため、AI研究スタートアップ支援金採択者を「AI研究指導者」に任命、後進育成の役割を強く意識付けることで、新たな研究の芽を生み出す風土を醸成した。双方性リアルタイムコミュニケーションツール「Slack」の「YAYOIコミュニティ」に「AI研究」チャンネルを立ち上げ、既にAIを用いた研究を遂行中の女性研究者同士、さらに今後AI研究を始めたい若手女性研究者や大学院生などとの間で自由に情報交換ができる場を設けた。これも当初はAIを用いた研究に関わる女性研究者同士を繋ぐ目的で設立したが、現在は男性研究者や大学院生を含む若手女性研究者が数多く登録しており、勉強会等の情報告知のほか、若手女性研究者が自身の研究内容に関する相談を投げかけるなど、後進育成にも予想外の効果をあげている。

また、学内メディカルAIセンターにおける月一回の定例会議(大学院生を含む若手女性研究者も参加)の場でAI研究スタートアップ支援を受けたAI研究指導者が毎回一名ずつ対面で研究内容紹介とディスカッションを行う仕組みを構築し、各自の研究の研鑽だけでなく後進育成にも有意義となっている。

さらに本学女性研究者が自らの希望するテーマでAI研究を開始するための基本的知識習得機会を増やすことを目的として学外での「AI講習会、研修会 参加費補助制度」を設立、令和3(2021)年度は2件、令和4(2022)年度は4件を支援した。

また、学内開催として第1回医療・ヘルスケア AI 講演会(令和4年2月98名参加)、第2回医療・ヘルスケア AI 講演会(令和5年2月14名参加)を、医療 AI 事業を幅広く展開する株式会社スタージェンの協力により開催し、第1回の満足度63.7%、第2回満足度72.7%と高い評価が得られた。また、アノテーション演習会(令和4年2月4名参加)、表形式データの機械学習演習会(令和5年2月2名参加)、AI・臨床統計無料相談会を、令和4(2022)年度に8回(のべ29名参加)、令和5(2023)年度に3回開催した。AI・臨床統計無料相談会では、「AIの専門家の方が周りにおらず、だれに相談していけばよいのかわからない状況だったので、相談できる場があること自体が大変ありがたかった」「AIを活用して何をしていくか、改めて考える機会になった」「初心者だが、目指すことから実現可能なこと・必要なステップや技術を順を追って説明してくれ非常にわかりやすかった」との声が寄せられた。無料相談会は予約制で、実際のデータを元に丁寧に個別質問に応じる形式のため人数は絞られるが、個々の女性研究者の進捗に合わせ具体的かつ効果的な指導を行うことでAI研究推進に大きく寄与することができた。今後もメディカルAIセンター、スタージェン社と協同で、学内女性研究者を中心としたAI研究活性化を様々な面から支援していく。

令和3年度:3,133,041円(補助金3,133,041円 雑役務費、研究支援)

令和4年度:3,288,435円(補助金3,288,435円 雑役務費、研究支援)

#### ④ 科研費申請支援関連(研究力向上・リーダー育成)

競争的研究費申請支援事業の一環として、外部委託(委託業者:ロバスト・ジャパン株式会社)による申請書レビューを実施した。令和4(2022)年度文科省科研費種目(基盤研究(A,B,C)、若手研究、挑戦的研究、研究活動スタート支援)に応募した学内女性研究者60名を抽出し、うち申請書レビューを希望した科研費申請書40件に対して論理構成、文章表現、必須事項記載チェック、費用算定、書式調整に関するコメントを提供した。これまで本学には科研費申請書(特に研究計画調書)作成過程において研究者自身がプロフェッショナルから直接アドバイス等を受けられる体制がなく、事後アンケートでは科研費申請

書レビューに対して89%と非常に高い満足度が得られた。申請書レビューを受けた女性研究者からは「自信がない箇所や説明不足の箇所を的確に指摘して頂き、どのように直せば審査員に伝わるのか大変勉強になった」「具体例を提案していただいたことは、修正点への理解が深まり非常に良かった」「科研費全体の仕組みを踏まえたコメントをいただき大変参考になった」「記載方法に関する的確な指導があり大変勉強になった」といった感謝の声が聞かれた。令和4(2022)年度は既に科研費申請期間終了後のレビューとなったが、令和5(2023)年度は科研費申請開始時期に合わせた申請書レビューを企画しており、本学女性研究者の科研費採択率向上に大きく貢献する可能性が予想される。さらに今回のレビュー希望者了承のもとでレビューコメント内容を本学所属のURAにも共有、申請書添削のノウハウを提供することで、学内女性研究者のみならず全学を対象とした将来的な研究費申請支援活動の一助となる予想外の効果が得られた。

令和4(2022)年度は、信州大学准教授の女性URAを講師に迎え「第1回科研費セミナー」をオンライン開催し、学内参加者39名のすべての参加者から極めて高い評価が得られた(大変興味深かった87%、興味深かった13%)。学内女性研究者を対象とした事前アンケート調査で予め吸い上げた科研費申請に関する基本的な疑問や悩みなどをテーマに、各自がすぐにでも実践できる事柄を中心に紹介いただくことで、内容の濃い実質的な講演会となった。参加者からは「教わらないと気づけない考え方や情報収集の仕方について教えていただき、大変学びになった」「臨床中心の医師にとって科研費のハードルが高いことに寄り添って議題を展開して頂き、有難く思った」「聞きたい内容が具体的に聞けて参考になった」との感想が寄せられ、様々な視聴層のニーズを考慮した講演内容が高い満足度に繋がったと考えられた。講演に続いて臨床、基礎、看護など様々な研究分野の学内女性研究者ならびに本学URAが登壇し講師を交えた座談会を実施したことで、科研費申請に関し互いに忌憚りの無い意見交換や質疑応答を行う、本学では初めてにして大変貴重な機会となった。後日この動画を学内限定公開YouTubeによりオンデマンドで配信し、参加を希望するもリアルタイムで視聴できなかった多数の研究者に情報提供することができた(再生回数35回(5/16時点))。これら一連の科研費申請支援関連事業により、コロナ禍の影響もあり申請率・採択率ともに下降傾向にあった本学女性研究者の科研費獲得に対する機運は徐々に戻りつつある(図5)。今後も科研費セミナーや科研費申請書レビューなど様々な方法により、女性研究者を中心とした研究資金面での自立支援を進めていく。

令和4年度:2,211,000円(補助金2,211,000円 諸謝金、雑役務費)

### (3) ポジティブ・アクション

#### ① 学長指名推薦による女性教授登用(上位職登用)

「特色型」事業で展開した3つの行動計画の1つ「上位職への積極登用」を引き継ぎ、本「先端型」事業(図3)においてもプラスファクターを継続している。さらに加えて、学長の強いリーダーシップのもと、国内外において優れた実績のある女性教職員(医師以外の女性研究者も含む)の上位職登用を推進するため学長指名推薦を実施している。成果として、令和4(2022)年度には、教員評価制度の高評価に基づき学長指名推薦を受けた女性候補者3名(いずれも本学卒業生)が、公正かつ厳正な教授選考委員会の選考の結果、それぞれ5月、9月、11月に教授に就任した。引き続き今後も女性研究者後進育成や国際活躍等の業績を評価に含めた学長指名推薦を進めることで、女性教授比率30%の達成と維持を目指し

たさらなる女性上位職登用を推進していく。

#### (4)復帰・復職支援

##### ① 研究支援員制度における対象者範囲の拡大(ダイバーシティ研究環境整備)

「特色型」事業では、ライフイベントにより研究活動の継続や研究時間の確保が困難となった女性研究者や十分な実績がある将来有望な女性研究者に対し、厳正な選考・審査を行った上で研究支援員を一年間配置することで、活発な研究活動の継続ならびに業績獲得、研究意欲向上に実績をあげてきた。本「先端型」事業では、さらに「女性研究者を支える育児・介護中の男性研究者」(配偶者が現役の女性研究者であること等が条件)を新たに支援対象とした。選考・審査の結果選ばれた男性研究者1名に10月から3月までの半年間研究支援員を配置することにより、男女の枠を超えた研究活動継続支援を実践した。支援を受けた研究者は、毎年定期的に開催する女性医師・研究者支援シンポジウム(学内公開・学生教育カリキュラムの一環)にて成果を発表し業績とする他、聴講する医学部4年生に対してもロールモデルあるいは将来のワークライフバランスを考える契機として好影響を与えることが期待され、想定以上の成果となり得る。今後も引き続き男性研究者を対象とした研究支援員制度を実施することで、ダイバーシティ事業に全学体制で取り組む本学の姿勢を明示していく。

令和4年度:800,000円(自主経費800,000円 人件費 補助者)

#### (5)女性研究者の裾野拡大

##### ① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進(上位職登用)

従前より、「本院女性センターを兼務する女性医師がいるとき」は、該当者1名につき1名の教授・准教授・講師増員(最大3名まで)を認める規程を定め、女性医師による診療を希望する社会のニーズに応えてきた。さらに「先端型」事業では、本事業で活躍する女性研究者の積極的な上位職登用を目的として、条文規定にかかわらず「理事会の承認を得た場合には、基幹分野および診療科は、定める基準にしたがい増員できるものとする」項目のひとつに、「女性医療人キャリア形成センターへ多大な貢献をしたと女性センター長から認められた者がいるとき」に准教授および講師の増員が可能となるよう規程改定(基幹分野および本院診療科の定員に関する規定:令和5年3月20日規程・規則第2303号の5)を行った。

また「先端型」事業では、教授の採用・昇進にプラスファクターを継続実施するだけでなく、准教授・講師の採用・昇進にもプラスファクターを実施する体制を整えた。すなわち採用、昇進昇格の際に提出する「現在の役職における教職業績の自己点検(医学部)」、「教員採用 採点表(看護学部)」の付帯項目である「教育研究・開発・社会貢献」に、「a. 国際的な活躍、b. 後進女性研究者指導、c. 男女共同参画事業(ダイバーシティ事業)への参加・貢献」の3項目を追加することで、これらの業績をプラスファクターとして評価する。このような規程改定を今後も進めていくことで、女性教授候補者に相応しい人材資源のさらなる拡大を目指す。

「特色型」の主要行動計画「上位職への積極登用」の一環として実施してきた「教授職を目指す女性医師のためのピアラーニング」をベースに、「先端型」事業では新たに現役の准教授・講師をロールモデルとした「ピアラーニング for 彌生人(やよいびと)」を企画、不定期のイベントとして頻繁に開催してきた。学内の臨床系医師のみならずPIを目指す基礎医学研究者や看護系研究者、大学院生も対象とし、それぞ



れの方野で活躍する女性医師・研究者ロールモデルから経験談やワークライフバランスについての考え  
方などを聞き直接的な意見交換を行うものであり、個人的な内容も含め忌憚ないディスカッションを目的と  
するため少人数(10名まで)・対面座談会形式を基本としている。これまでに4回(第1回:内科系女性医師  
参加者9名、第2回:外科系女性医師 参加者4名、第3回:基礎医学系研究者 参加者5名、第4回:看護  
系研究者対象 参加者10名)開催、うち第1～3回はコロナ禍によりオンライン開催を余儀なくされたが第4  
回はハイブリッドで実施した。学外(東京都医学総合研究所)からの演者を含め、八千代医療センターや  
足立医療センターなど遠隔からも参加可能となったことが、参加者層を広げる効果に繋がった。参加者は  
20～40歳代女性医師・研究者が中心であり、「積極的に海外留学や外部研究者との交流を通して研鑽を  
積みチャンスは逃さず挑戦することが大切、とお話に非常に刺激を受けた」「今後ライフイベントを経験  
しながらキャリア形成との両立ができるか不安だったが、なんとかなるから挑戦していこうと思えるようにな  
った」「自分のキャリアプランを真剣に見直す手掛かりとなった」「研究アイデアをずっと頭の片隅に置いて  
おくこと、好きなことへ突き進むことを実践しようと思えた」等の感想が聞かれた。さらにこの「ピアラーニ  
ング for 彌生人(やよいびと)」の演者をメンターとして登録し、ピアラーニング参加者のうち希望者に対し  
て「個別アドバイス(キャリア面談)」を実施することで、次世代の女性教授候補者がキャリア形成に関する  
実質的なアドバイスを得られる機会を提供した。結果として第1回後1名、第2回後1名、第3回後2名、第4  
回後2名に対面もしくはオンラインで個別アドバイスが実施された。今後も適宜開催しメンター登録者を拡  
大していくことで、女性研究者のキャリア形成のための個別支援体制を確立していく。

「先端型」事業では、女性上位職候補者の裾野を広げる土壌の構築を目的として、新たに「彌生人(やよ  
いびと)メンター・メンティ賞」を創設した。これは「メンター(男性・女性どちらも可)の優れた指導の結果、  
女性研究者(メンティ)が論文掲載等の成果を成し遂げたメンター・メンティペア」を対象とし、両者を表彰  
し研究費を支援するもので、令和4年度の第1回は10組の応募があり、厳正な審査の結果4組(今回メン  
ターはいずれも男性教授・准教授)が受賞した。授与式において女性医療人キャリア形成センター副セン  
ター長からは「メンティはいずれも若手女性研究者でライフイベントの中で長年にわたり努力しており、メン  
ターがこれを支え指導することで継続的な実績を上げたことが評価された」「多忙な実務に埋もれがちな  
中、メンターはメンティのリサーチマインドを発掘し、IFの高い雑誌に原著論文を掲載するに至った」等の  
審査講評が語られた。メンティの女性研究者の中には管理栄養士も含まれ、広く医療に携わる人材から  
受賞者が出たことは予想以上の成果であった。今後も募集を継続し、メンティの支援だけでなく男女間わ  
ず優れたメンターとなりうる人材を発掘し支援する体制を構築していく。

#### (6) 情報発信

令和3年度ダイバーシティ研究整備事業報告会(7/30)を通じて、より高みを目指す女性医療人育成を  
目的とする「グローバルヘルスリーダーとさらなる女性登用『YAYOI プロジェクト』」の発足を広く学内外に  
報告し、具体的な事業説明を行った。以後も全国ダイバーシティネットワーク東京ブロックを通じて複数の  
大学・研究機関に本「先端型」事業を含む女性医療人キャリア形成センター事業に関する報告書などの  
印刷物を送付することにより、本「先端型」事業の情報発信を行っている。令和3年度「架け橋研究支  
援」、「国際共同研究」、「AI 研究スタートアップ支援」の採択者合計 10 名の研究成果報告動画を  
YouTube 東京女子医大公式チャンネルで公開しチャンネル登録者数も増加している。女性医療人キャ  
リア形成センター学外ホームページ上に「YAYOI プロジェクト」主催の各種イベント告知、学外・海外からの

視察、マスコミ取材報告(詳細は2-(2)波及効果を参照)などを掲載、随時更新している。このホームページでは本「先端型」事業内容を英語版で紹介することで、国際的な情報発信を行っている。学内女性研究者向けには「YAYOIプロジェクト情報発信メールリスト」を通じて各種支援案内の他、研究に有用な外部セミナーや外部研究助成金情報を随時配信している。多忙な医師・看護師のライフスタイルを考慮し、「YAYOIプロジェクト」主催のイベント・支援告知はポスターの院内・学内掲示板提示や各診療科・講座へのチラシ配布によっても発信している。実施済みのイベントは後日オンデマンド配信することで、在宅環境でいつでも視聴できるよう女性研究者への情報提供機会を増やしている。様々な分野の学術集会において本学教職員が「先端型」を含めた本学ダイバーシティ事業の講演依頼を受ける機会(詳細は2-(2)波及効果を参照)も多々あり、実践的介護支援体制を含めた本学独自の先進的な取組を全国に情報発信する契機となっている。

令和4年度:1,998,765円(補助金1,998,765円 研究支援)

## 2. 取組の成果

### (1)機関内の成果

令和4(2022)年度は5月、9月、11月に計3名の女性教授が任命され、令和5(2023)年5月における女性教授比率は29.8%、准教授、講師の女性比率はそれぞれ27.4%、35.4%と順調に増加し(図1)、本「先端型」事業の効果が現れ始めている。

令和4年度に研究支援(架け橋研究、国際共同研究、AI研究スタートアップ)を受けた12名の女性研究者においても、すでに学会発表12件、年度内学会発表予定7件、論文掲載2件、投稿予定7件と順調に業績が積み重ねられ成果が表れつつある。本研究支援を受けた女性研究者からは、「研究環境が充実し、研究を大きく前進させることが出来た(特にAI研究環境面で)」「研究へのモチベーション向上に寄与した」といったポジティブな意見が聞かれた。また英語論文掲載料補助を受けた女性研究者からは「論文執筆の経済的な支援はもちろんのこと、掲載料により投稿先の選択肢が狭まることはなかった」との感謝の声も聞かれた。学会等参加時の託児費補助を受けた女性研究者からは「託児のお陰で学会に集中して参加することができた」「自治体ファミリーサポート、ベビーシッターなど複数選択肢があることで託児がし易くなった」との感想が寄せられた。これらの感想から、論文等の目に見える研究成果以外にも、ライフイベントや研究環境の問題で研究を諦めつつあった本学女性研究者に対し研究継続のモチベーションを与える不可視的な効果が十分に得られていると推察される。

未曾有のコロナ禍の影響により本学女性研究者の科研費申請率・採択率も全国データと同様に一時下降した。しかしこの状況の中でも複数の本学女性研究者が令和3、4年度と大型研究費(表1)を多数獲得している事実は特筆に値する。結果として、本学女性研究者の新規配分合計額は、前年と比較して増加傾向にある(図5)。1件あたりの研究費配分額は、本学男性研究者と比較して女性研究者で大幅に増加しており(図6)、女性研究者の研究力向上を裏付けるデータの1つと解釈することができる。また、令和3、4年度「先端型」事業にて国際共同研究支援金を受け、国際共同研究指導者として活躍している女性研究者3名のうち、2名が令和5年度の科研費「基盤(c)」に採択され、1名は「国際共同研究強化(A)」に採択されていることから、着実な成果に繋がっていると考えることができる。本「先端型」事業では新たに科研費セミナーや科研費申請書レビューなど様々な支援を開始しており、これを起爆剤として

本学全体の研究力向上機運が今後確実に上昇していくと推察される。

本「先端型」事業で開始した「ファミリーサポート介護見守り支援」は、大学・研究機関としては全国初の取組となる。令和4(2022)年度までは体制の構築に重点を置き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を十分に考慮した上で慎重に活動を開始している。現状における活動件数は僅少だが、コロナ禍直前の令和3年介護アンケートにて「(将来を含め) ちょこっと見守り支援を利用したいと思う」と回答した本学教職員が524名にのぼったことから多くのニーズの内在が予想され、コロナ禍収束後の活動件数増加が十分に期待できる。令和4年度は介護に関する相談の垣根を低くする目的で女性医療人キャリア形成センターに開設した「介護なんでも相談窓口」を通じ、2件の相談に対応した。本事業により、本学教職員の介護離職に対するセーフティネット基盤を構築することができた。さらに「介護ロードの歩き方」冊子配布や介護講演会等、介護支援事業の広報充実に努めたことで、令和元年度0.3%であった介護支援制度利用者比率は令和4年度0.5% (図7)となり、目標値の0.6%に順調に近づいている。

本「先端型」事業で導入した「ピアラーニングfor彌生人 (やよいびと)」とこれに続く個別アドバイス (キャリア面談)、各種研究指導者による後進育成活動、メーリングリストやSlackによる情報交換等により、異分野・異職種の女性研究者間の交流機会は着実に増えている。「先端型」の各種支援を受けた学内女性研究者は様々な年代・職位・職種にわたっており、支援を受けた感想として、本事業が「研究が進むきっかけ」となり「次の課題に向けて何を準備すればよいか明確になった」との声が多く寄せられている (「YAYOIプロジェクト支援に関する満足度アンケート」集計結果より) (図8)。以上より、本「先端型」事業は、女性研究者を中心とした全教職員が一切の障壁なく交流・相談できる環境を整備し、本学が女性上位職登用のための人材育成環境として優れた苗床となるための体制構築に大きく寄与している。

## (2)波及効果

令和4(2022)年9月、イタリアのマリア＝クリスティーナ・メッサ大臣(大学・研究担当)の本学視察に際し、女性医療人キャリア形成センター副センター長が本「先端型」事業を中心とする女性医師・研究者支援について説明し意見交換を行った。令和4(2022)年11月には長野県松本保健福祉事務所・木曾保険福祉事務所の視察を受け、ダイバーシティ環境整備事業推進室室長が本学の「先端型」事業の中でも、特に女性医師のキャリア形成に関する取組について紹介した。視察した女性医師からは「医師不足の地域において女性活躍は喫緊の課題であり、女性研究者に対してどのような施策を講じればよいか参考になった」との感想が寄せられた。さらに令和5年3月には読売新聞静岡支局の取材に応じ「キャリア形成とその支援への取り組みについて」をテーマに女性医療人キャリア形成センター長およびダイバーシティ環境整備事業推進室室長が本学独自の「先端型」事業内容を詳細に説明した。

国内の医学会(日本医学会連合全加盟学会129学会)における女性(役職者)活躍の現状(平成30年6-7月調査)を見ると、女性医師の参画(理事長0%、理事幹事6.2%、評議員代議員8.2%)は未だ僅かである。しかしその中において、複数の大規模な臨床医学系学術集会から男女共同参画推進等に関わる講演依頼を受け、本学女性医師・研究者が「先端型」を含めた本学ダイバーシティ事業を紹介する講演を行ったことは特筆に値する(具体的には:古都カンファレンス2022:令和4年10月15日、第41回日本認知症学会学術集会:令和4年11月27日、第35回日本内分泌外科学会総会:令和5年6月

17日)。このような学会発表の機会を契機に医学部を有する全国の大学への横展開となりうることから、臨床医学系女性研究者の活躍支援における将来的な波及効果が期待される。

また前述の通り本「先端型」事業で始動した「ファミリーサポート介護見守り支援」は大学・研究機関としては全国初の取組であり、今後も本学独自の介護支援を継続していくことで介護離職防止効果が期待できるだけでなく、相互の介護事業視察を通じた他大学・研究機関との情報交換や全国ダイバーシティネットワーク等を通じて広く「ファミリーサポート介護見守り支援」を紹介することで全国的な波及効果が十分期待できる。本学が近年複数回実施している全教職員対象介護アンケート調査は医療従事者を対象とする介護に特化した大規模調査としては類を見ないものであり、調査結果をまとめて東京女子医大会誌を始めとした学術雑誌やシンポジウム等で発表することで、医療従事者の介護現状に関する貴重な情報ソースとしての波及効果が期待される。

### 3. 実施体制

#### (1) 実施体制

毎月1回開催されるダイバーシティ担当推進者会議にて本事業計画に関する情報共有、意見交換、審議・決定、各事業担当者が推進する取組の進捗状況確認等を行っている。コロナ禍も含めこのダイバーシティ担当推進者会議はオンラインで実施しており、先端生命医科学研究所や医局棟など学内の離れた施設からも担当者が参加できる他、本学付属医療施設である足立医療センター・八千代医療センター（千葉県）からも代表者がオブザーバー参加することで、全学横断的な事業展開を可能にしている。ダイバーシティ担当推進者会議における審議・決定事項は女性医療人キャリア形成センター長・副センター長から理事長・学長へ密に報告され、情報共有と意見交換やフィードバックが綿密になされている。

体制の要となる女性医療人キャリア形成センター長直属のダイバーシティ環境整備事業推進室(図2)は、各事業担当部署間に横串を通し、司令塔として事業を中心に企画・推進している。本「先端型」事業の特色として学内付属研究施設および各種会議体との全学的連携が挙げられ、これらに属する各事業担当者がそれぞれ企画や取組を実質的に牽引している。例として、先端生命医科学研究所は架け橋研究支援の推進とオープンイノベーション講演会の企画を担当し、メディカル AI センターは AI 研究スタートアップ支援および AI 研究全般の推進を担う他、AI 講習会などの企画を担当している。国際共同研究の支援・推進については国際交流委員会や大学院委員会と連携を密にして進めており、科研費等の研究基金獲得支援については研究推進センターおよび研究戦略会議との連携によりセミナーや申請書レビューなど全学的な取組を展開している。さらに事務統括の要となる女性医療人キャリア形成センター事務局が、事業全般のスケジュール管理や各種セミナー・講演会の運営、他部署との連携等の事務作業を集約的に担うことで、本「先端型」事業で同時進行的に展開する多種多様な取組を、効率的かつスムーズにオーガナイズしている。

#### (2) 機関の長のコミットメント

岩本絹子理事長は本「先端型」事業全体の総括責任者として事業全体の指揮を取り、本学独自の「先端型」事業「YAYOIプロジェクト」が本学の建学の精神「医学の蘊奥(うんおう)を究め兼ねて人格を陶冶(とうや)し社会に貢献する女性医人を育成する」、教育理念「至誠と愛」を体現する取組であることを全教職員に向け随時表明し、強いメッセージを発信している。丸義朗学長は学長指名推薦における中核を担

い、「基幹分野および本院診療科の定員に関する規程」において「女性医療人キャリア形成センターへ多大な貢献が認められた者は准教授・講師の増員を認める」改定を行うなど強いリーダーシップを発揮している。さらに本学教職員向け、「YAYOIプロジェクト」への参画が本学の建学の精神実践につながることを強いメッセージで発信している。選定時コメント③に対しても、学長のコミットメントにより学内の研究戦略会議や本学研究推進センターURAの協力体制が構築され、取組の効率が格段に向上した。

女性上位職登用候補者や各種施策、事業マネジメントに参画する候補者の選出は、女性医療人キャリア形成センター長・副センター長と理事長・学長との綿密な打ち合わせを通じて行われ、既に数多くの事業において着実な成果をおさめている。

## VI. 今後の進め方

### 1. 実施期間終了までの進め方

本事業は多くのロールモデル発掘に繋がり、同時に基礎医学、臨床医学、看護学、工学といった分野の枠を大きく超えた異分野の女性研究者間交流および後進育成の場を新たに創設する重要な契機となっている。今後も女性上位職の苗床の醸成をはかりつつ、本学に既存の各種研究施設、会議体等を含めた全学的事業実施体制を維持し、本学独自の「先端型」事業を遂行する(具体的にはIV-(5)今後の進め方を参照)。資金確保としては、当センターが保有する女性活躍に支出することができる基金ならびに経常費を自己資金にあてる。

### 2. 実施期間終了後の取組の継続性・発展性(令和9(2027)年度以降)

本学は、「最良の医療を实践する知識・技能を納、高い人格を陶冶した医療人および医学・看護学研究者を育成する教育を行う」という指名を果たすべく、常に研究・臨床・教育に精力的に取り組んでいる。本学の建学の精神、理念、使命を踏まえた中長期ビジョン「ビジョン 2025」と本「先端型」事業における取組とは大きな親和性を有しており、本事業を継続させていくことが、すなわち中長期ビジョンの目標達成に寄与するアクションとなる。さらに本事業の取組内容や成果を本学内のみならず全国の大学、研究施設等に向け積極的に発信していくことで、大きな波及効果をもって取組を発展させることができる。

### 3. 「次世代育成支援対策推進法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく一般事業主行動計画の周知と推進状況

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく一般事業主行動計画では、本学は「目標 1:女性教授比率 30%の達成と維持」、「目標 2:介護支援制度利用者比率 0.6%の達成」を掲げ、超高齢社会にあっても離職せず、医療従事者が生涯活躍できる環境整備と本「先端型」事業との一体化を進めている。本事業遂行が建学の精神に基づくものであることのメッセージは、既に理事長、学長、女性医療人キャリア形成センター長を通じて全教職員に周知されている。また法人としての施策と相まって、本学では従前より女性医療人キャリア形成センターが主体となり、子育てや介護支援プラン、研究継続のための支援を常に手篤く実施しており、本事業とタイアップすることでさらに女性研究者の研究環境改善に大きく寄与し、ライフイベントによる離職・キャリア形成断念の防止につながっている。進捗状況としては前述の通り「目標 1:女性教授比率 30%の達成と維持」については、令和5年5月の女性教授比率が29.8%となり、令和3年11月の本「先端型」事業採択時の26.7%に比して着実に増加し目標値に



近づきつつある（図1）。また「目標2:介護支援制度利用者比率0.6%の達成」についても、令和元年度0.3%であった介護支援制度利用者比率は令和4年度0.5%となり、こちらも目標値に順調に近づいている（図6）。

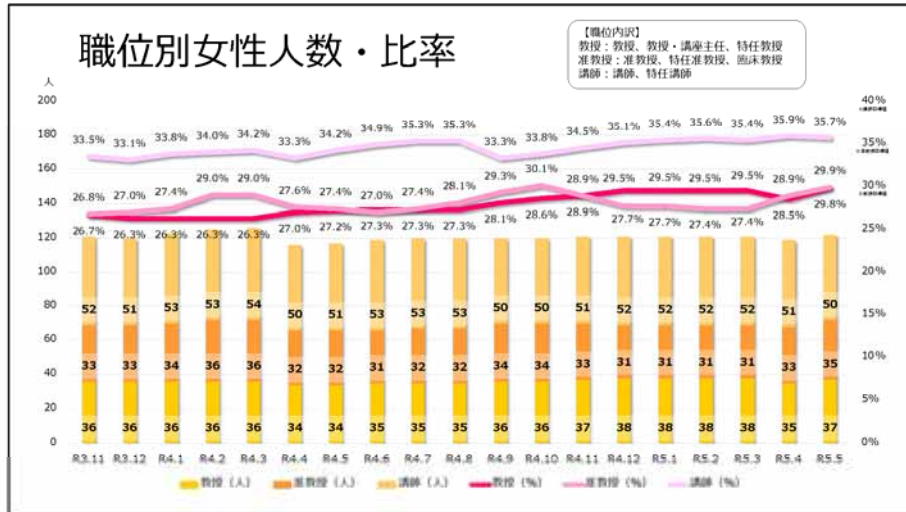
Ⅶ. 参考図表

表1. 取組内容

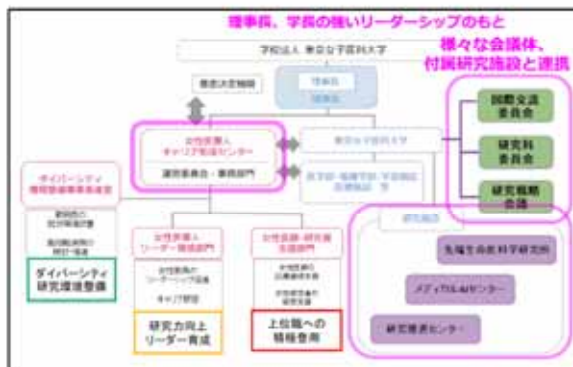
実施日	内容
実施期間以前の取組	
平成 18 年 7 月 18 日	女性医学研究者支援室設立
平成 18 年 11 月 1 日	女性医師再教育センター設立
平成 21 年 1 月 13 日	教育・学習支援プログラム(e ラーニング)開始 男女共同参画推進局設立
平成 22 年 10 月 1 日	ファミリーサポート室開室
平成 27 年 8 月 1 日	彌生塾創設
平成 28 年 7 月 21 日	厚生労働省「女性医師キャリア支援モデル普及推進事業」採択
平成 28 年 9 月 26 日	文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」交付決定
平成 29 年 1 月 1 日	男女共同参画推進局から女性医療人キャリア形成センターへ名称変更
実施期間中の取組	
令和 3 年 11 月 8 日	研究支援制度(架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI 研究スタートアップ研究支援)公募開始
令和 3 年 11 月 15 日	学会参加時等の託児費補助制度 受付開始
令和 3 年 11 月 24 日	アバターロボットの実証実験を実施(ブラウン大学)
令和 3 年 11 月 25 日	アバターロボットの実証実験を実施(アラバマ大学)
令和 3 年 11 月 25 日	英語論文掲載料補助制度・AI 講習会、研修会 参加費補助制度 受付開始
令和 3 年 12 月 4 日	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)「YAYOI プロジェクト」キックオフミーティング開催
令和 3 年 12 月 10 日	研究支援制度 採択者決定(架け橋研究支援 4 名・国際共同研究支援 3 名・AI 研究スタートアップ研究支援 3 名)
令和 3 年 12 月 15 日 - 令和 1 年 1 月 5 日	育児・介護に関するアンケート調査実施
令和 4 年 1 月 24 日	オープンイノベーション講演会開催(オンライン/参加 50 名)
令和 4 年 1 月 27 日	アバターロボット temi を使用したシンガポール国立大学 国際共同研究者による本学ラボ視察
令和 4 年 2 月 7 日	第 1 回医療・ヘルスケア AI 講演会開催(オンライン/参加 98 名)
令和 4 年 2 月 11 日	デジタルプラットフォーム MPUF XRCC を使用したハーバード大学との研究ミーティング実施
令和 4 年 2 月 14 日	第 1 回アノテーション演習会(オンライン/参加 4 名)
令和 4 年 2 月 14 日	「ちょこっと介護見守り支援」提供会員向け介護講習会

令和4年2月25日	「ちょこっと介護見守り支援」提供会員向け介護実習
令和4年8月24日 令和4年8月29日	「研究支援（架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援）」採択者授与式開催
令和4年9月28日	第1回ピアラーニング for やよいびと開催
令和4年9月28日	イタリア大臣（大学・研究担当）来学
令和4年9月28日	「彌生人メンター・メンティ賞」受賞者決定（4組）
令和4年11月2日	「彌生人メンター・メンティ賞」授与式開催
令和4年11月21日	長野県松本保健福祉事務所・木曾保健福祉事務所オンライン面会
令和4年12月19日	第2回ピアラーニング for やよいびと開催
令和4年12月21日	画像データ演習会開催
令和4年12月21日	介護サポート提供会員向け茶話会開催
令和4年12月28日	大阪公立大学 介護支援について Zoom 視察
令和5年1月5日	令和3(2021)年度研究支援採択者研究報告動画「東京女子医科大学公式YouTubeチャンネル」にて配信開始
令和5年1月26日	第3回オープンイノベーション講演会開催（オンライン）
令和5年1月26日	富山大学 介護支援について Zoom 視察
令和5年2月9日	第1回介護講演会開催（オンライン）
令和5年2月13日	第2回 医療・ヘルスケア AI 講演会開催（オンライン）
令和5年2月20日	表形式データの機械学習演習会開催（オンライン）
令和5年2月22日	第3回ピアラーニング for やよいびと開催（オンライン）
令和5年2月24日	第1回科研費セミナー開催（オンライン）

【その他の図表】



(図1) 職位別女性人数・比率推移



(図2) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)実施体制

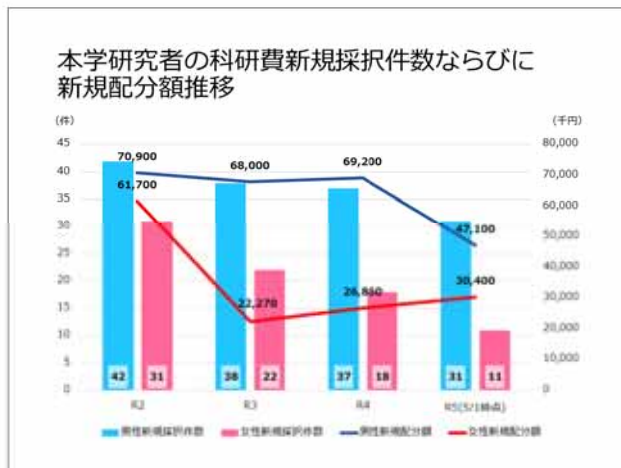


左(図3) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)フレーム

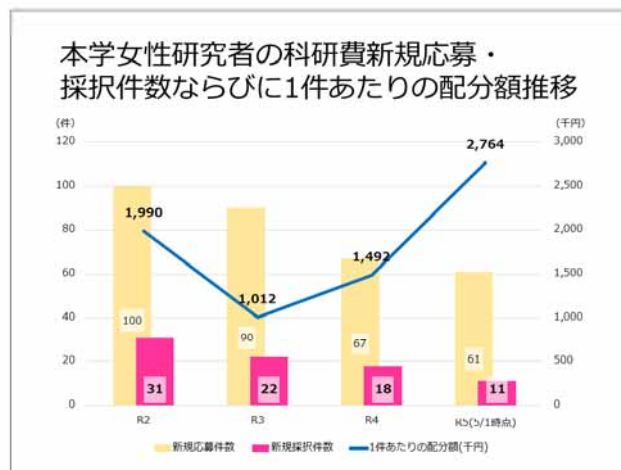
右(図4) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)フレーム

	氏名	職名	所属	種目	助成金額	研究テーマ
令和2-4年度	宮田麻理子	教授・基幹分野長	生理学（神経生理学分野）	学術変革領域研究（A）	55,400,000円	視床のシナプス刈り込みにおけるプレシナプス機能変化の解明
令和2-4年度	古賀 陽子	教授・基幹分野長	歯科口腔外科学	国際共同研究加速基金 国際共同研究強化（B）	14,400,000円	歯髄幹細胞と多血小板フィブリンを用いた自己由来三次元骨再生法に向けた日独共同研究
令和3-4年度	石津 綾子	教授・基幹分野長	解剖学（顕微解剖学・形態形成学分野）	JST創発的研究支援事業	14,000,000円	造血幹細胞運命における新規予知因子の解明
令和3-4年度	石津 綾子	教授・基幹分野長	解剖学（顕微解剖学・形態形成学分野）	基礎研究（B）	5,900,000円	オルガネラ恒常性による造血幹細胞維持と血小板分化調整機構の解明
令和3-4年度	宮前多佳子	准教授	膠原病リウマチ内科学	免疫・アレルギー疾患政策研究事業	5,385,000円	難治性・希少免疫疾患におけるアンメットニースの把握とその解決に向けた研究

(表1) 大型研究費を獲得した本学女性研究者



(図5) 本学研究者の科研費新規採択件数ならびに新規配分額推移

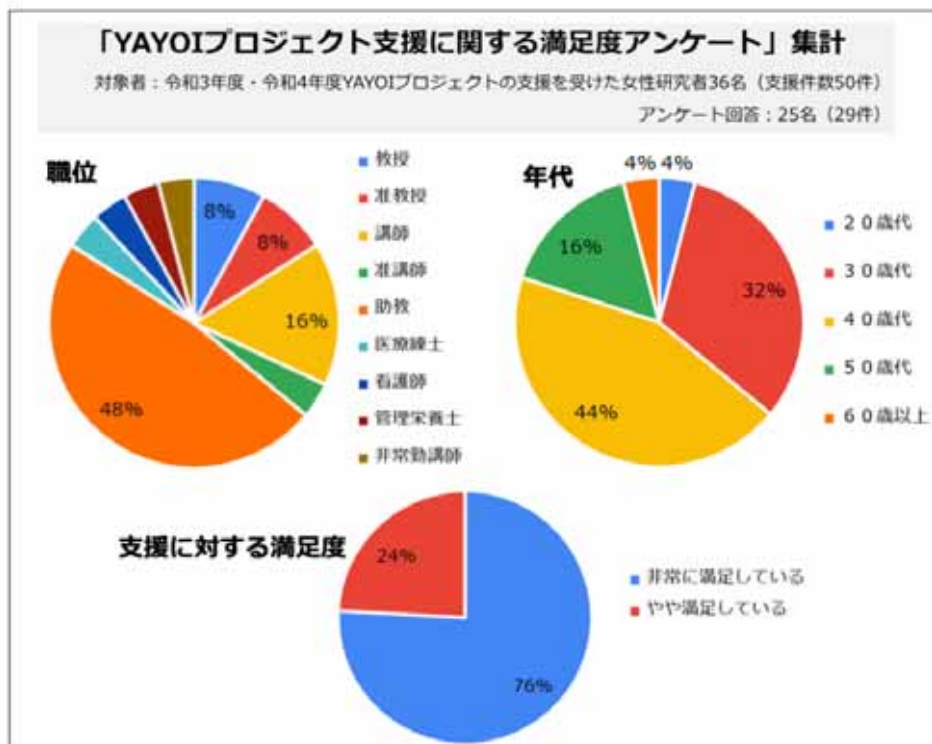


(図6) 本学研究者の科研費新規採択件数ならびに1件あたりの配分額推移





(図7) 実践的介護援助体制の構築



(図8) 「YAYOIプロジェクト支援に関する満足度アンケート」集計結果

## < お問い合わせ先一覧 >

●育児について (68 ページ)	ファミリーサポート室	人事課(院内保育所)
	03-5369-9075 または 03-3353-8112(内線 41152)	03-3353-8112 (内線 30114 または 30115)
	河田町 巴女子学生会館1階	河田町 総合研究棟 1階 事務局内

●介護について (69 ページ)	介護サポート	人事課(介護相談窓口)
	03-5312-5206 または 03-3353-8112(内線 41361)	03-3353-8112 (内線 30111 または 30113)
	河田町 巴女子学生会館 3階	河田町 総合研究棟 1階 事務局内

●上記以外の ダイバーシティ事業に ついて	女性医療人キャリア形成センター	センターHP 
	03-3353-8112(内線 30166)	
	cdc.bm@twmu.ac.jp	
	河田町 総合研究棟 1階	

文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）  
中間報告書 令和3(2021)年度～令和5(2023)年度

---

発行 令和6(2024)年3月

編集 ダイバーシティ環境整備事業推進室  
(女性医療人キャリア形成センター)

MAIL [cdc.bm@twmu.ac.jp](mailto:cdc.bm@twmu.ac.jp)

URL <https://www.twmu.ac.jp/university/cdc/gender/>



学校法人 東京女子医科大学

---

女性医療人キャリア形成センター  
ダイバーシティ環境整備事業推進室

---

〒162-8666 東京都新宿区河田町8番1号

TEL : 03-3353-8112 (内線30166)